

江南市戦略計画

みんなの郷土 みんなで築くプラン

後期計画期間 平成26年度～平成29年度

達成状況報告書



江南市

目 次

第1章 江南市戦略計画達成状況報告書の基本的な考え方	1
1. 江南市戦略計画達成状況報告書とは	1
2. 江南市戦略計画の進行管理	1
3. 行政評価システムの機能	2
4. PDCA のマネジメントサイクル	2
5. 江南市まちづくり会議の役割	2
第2章 後期計画期間の重点戦略	4
1. 教育の分野	4
2. 高齢者の分野	4
3. 子育ての分野	5
4. 健康の分野	5
5. 暮らしの分野	6
6. 危機管理の分野	6
7. 経済の分野	7
8. 環境の分野	7
9. 改革の推進	8
第3章 後期計画期間の達成状況	9
1. 全体の目標達成状況	9
2. 各分野の目標達成状況	12
I 生活環境、産業分野	17
柱 1 安心・安全な地域づくり【防災安全課】	18
柱 2 消防・救急体制の充実【総務予防課、消防署】	22
柱 3 快適で便利な日常生活の確保【市民サービス課】	28
柱 4 生活産業の活性化・雇用就労と商工農業の振興【商工観光課、農政課】	33
柱 5 自然と調和した快適な生活環境の確保【環境課】	42
柱 6 ごみ減量と適切な処理の推進【環境課】	46
II 健康、福祉分野	51
柱 1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保【高齢者生きがい課】	52
柱 2 地域で安心して子育てできる環境づくり【子育て支援課】	56
柱 3 障害者の生きがいと安心した生活の確保【福祉課】	62
柱 4 健康な生活の確保【健康づくり課】	66
柱 5 保険年金制度の健全な運営【保険年金課】	72
柱 6 地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保【福祉課】	76

III 都市生活基盤分野	81
柱 1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり【まちづくり課】	82
柱 2 人にやさしいみちづくり【土木課】	86
柱 3 花と緑あふれる公園づくり【まちづくり課】	89
柱 4 公共下水道の普及促進【下水道課】	92
柱 5 浸水被害のないまちづくり【土木課】	95
柱 6 安心・安全な住環境の確保【建築課】	98
柱 7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給【水道課】	101
IV 教育分野	105
柱 1 地域に開かれた快適で安全な学校づくり【教育課】	106
柱 2 将来にわたって活躍できる人づくり【教育課】	112
柱 3 生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり【生涯学習課】	115
柱 4 豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実【生涯学習課】	120
V 経営、企画分野	127
柱 1 地域協働の推進【地方創生推進課】	128
柱 2 戦略的な行政経営の推進【秘書政策課、行政経営課】	133
柱 3 公平かつ適正な課税・収納【税務課、収納課】	140
柱 4 効率的かつ円滑な事務管理の推進【総務課、会計課、監査委員事務局】	143
柱 5 より開かれた適切な議会運営への支援【議事課】	148
巻末資料	151
1 成果目標一覧	152
2 江南市まちづくり会議の開催状況	164
3 江南市まちづくり会議設置要綱	165
4 江南市まちづくり会議の構成（委員名簿）	167
5 まちづくり評価シートの見方	168
6 達成率の算出方法・達成状況の判定基準	171
おわりに	172

第1章 江南市戦略計画達成状況報告書の基本的な考え方

1. 江南市戦略計画達成状況報告書とは

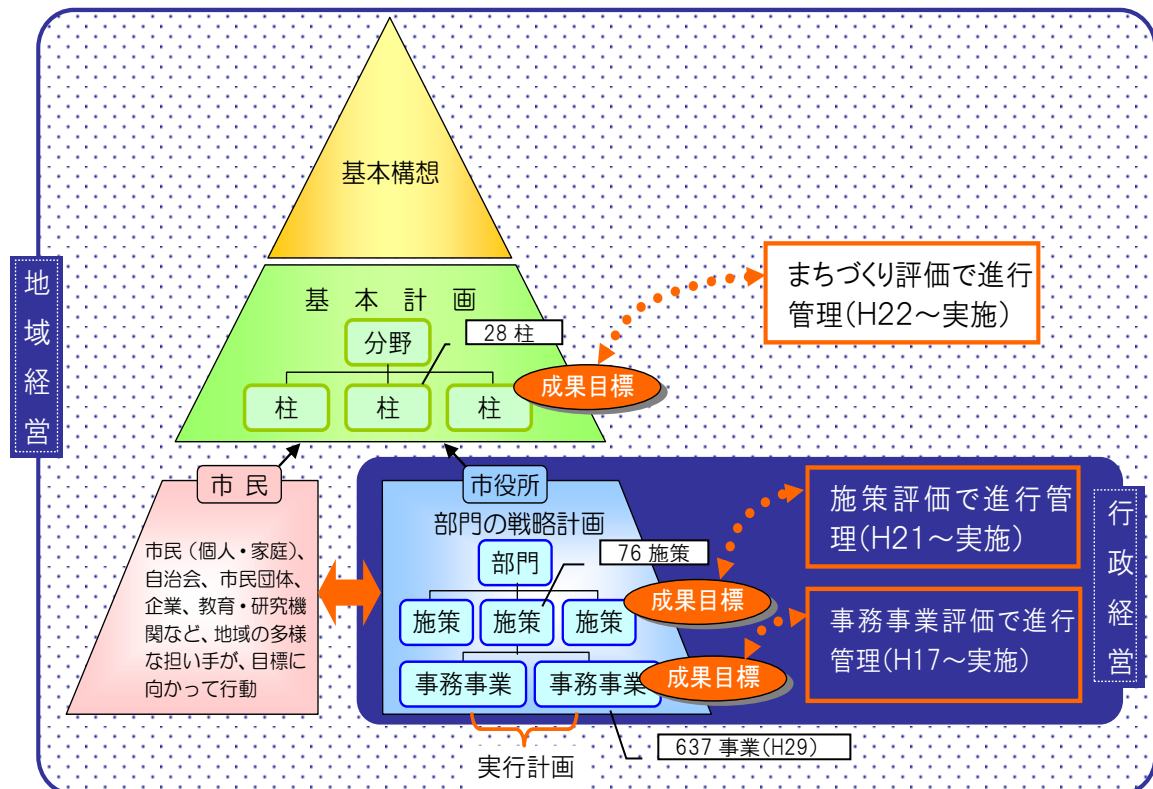
「江南市戦略計画」の進行管理は、基本計画に掲げられた各分野の成果目標について、その達成度を明らかにすることにより実施することとしており、成果目標の達成度は、「まちづくり評価」を活用して測定し、今後の改善方策を検討することとしています。

基本計画の成果目標は、市民と市役所が協働でめざす目標であることから、「江南市まちづくり会議」を設置し、その達成状況についても協働で確認を行い、その結果については、短期的にはそれぞれの行動へ、中期的には次の基本計画の見直しへと反映させることとしています。

こうした進行管理の結果について、広く市民が共有できるよう、とりまとめたものが「江南市戦略計画達成状況報告書」です。

2. 江南市戦略計画の進行管理

江南市戦略計画の進行管理は、まちづくり評価・施策評価・事務事業評価の3つの行政評価システムを活用して実施しています。



【行政評価システムによる進行管理のイメージ】

3. 行政評価システムの機能

①まちづくり評価

基本計画に掲げられた各分野の「成果目標」について、その達成度を測定し、よりよいまちづくりに向けての今後の取り組みの方向性を明らかにします。まちづくり全体の進捗状況(市民生活や地域社会の状態)を市民と市役所が協働で把握し、基本計画の見直しに活かすことを目的とします。

②施策評価

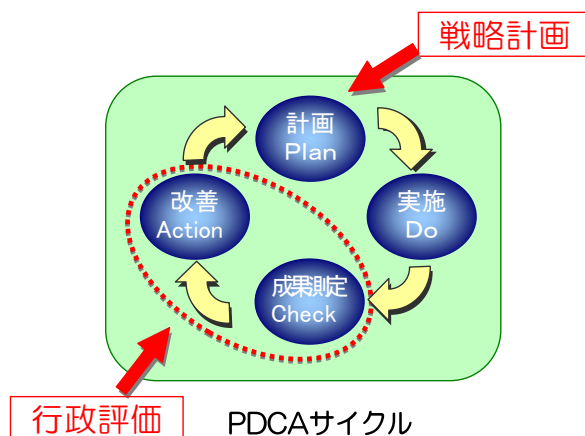
事務事業より上位のレベルで成果を把握し、行政活動の大きな方向性を明らかにするとともに、手段となる事務事業の重点化について分析し、資源配分へと反映させます。施策の分析と、事務事業評価から得られる事務事業の情報を連携させ、施策の方向づけと事務事業の相対的な方向づけ(重点化や改革改善)を一体的に行います。

③事務事業評価

事務事業について、個々の成果を把握し、改善方策を検討するものになります。事務事業の成果を検証することにより、職員の業務改善やコストに対する意識を醸成しながら、提供する行政サービスの質的向上をめざします。

4. PDCA のマネジメントサイクル

江南市戦略計画は計画の策定[Plan]、実施[Do]、成果測定(評価)[Check]、改善[Action]というPDCAのマネジメントサイクルを確立することにより適切に運用します。



5. 江南市まちづくり会議の役割

各分野のまちづくり評価、市民の役割に関する意見交換を行い、基本計画の見直しの検討を行い、江南市戦略計画達成状況報告書を作成することが目的です。

①江南市まちづくり会議の委員

任期：平成 28 年 9 月から平成 31 年 3 月

人数：75 名

【内訳】

分野別会議 73 名：各分野に市民公募 3～4 名、各種団体代表 4 名、担当課長及び統括幹
全体会議 17 名：学識経験者 2 名、分野別会議の正副会長、分野の代表課長

②市民代表の委員の役割

- ・市民の立場から各分野の達成状況の検証と達成状況に応じた改善方策について、意見を述べること
- ・市民の立場から市民の取り組みについての情報提供や意見を述べること
- ・市民の立場から各分野の基本計画の見直しについて、意見を述べること
- ・戦略計画を推進するための方法についてアイデアを出し、また、そのための活動を可能な範囲内で実践すること

③市職員の委員の役割

- ・各分野の計画の達成状況について、説明と検証を行うこと
- ・市役所の立場から各分野の計画の達成状況に応じた改善方策について、意見を述べること
- ・市役所の立場から各分野の基本計画の見直しに向けた意見を述べること
- ・市民の取り組みについての情報提供や意見を述べること

④江南市まちづくり会議の主な取り組み

≪平成 28 年度≫

施策評価結果について意見交換

(分野別会議9回、全体会議 1 回開催)

≪平成 29 年度≫

まちづくり評価の実施

(分野別会議8回、全体会議 1 回開催)

≪平成 30 年度≫

江南市戦略計画達成状況報告書の作成

(分野別会議5回、全体会議 1 回開催)



江南市まちづくり会議の様子

⑤結果の公表

江南市まちづくり会議での評価結果については、市民への説明責任を果たすという観点から、広く市民が共有できるよう、「江南市戦略計画達成状況報告書」としてとりまとめ、広報こうなん、市ホームページ等で公表していきます。

第2章 後期計画期間の重点戦略

後期計画期間の重点戦略については、9つの分野に掲げられた市長マニフェストを中心に施策を進めてきました。

1. 教育の分野 ～子どもから大人まで輝きを引き出す～

教育の分野では、子どもから大人まで輝きを引き出すことを目標に、学校においては、コミュニティ・スクール事業により「地域とともにある学校づくり」を進めるとともに、タブレット導入によるICT教育の推進などに取り組みました。また、統合型地域スポーツクラブの設立やKTXアリーナ（江南市スポーツセンター）の建設、文化財保護への支援を図り、スポーツ推進や郷土の歴史保護にも注力し、世代を越えて交流・学習できる環境づくりに取り組みました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
コミュニティ・スクール事業	27・28・29	順次、学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクール事業を推進
教材整備事業	29	全ての小学校にタブレットを導入し、ICT化を推進
体育振興事業	29	統合型地域スポーツクラブの設立
新体育館建設事業	26・27・28・29	KTXアリーナ（江南市スポーツセンター）の建設
国指定文化財「曼陀羅寺正堂」保存修理補助事業	28・29	「曼陀羅寺正堂」の屋根葺替等修理工事への補助

2. 高齢者の分野 ～みんなで助け合う安心な江南（まち）づくり～

高齢者の分野では、みんなで助け合う安心なまちづくりを目標に、公共交通のあり方を検討し、基本的な考え方をとりまとめるとともに、生活支援コーディネーターの配置により、サロン等の立ち上げ、地域の支え合い体制づくりを支援し、介護予防支援策を強化しました。また、独り身の高齢者の方々も安心して生活が送れるよう、見守り協定事業者の拡大、緊急通報装置の設置推進などに取り組みました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
公共交通再編事業	28・29	「地域公共交通の基本的な考え方」を編纂
地域支援事業	29	生活支援コーディネーターを各日常生活圏域に配置（サロン等の立ち上げや地域の支え合い体制づくりを支援）
高齢者見守り事業	26・27・28・29	緊急通報装置の設置推進 見守り協力協定事業者の拡大、連携強化

3. 子育ての分野 ～住みたくなる子育て先進市に～

子育ての分野では、住みたくなる子育て先進市を目標に、乳児から児童・生徒まで、幅広く多様なニーズに応えるため、第3子育て支援センターの開所や、低年齢児受入拡大や保育環境の充実を図るための保育施設の改修、子ども医療費無料化の拡大を図ってきました。また、学童保育所や放課後子ども教室の増設により、受入れ対象学年を拡大し、子どもたちの活動の場を確保するとともに、子育て世代の就労支援に取り組みました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
保育園空調設備改修事業	26・27・28・29	順次、空調設備を改修(布袋保、古西保、布袋西保)
低年齢児受入拡大対策事業	27	低年齢児受入拡大のための保育室の改修及び職員研修等の実施(布袋北保)
第3子育て支援センター運営事業	26・27・28・29	H27年1月から第3子育て支援センターを開所
放課後児童健全育成事業	27・28・29	宮田・門弟山・古東・古南・布袋学童保育所を建設し、全小学校区で受入れ対象学年を4年生まで拡大
学童保育所整備事業	26・27・28	
放課後子どもプラン事業	27・28・29	順次、放課後子ども教室の実施校を拡大
子ども医療費助成事業	28・29	子ども医療費の無料化を中学3年生まで拡大

4. 健康の分野 ～10万人の健康づくりで江南(まち)を元気に！～

健康の分野では、10万人の健康づくりを目標に、がん検診や節目年齢歯科健診などの各種健康診査等の啓発・周知を図り、受診率向上に取り組むとともに、自発的な健康づくりを促すような健康マイレージ事業や、後期高齢者人間ドック助成事業を開始しました。また、データヘルス計画を策定し、疾病の傾向をお知らせするとともに、健(検)診の受診勧奨をすることにより、市民の健康づくりを促進しました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
健康管理事業	26・27・28・29	各種健(検)診の啓発活動による受診率の向上
健康推進事業	27・28・29	こうなん健康マイレージ事業の開始
後期高齢者人間ドック助成事業	28・29	後期高齢者の人間ドック、脳検査の費用の一部を助成
データヘルス推進事業	28・29	データヘルス計画に基づく案内通知による疾病予防の啓発

5. 暮らしの分野 ～市民の暮らし第一で江南(まち)はもっとよくなる～

暮らしの分野では、市民の暮らし第一のまちづくりを目標に、道路照明灯のLED化や生活困窮者への自立支援、雨水貯留施設の設置による浸水被害の軽減に取り組み、市民の安心・安全の向上を図りました。また、布袋駅付近の鉄道高架化事業を推進し、平成29年度には名古屋方面の本線高架化を完了し、新駅舎にエスカレーターを設置するとともに、駅東地区に市の南玄関口としてふさわしい賑わい拠点を創出するため、複合公共施設の整備に着手しました。他にも、空家等対策計画を策定し、市内の空き家対策の検討を始め、暮らしの賑わいづくりや秩序あるまちなみの形成を推進しました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
交通安全施設管理事業	28	道路照明灯を水銀灯等からLED灯に更新
生活困窮者自立相談支援事業	27・28・29	生活保護に至る前の自立支援策を強化
布袋駅付近鉄道高架化整備事業	26・27・28・29	名古屋方面の本線高架化に伴い、新駅舎にエスカレーターを設置
布袋駅東複合公共施設整備事業	28・29	新たな賑わい拠点の創出として、複合公共施設の整備に着手
空家等対策推進事業	28・29	連絡会議、協議会の設置と空家等対策計画を策定
雨水貯留施設整備事業	26	北部中学校に雨水貯留施設を設置

6. 危機管理の分野 ～想定外とは言わせない、災害に強いひとづくり江南(まち)づくり～

危機管理の分野では、災害に強いひとづくり・まちづくりを目標に、地域防災計画を見直すとともに業務継続計画を策定し、発災時の行動計画を明確にしました。また、愛知江南短期大学を乳児避難所として指定し、市民に周知を図りました。自然災害への備え以外にも、AED(自動体外式除細動器)を広く市内に配置するとともに、女性消防団員の採用や老朽化した防火水槽の簡易耐震化による水利の確保、消防通信指令事務の共同運用に向けた消防指令センターの整備等に取り組みました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
地域防災計画策定事業	27	南海トラフの巨大地震を見据えた地域防災計画の見直し
業務継続計画策定事業	28・29	発災時の行政機能の中断をなくすため、BCP(業務継続計画)を策定
乳児避難所資機材整備事業	27	愛知江南短期大学を乳児避難所として指定し、必要な資機材を整備
AED設置事業	27	AEDの増設(保育園等に新規設置、交番に貸出)
消防団充実強化事業	27・28・29	女性消防団員による啓発活動等を実施
防火水槽震災対応化事業	27・28・29	老朽化防火水槽の簡易耐震化を推進
消防救急無線デジタル化等に伴う施設等整備事業	27	消防通信指令事務の共同運用開始に向けた施設・機器整備等の実施

7. 経済の分野 ～企業誘致と地域ブランド戦略の推進～

経済の分野では、企業誘致と地域ブランド戦略の推進を目標に、商工業については、企業誘致や市内企業の定着を促進させるための支援策を展開することに重点を置き、農業については、新規就農者支援や耕作放棄地の解消について、重点的に取り組みました。また、ふるさと寄附事業やシティプロモーション事業を実施し、歳入確保及びふるさと意識の高揚を図るとともに、「暮らしが花ひらく生活都市。江南市」を都市ブランドとして市内外にPRを図りました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
企業誘致等推進事業	27・28・29	企業誘致等基本方針を策定し、企業誘致や既存企業の定着を促進
新規就農・経営継承総合支援事業	26・27・28・29	新規就農者に対する補助金の交付
ふるさと寄附事業	26・27・28・29	ふるさと寄附金制度の運用開始
シティプロモーション事業	28	シティプロモーションビジョンを策定し、PR動画の制作やテレビコマーシャル等でシティプロモーションを実施

8. 環境の分野 ～環境循環都市の実現～

環境の分野では、環境循環都市の実現を目標に、住宅用地球温暖化対策設備設置補助金の補助対象設備として、既存の太陽光発電設備に、新たに家庭用エネルギー管理システムや定置用リチウムイオン蓄電システムを加え、地球温暖化防止を促進しました。また、常設のリサイクルステーションの開設や、新ごみ処理施設の建設に向けた地権者同意の取得及び尾張北部環境組合の設立、公共下水道事業の推進により、循環型社会の形成や意識啓発に取り組みました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
温暖化防止事業	28・29	住宅用地球温暖化対策設備設置補助金の対象に、HEMS(家庭用エネルギー管理システム)等を追加
リサイクルステーション運営事業	29	環境事業センター内にリサイクルステーションを開設
地域対策事業	26・27・28	新ごみ処理施設建設に向けて、地権者同意を得るため、説明会やごみ処理施設見学会等を実施
尾張北部環境組合関係事業	29	2市2町(犬山市・江南市・大口町・扶桑町)で構成する尾張北部環境組合を設立
公共下水道事業	26・27・28・29	下水道整備事業の推進と下水道普及率の向上

9. 改革の推進

改革のさらなる推進として、タウンミーティングによる市民と市長の対話の実現や、市民参加により事務事業の見直しを行う行政事業レビューの開催など、行政への市民参加の機会拡大を図りました。また、地方公会計の推進として、財務書類4表の統一基準へのモデル変更を行ったほか、公共施設やインフラのマネジメント推進のために、現況調査の実施や総合管理計画、再配置計画を策定しました。

なお、江南市戦略計画の次期計画として、人口減少社会を前提とし、「市長の戦略政策」と「市民協働」を特徴とした、第6次江南市総合計画を策定しました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
広聴事業	27・28・29	タウンミーティングを毎年開催
第6次総合計画策定事業	27・28・29	地方創生、人口減少社会を前提とし、「市長の戦略政策」と「市民協働」を特徴とした総合計画を策定
公共施設等総合管理計画策定事業	27	公共施設等の管理に関する基本的な方針を、総合管理計画として定めるとともに、公共施設に関しては最適な配置を実現できるよう、再配置計画を策定
公共施設再配置計画策定事業	28・29	
行政事業レビュー事業	28・29	市民参加による事務事業の見直しを実施
地方公会計推進事業	27・28・29	固定資産台帳の作成・更新と、国の示す統一基準による財務書類4表の作成



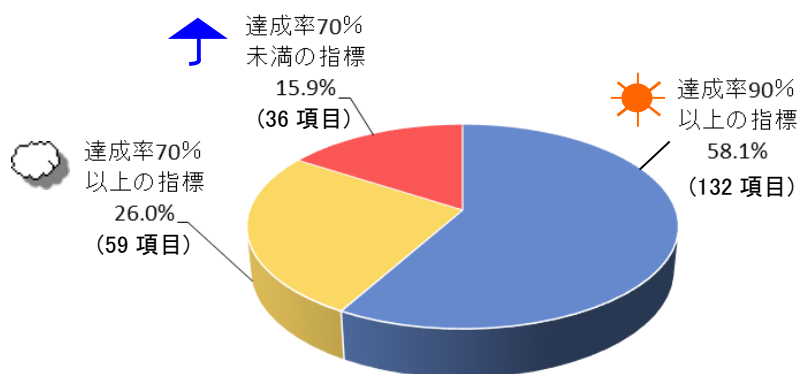
第3章 後期計画期間の達成状況

1. 全体の目標達成状況

「江南市戦略計画」の全指標の平均目標達成率は 94.4%となっています。また、達成率 70%以上の指標の割合は、84.1%となり、概ね目標を達成している状況といえます。

後期 H26～H29（中期 H23～H25）（前期 H20～H22）

平均目標達成率（全体目標＋個別目標）	94.4%	（94.6%）	（102.6%）
--------------------	-------	---------	----------



≪目標達成状況≫

後期 H26～H29（中期 H23～H25）（前期 H20～H22）

全体目標の平均目標達成率	91.1%	（100.1%）	（115.3%）
個別目標の平均目標達成率	95.0%	（93.7%）	（100.5%）
I 生活環境、産業分野	109.3%	（95.0%）	（109.7%）
II 健康、福祉分野	92.3%	（95.1%）	（99.1%）
III 都市生活基盤分野	87.1%	（91.5%）	（99.6%）
IV 教育分野	87.1%	（89.1%）	（105.6%）
V 経営、企画分野	87.5%	（103.1%）	（95.1%）

※ 分野別の平均達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率は 91.1%、個別目標の平均目標達成率は 95.0%で概ね目標達成している状況といえます。分野別の平均達成率では「I 生活環境、産業分野」が 109.3%、「II 健康、福祉分野」が 92.3%、「III 都市生活基盤分野」が 87.1%、「IV 教育分野」が 87.1%、「V 経営、企画分野」が 87.5%でした。

「都市生活基盤分野」、「教育分野」及び「経営、企画分野」において、達成率が 90%に満たない状況となっており、今後のさらなる市民満足度の向上のためには、治水対策や教育環境の充実、市民協働の推進を図っていく必要があることがうかがえます。

《市民満足度の変化の状況》

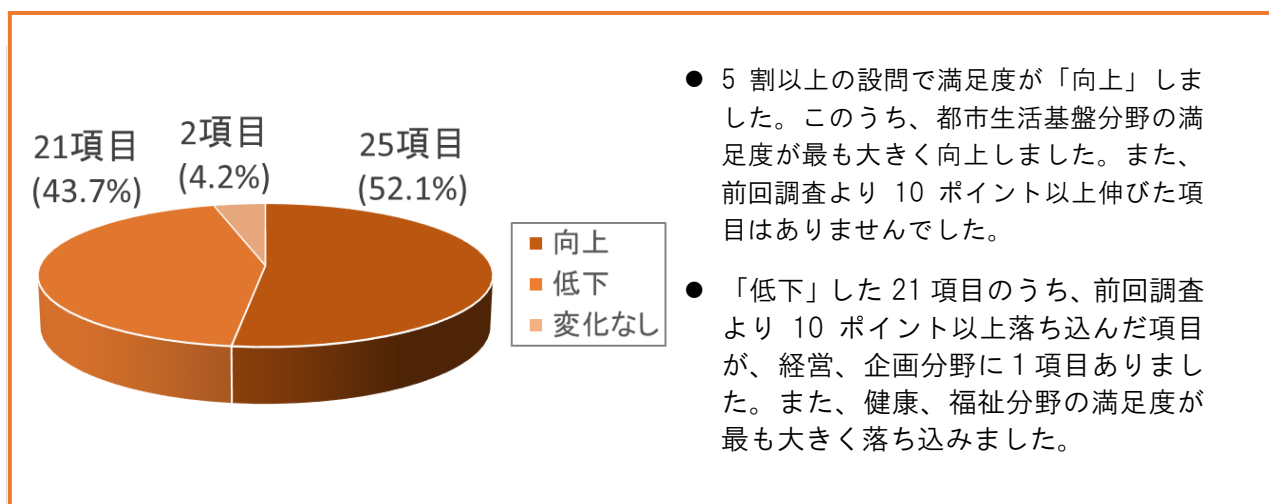
市民満足度がどのように変化したかを明らかにするため、「江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査」を実施しました。基本計画掲載の指標のうち、市民の満足度や行動の実践度を示す指標 48 項目について、それぞれ前回調査からの満足度の変化を確認しました。

前回調査とは

平成 25 年 4 月から 5 月にかけて実施した同名の調査をいいます。

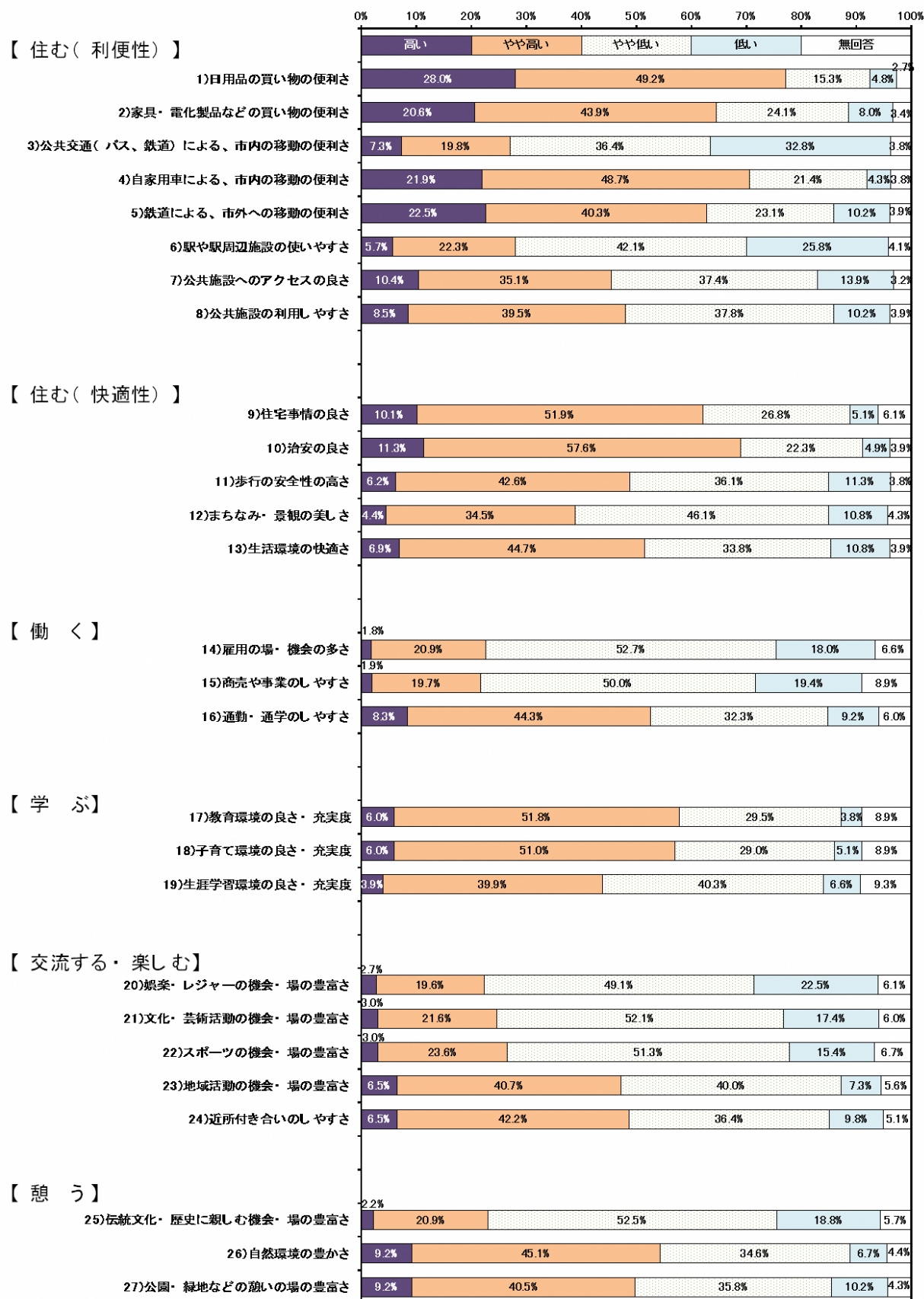
満足度とは

各設問について、5 つの選択肢のうち上位の 2 つ(「満足」、「どちらかといえば満足」という趣旨の回答)を選択した人の割合を満足度としています。



《生活都市の実現状況について》

平成 29 年 4・5 月実施 江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査結果



2. 各分野の目標達成状況

I 生活環境、産業分野

市民がいきいきと働き、地域が活力にあふれ、
市民は安心・安全、快適・便利に暮らしている。

《目標達成状況》

後期 H26～H29 (中期 H23～H25) (前期 H20～H22)

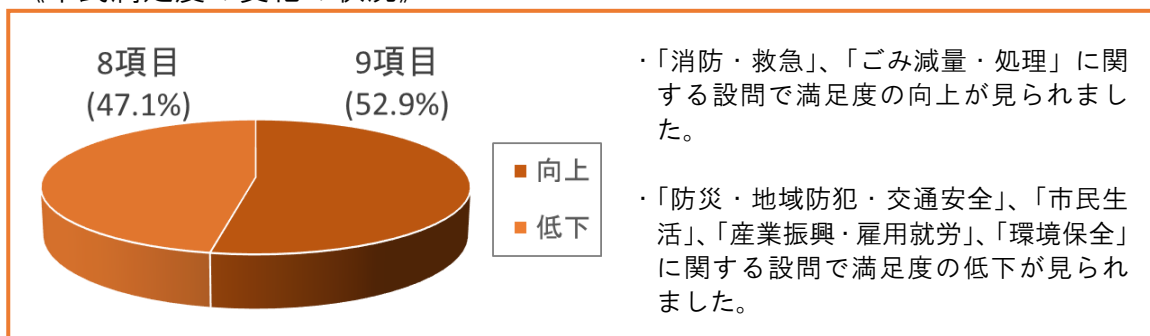
全体目標の平均目標達成率	91.2%	(95.3%)	(117.7%)
個別目標の平均目標達成率	112.0%	(94.9%)	(108.4%)
柱 1 防災・地域防犯・交通安全	91.4%	(97.5%)	(111.4%)
柱 2 消防・救急	101.1%	(100.2%)	(117.7%)
柱 3 市民生活	172.8%	(99.1%)	(109.4%)
柱 4 産業振興・雇用就労	89.7%	(83.0%)	(100.4%)
柱 5 環境保全	91.9%	(93.3%)	(97.1%)
柱 6 ごみ減量・処理	139.5%	(109.8%)	(133.5%)

※ 柱別の平均達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率は 91.2%、個別目標の平均目標達成率は 112.0% で、目標達成している状況といえます。その内訳は「柱 1 防災・地域防犯・交通安全」関係が 91.4%、「柱 2 消防・救急」関係が 101.1%、「柱 3 市民生活」関係が 172.8%、「柱 4 産業振興・雇用就労」関係が 89.7%、「柱 5 環境保全」関係が 91.9%、「柱 6 ごみ減量・処理」関係が 139.5% でした。

消防・救急体制が整っており、日常生活に困ることなく、ごみ減量やリサイクルを取り入れた生活環境が形成され、市民は安心・安全、便利に暮らしている状態にあるものの、「産業振興・雇用就労」については、わずかに 90% に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



II 健康、福祉分野

地域全体で子育てや介護などを支援し、
市民が健康で自立した生活をし、安心していきいきと暮らしている。

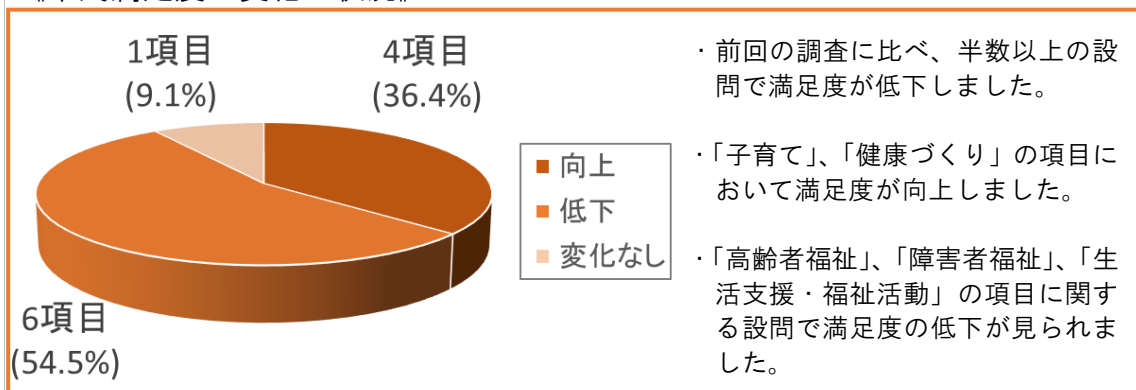
《目標達成状況》	後期 H26～H29	(中期 H23～H25)	(前期 H20～H22)
全体目標の平均目標達成率	83.7%	(102.4%)	(119.4%)
個別目標の平均目標達成率	93.6%	(93.9%)	(96.0%)
柱1 高齢者福祉	84.2%	(89.5%)	(98.7%)
柱2 子育て	78.9%	(85.6%)	(94.3%)
柱3 障害者福祉	101.8%	(101.3%)	(85.0%)
柱4 健康づくり	99.1%	(95.9%)	(104.6%)
柱5 保険年金	97.4%	(99.5%)	(97.7%)
柱6 生活支援・福祉活動	91.0%	(105.8%)	(112.7%)

※ 柱別の平均達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率は、83.7%、個別目標の平均目標達成率は93.6%で、概ね目標達成している状況といえます。その内訳は「柱1 高齢者福祉」関係が84.2%、「柱2 子育て」関係が78.9%、「柱3 障害者福祉」関係が101.8%、「柱4 健康づくり」関係が99.1%、「柱5 保険年金」関係が97.4%、「柱6 生活支援・福祉活動」関係が91.0%でした。

地域全体で障害者などを支援し、住み慣れた地域で、安心していきいきと健康に暮らしているといえます。しかし、「高齢者福祉」、「子育て」のように、個々の指標の達成状況が低いものもあり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



III 都市生活基盤分野

都市生活基盤が整備され、
全ての市民が快適で安心・安全な生活をしている。

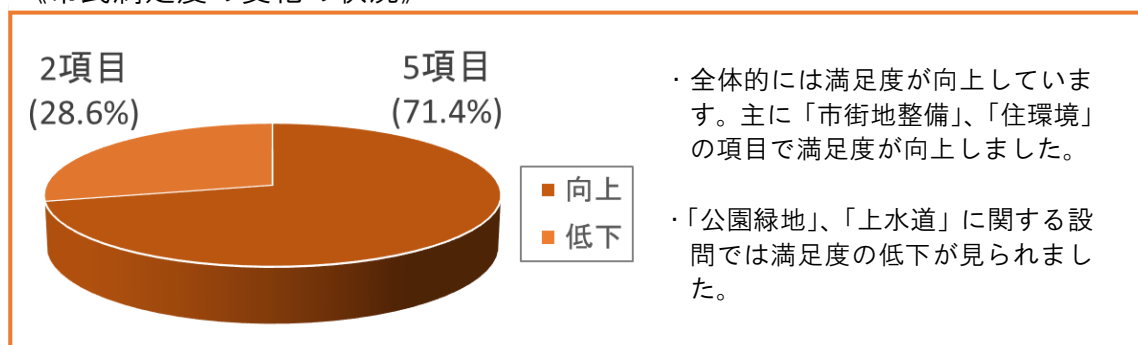
《目標達成状況》	後期 H26～H29	(中期 H23～H25)	(前期 H20～H22)
全体目標の平均目標達成率	94.2%	(97.4%)	(115.1%)
個別目標の平均目標達成率	85.4%	(90.1%)	(95.6%)
柱 1 市街地整備	94.8%	(102.1%)	(110.4%)
柱 2 道路	83.0%	(83.9%)	(86.2%)
柱 3 公園緑地	90.2%	(95.7%)	(113.0%)
柱 4 下水道	100.5%	(100.8%)	(100.8%)
柱 5 治水	51.4%	(59.2%)	(74.8%)
柱 6 住環境	95.2%	(94.3%)	(101.8%)
柱 7 上水道	86.7%	(99.8%)	(101.9%)

※ 柱別の平均達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率は、94.2%、個別目標の平均目標達成率は 85.4%で、概ね目標達成している状況といえます。その内訳は「柱 1 市街地整備」関係が 94.8%、「柱 2 道路」関係が 83.0%、「柱 3 公園緑地」関係が 90.2%、「柱 4 下水道」関係が 100.5%、「柱 5 治水」関係が 51.4%、「柱 6 住環境」関係が 95.2%、「柱 7 上水道」関係が 86.7%でした。

市街地、公園、住環境などが整備され、市民は安心して暮らしている状態にあるものの、「道路」、「治水」、「上水道」については、90%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



IV 教育分野

次世代の社会を担う豊かな人間性と学力をもった子どもが育っているとともに、市民が生涯にわたり学び、それを地域社会に活かしている。

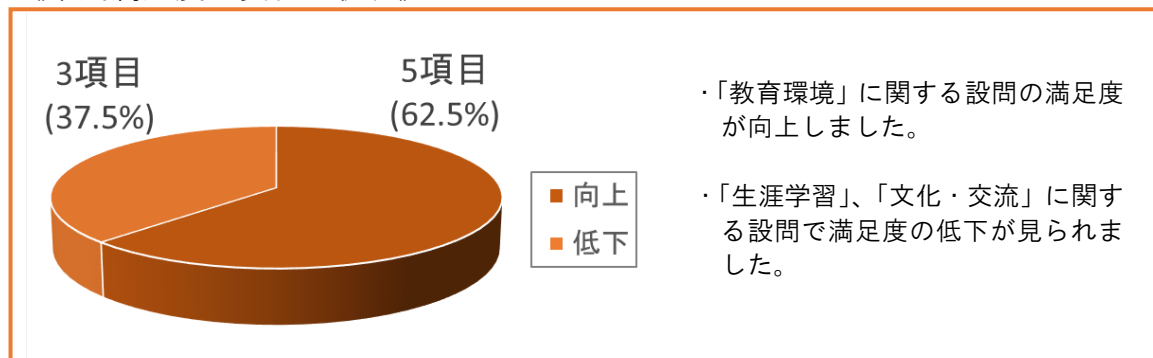
《目標達成状況》	後期 H26～H29	(中期 H23～H25)	(前期 H20～H22)
全体目標の平均目標達成率	84.9%	(99.1%)	(118.0%)
個別目標の平均目標達成率	87.4%	(87.9%)	(104.1%)
柱 1 学校教育	88.2%	(83.2%)	(95.9%)
柱 2 教育環境	70.4%	(85.0%)	(89.5%)
柱 3 生涯学習	82.8%	(87.0%)	(98.0%)
柱 4 文化・交流	96.5%	(98.7%)	(130.5%)

※ 柱別の平均達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率は、84.9%、個別目標の平均目標達成率は 87.4%で、概ね目標達成している状況といえます。その内訳は「柱 1 学校教育」関係が 88.2%、「柱 2 教育環境」関係が 70.4%、「柱 3 生涯学習」関係が 82.8%、「柱 4 文化・交流」関係が 96.5%でした。

「文化・交流」については、文化活動や国内外の交流活動により、伝統文化を培いながら心豊かな生活を送っている状態にあるものの、「学校教育」、「教育環境」、「生涯学習」については、90%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



V 経営、企画分野

市民と市役所との信頼関係のもとに協働型社会が構築されており、限られた経営資源の中で最大の成果を実現し、効率的で公平かつ適正な行財政運営が行われている。

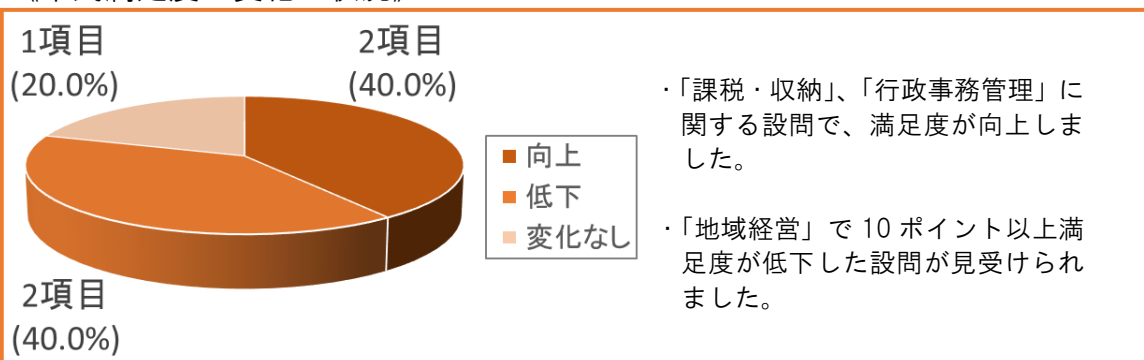
《目標達成状況》	後期 H26～H29	(中期 H23～H25)	(前期 H20～H22)
全体目標の平均目標達成率	99.9%	(109.0%)	(101.0%)
個別目標の平均目標達成率	84.7%	(102.0%)	(94.3%)
柱1 地域経営	69.4%	(66.3%)	(82.6%)
柱2 行政経営 (秘書政策課)	90.6%	(115.8%)	(96.2%)
柱2 行政経営 (行政経営課)	103.8%		
柱3 課税・収納	73.2%	(80.7%)	(82.2%)
柱4 行政事務管理	75.6%	(111.6%)	(99.7%)
柱5 議会運営への支援	189.2%	(189.2%)	(150.5%)

※ 柱別の平均達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率は、99.9%個別目標の平均目標達成率は、84.7%で、概ね目標達成している状況といえます。その内訳は「柱1 地域経営」関係が69.4%、「柱2 行政経営」関係が90.6%（秘書政策課）、103.8%（行政経営課）、「柱3 課税・収納」関係が73.2%、「柱4 行政事務管理」関係が75.6%、「柱5 議会運営への支援」関係が189.2%でした。

限られた資源の選択と集中による行財政運営が行われるとともに、より開かれた議会運営が行われているものの、「地域経営」、「課税・収納」、「行政事務管理」については、80%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



I 生活環境、産業分野

**市民がいきいきと働き、地域が活力にあふれ、
市民は安心・安全、快適・便利に暮らしている。**

柱1 安心・安全な地域づくり【防災・地域防犯・交通安全】

犯罪や事故が少なく、災害への備えのある、安心・安全な地域社会になっている。

柱2 消防・救急体制の充実【消防・救急】

火災や事故、災害などの発生や被害が最小限に食い止められている。

柱3 快適で便利な日常生活の確保【市民生活】

市民が困らずに、不安を感じずに、快適・便利に日常生活を送っている。

柱4 生活産業の活性化・雇用就労と商工農業の振興 【産業振興・雇用就労】

市民の生活産業などが活性化し、地域に雇用の場が確保され、活力あふれる、住みやすいまちとなっている。

柱5 自然と調和した快適な生活環境の確保【環境保全】

公害が少なく、自然が保全され、環境と調和した市民生活や地域活動が営まれている。

柱6 ごみ減量と適切な処理の推進【ごみ減量・処理】

地域全体でごみ減量やリサイクルの取り組みが進められ、適切なごみ処理が行われている。

まちづくり評価シート


危機管理室【担う分野：Ⅰ 生活環境、産業分野】

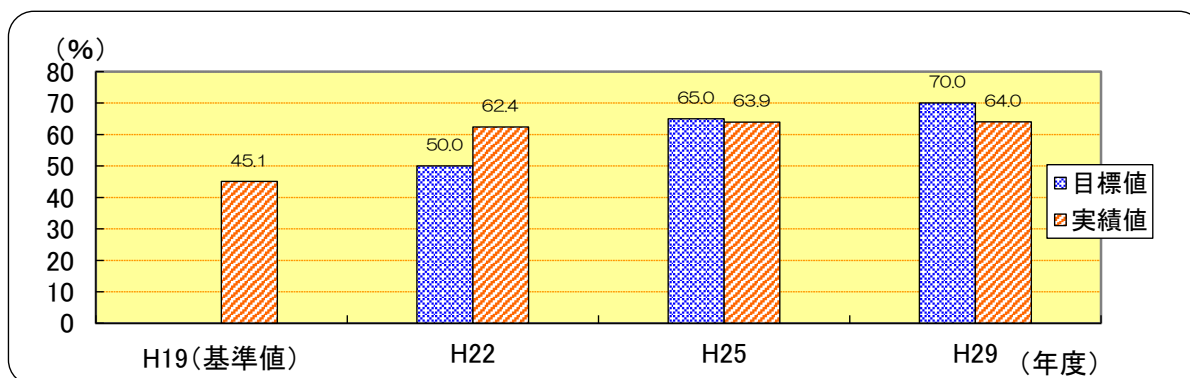
防災安全課【担う柱：1 安心・安全な地域づくり】

H30担当部・課 都市整備部(防災安全課)

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 犯罪や災害への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている

指標名	犯罪や災害への不安が少ないと感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H29	実績値の分析
目標値	%	—	70.0	防災訓練や資機材助成、地域安全活動促進、交通安全啓発活動の継続とともに、新たに道路照明灯のLED化や防災システムの導入により安心・安全なまちづくりを推進したものの、熊本地震の発生から南海トラフ巨大地震への懸念により実績値は微増にとどまっている。
実績値		45.1	64.0	
達成率	%	—	91.4	
達成状況	—	—		




全体目標に対するまちづくり評価

目標については概ね達成できている。今後は、大規模地震発生時においても、地震対策に関する業務を実施するほか、最低限の市民生活の維持、治安の維持、経済活動の調整・支援等に必要な業務を円滑に継続することができるよう、「江南市業務継続計画」を踏まえ、非常時対応及び事前対策に万全を期す必要がある。また、防犯や交通安全においては、所轄警察署、関係団体及び地元区とさらなる連携協力により啓発活動を継続するとともに、犯罪や交通事故の情報収集、分析により犯罪抑止や交通安全対策に取り組む必要がある。

個別目標① 災害への備えが行われている

《H30担当課》防災安全課

指標名	非常持ち出し品や食料などを準備している市民の割合						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	46.0	47.0	48.0	50.0	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織運営事業 ・災害時対応事業 ・総合防災訓練事業
実績値		14.4	—	—	—	38.7	
達成率	%	—	—	—	—	77.4	
達成状況	—	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	自主防災訓練などに継続的に取り組み、訓練の中で避難所の備蓄品目、備蓄量を知り、自分たちの食料、水は自分たちで用意する大切さを学んだ。 五市町災害対応連絡協議会(5市町合同防災カレッジ)や各種研修会、講習会に参加し、災害は発生してからではなく、発生する前の予防、準備や心構えが大切であることを学んだ。
市役所	自主防災会会長会議を開催し、自主防災会の意見等を聴取したうえで、自主防災会主催による防災訓練を支援した。 自主防災訓練の中で、防災に対する啓発活動を行った。 五市町災害対応連絡協議会(5市町合同防災カレッジ)をはじめとした各種講演会などを開催した折に、災害に対する備えの重要性を啓発した。

《H30担当課》防災安全課

指標名 防災用資機材助成の申請率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	96.0	97.0	98.0	100.0	・自主防災組織運営事業
実績値		83.8	79.4	81.1	79.7	87.0	
達成率		—	82.7	83.6	81.3	87.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	自分たちの地域は自分たちで守るという意志のもと、各地区が所有する資機材の保守、充実を図った。						
市役所	自主防災会会長会議の中で資機材助成金の申請方法について説明するとともに、災害時における初動体制の充実を図った。						

《H30担当課》防災安全課

指標名 危機管理体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合							
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	43.0	45.0	47.0	50.0	・地域防災計画作成事業 ・防災行政無線等電源装置更新事業 ・災害時対応事業 ・有事関連事業
実績値		25.4	—	—	—	30.3	
達成率		—	—	—	—	60.6	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	講演会への参加により知識の向上に努めるとともに、自治組織内の情報共有を図った。						
市役所	市民の安全を確保するため、地域防災計画の見直しを実施するとともに、危機管理に係る計画の適切な運用を行った。 同報系防災行政無線、あんしん・安全ねっとメールサービス等の保守管理とともに、テスト配信及びテスト放送を行い、有事の際の対応に万全を期した。						

目標達成のための今後の展開方針

「自らの命は自らで守る。」という災害対応の基本を、市民一人ひとりの防災に関する考え方として広げていくよう、さまざまな機会を通して啓発を継続する。
 区長・町総代会や自主防災会会長会議の折に、防災資機材等の整備を含む自主防災組織の役割や地域コミュニティの重要性を説明するとともに、自主防災会が実施する防災訓練を支援することにより、地域防災力の向上に繋げていく。
 防災センターが災害時の防災拠点として機能するよう、太陽光発電及び蓄電池システムを適切に管理することで、停電時における電力供給体制を維持する。
 同報系防災行政無線を含む災害情報の収集、伝達システムの適正な管理に努める。
 災害時において、通常業務の中断を最小限にできるよう、随時、業務継続計画(BCP)の見直しを行う。

個別目標に対するまちづくり評価

熊本地震の報道等を踏まえ、災害予測及びこれに基づく初動体制の確立、並びに災害時の復旧体制の重要性を再認識することができた。
 この地域でも近い将来、大きな地震が発生する可能性が極めて高いことから、行政と地域が連携した災害復旧体制を構築する必要がある。

個別目標② 地域の防犯体制が整い、犯罪が減っている

《H30担当課》防災安全課

指標名		犯罪発生件数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	1,410	1,327	1,244	1,160	・防犯対策事業
実績値		1,850	960	967	819	888	
達成率		%	—	146.9	137.2	151.9	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	広報こうなんやあんしん・安全ねっとメールサービスを活用し、防犯や犯罪情報などの情報を収集し、防犯対策を実施した。						
市役所	広報こうなんやあんしん・安全ねっとメールサービスを活用し、防犯や犯罪情報などの情報提供や防犯対策啓発活動などを実施した。						

《H30担当課》防災安全課

指標名		地域安全パトロール実施率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	95.6	97.1	98.5	100.0	・防犯対策事業
実績値		59.2	92.6	89.9	89.9	91.3	
達成率		%	—	96.9	92.6	91.3	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	地域安全パトロール隊として巡回した。						
市役所	地域安全パトロール隊との巡回や、地域安全パトロール隊や江南警察署、関係機関などと合同で防犯啓発活動を実施した。江南警察署からの犯罪状況を地域安全パトロール隊へ情報提供した。						

目標達成のための今後の展開方針

地域安全パトロール隊の巡回に加え、防犯啓発活動を推進する。
地域安全パトロール隊、江南警察署など関係機関との連携を強化する。

個別目標に対するまちづくり評価

地域安全パトロール隊は各地域で設置され、実施率は高い割合となっているが、参加者は固定・高齢化の傾向があることから、組織強化及び活動促進に係る支援が必要である。
刑法犯罪発生件数は減少しているものの、凶悪な事件が発生していることから、江南警察署や関係機関などと連携を密に、犯罪の抑止に努める必要がある。

個別目標③ 交通事故が減っている

《H30担当課》防災安全課

指標名	交通事故発生件数 (人身事故)						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	580	555	530	500	・交通安全事業 ・交通安全対策事業 ・交通安全施設設置事業 ・交通安全施設管理事業
実績値		698	597	599	581	491	
達成率	%	—	97.2	92.7	91.2	101.8	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	交通事故の危険箇所の調査、検証を実施し、市や警察に改善要望を提出した。						
市役所	交通事故の危険箇所や地域からの要望に対する交通安全施設の設置や交通安全施設の保守点検、地域ボランティアや江南警察署などと交通安全啓発活動を実施した。						

目標達成のための今後の展開方針

江南警察署より収集した交通事故の詳細な原因などの情報を分析し、交通安全啓発活動や交通安全施設設置箇所などの参考資料として活用していく。
交通安全施設の設置要望箇所の状況等を踏まえ、道路照明灯、反射鏡、区画線、警戒標識、交差点路面標示、点滅鋸、停止鋸の設置及び通学路のカラー整備を実施するとともに、必要に応じて改修を進めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

毎年、交通安全施設設置事業として、道路照明灯や道路反射鏡などの設置や交通安全教室等を実施し、交通事故の減少に努めている。しかし、愛知県の死亡事故者数は全国ワースト1位となっており、継続してソフト、ハード両面の対策を講じていく必要がある。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

総合防災訓練や校下別自主防災会合同訓練、防災資機材の助成の継続実施により、市民の防災意識の高揚、地域防災力の向上に繋がった。
また、全国瞬時警報システム(J-ALERT)と連動したあんしん安全ねっとの更新により情報伝達時間の短縮など、有事の際の情報伝達力の強化を図り、安心・安全なまちづくりに貢献した。
さらに、地域安全パトロール隊への活動促進、交通安全啓発活動の継続実施により、市民を脅かす犯罪や交通事故の抑止に寄与することができた。

◆柱全体の今後の課題

コミュニティの高齢化・弱体化により地域の防災、防犯及び交通安全活動が沈滞化することが危惧されるため、今後も事業を継続していくうえで、いかに地域の自主的活動を支援していくかが課題である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

区長、自主防災会会長、地域安全パトロール隊など地域の安心・安全を担うリーダーの高齢化が進むなか、コミュニティの中心的役割を果たす次世代リーダーの育成、及び地域の安心・安全に係る活動の継続を自治会に要請する。
情報伝達手段の保守点検及び効果的な活用により、有事の際の迅速かつ確かな情報伝達に努める。
交通安全施設の保守点検及び交通事故危険箇所への効果的な新設により、交通安全の確保に努める。

まちづくり評価シート

消防本部【担う分野: I 生活環境、産業分野】

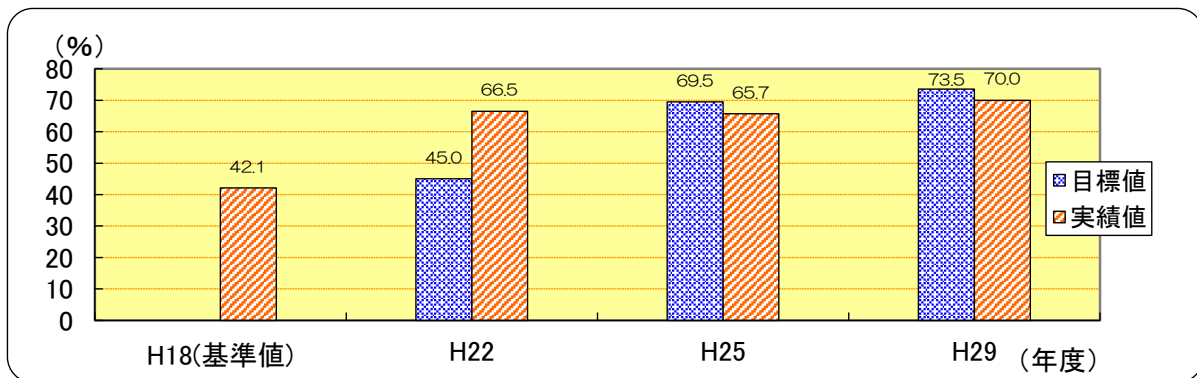
総務予防課、消防署【担う柱: 2 消防・救急体制の充実】

H30担当部・課	消防本部 (消防総務課・消防予防課・消防署)
----------	---------------------------

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 消防・救急体制が整い、市民が安心・安全に暮らしている

指標名	火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析
目標値	%	—	73.5	平成29年4月に実施した市民満足度調査結果により、達成率95.0%以上という結果ではあるが、今後も災害に対する迅速かつ的確な対応はもちろんのこと、常備消防の普通救命講習や住宅用火災警報器の普及啓発、消防団員による市行事等の警備や地元住民に対する訓練指導等を実施していくことにより、さらに市民の満足度が上昇すると思われる。
実績値		42.1	70.0	
達成率	—	95.2		
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価
 今後も消防署と消防団の連携をさらに強め、災害活動に対し、迅速かつ的確に対応し、市民の生命財産を保護していただくとともに、市民に対して普通救命講習の開催や住宅用火災警報器の普及啓発、消防団員による地元住民への訓練指導等を引き続き実施し、市民満足度の上昇を目指していただきたい。





個別目標① 消防・救急体制が充実している

《H30担当課》消防総務課





指標名	消防団員(水防団員)の充足率						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	・消防団運営事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績値		100	99.5	99.5	99.5	100.0	
達成率		—	99.5	99.5	99.5	100.0	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	消防団車庫、事業所等へのポスターの掲示、市ホームページへの掲載、全家庭への回覧板等により消防団員募集を確認し、消防団員を確保できるように積極的に協力した。
市役所	消防団車庫、事業所等へのポスターの掲示、市ホームページへの掲載、区長、町総代等へのお願い文書により消防団員募集に努めた。





《H30担当課》消防署

指標名		消防水利の充足率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	85.5	85.7	86.0	87.4	・消防水利整備事業
実績値		82.2	84.0	84.1	84.1	84.1	
達成率		—	98.2	98.1	97.8	96.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	消防水利の使用に支障がないように努めた。						
市役所	消防水利の包含されていない地域に消火栓を設置し、充足率の向上に努めた。						

《H30担当課》消防総務課

指標名		救急救命士有資格者数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	21	22	22	22	・救急救命士養成事業
実績値		13	24	25	26	23	
達成率		—	114.3	113.6	118.2	104.5	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	高規格救急自動車に救急救命士が常時同乗することにより、円滑かつ的確な救急処置を受けることができた。						
市役所	高規格救急自動車を運用するにあたり、救急救命士の高齢化に対応するため、毎年1名の救急救命士を養成した。						

《H30担当課》消防総務課

指標名		救急救命士運用者数					
	単位	H22 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	19	19	19	19	・救急救命士養成事業
実績値		16	19	18	17	15	
達成率		—	100.0	94.7	89.5	78.9	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	高規格救急自動車に救急救命士が常時同乗することにより、円滑かつ的確な救急処置を受けることができた。 現場経験豊富な救急救命士から、応急手当講習を受講することにより、専門的な知識・技術を学ぶことができた。						
市役所	救急救命士運用者数は、派遣等による異動に左右されますが、出動体制を考慮しながら救急救命士運用者を高規格救急自動車へ同乗させ救急事案に対応した。						

目標達成のための今後の展開方針

消防団員の充足率100%を維持するため、消防団加入促進PR活動を実施し、消防団に対する地域の住民の理解が一層深まるよう努めていく。

消防車両にあつては、更新計画に基づき計画的に整備を図っていく。

個別目標に対するまちづくり評価

消防団員の充足率は100%であることから、今後は定数を維持するようお願いしたい。

南海トラフ巨大地震の発生に備え、既設防火水槽の簡易耐震化を図っていただきたい。また、消防水利については、水利のない地域に優先して設置し、消防水利の充足率向上をお願いしたい。


個別目標② 防火対象物や危険物施設などの安全対策指導が徹底されている

《H30担当課》消防予防課

指標名	防火管理者の選任率						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	85.1	85.7	86.3	86.9	・防火管理事業
実績値		66.4	86.8	86.8	89.8	89.6	
達成率	%	—	102.0	101.3	104.1	103.1	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	防火管理者が必要な事業所の関係者は、講習の受講や選任の届出をした。						
市役所	防火管理者を必要とする対象物の関係者に対し、管理者や所有者自らが中心となって建物の防火安全対策等を行うことができる甲種と乙種の防火管理講習会を実施した。また、立入検査の折に防火管理の説明を行い、管理者が必要な事業所には講習会への受講や届出の案内を行い、選任率の向上に努めた。						

《H30担当課》消防予防課

指標名	優良危険物施設率						
	単位	H22 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	96.0	97.0	98.0	100.0	・危険物製造所等立入検査事業
実績値		91.3	98.1	98.1	99.7	100.0	
達成率	%	—	102.2	101.1	101.7	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	危険物施設等への立入検査を受けることにより、危険物の貯蔵・取扱の不備事項を知ることができ、改善することによって危険物事故を未然に防ぐことができた。						
市役所	危険物施設等の状況を把握するために立入検査を行い、危険物の貯蔵・取扱等の改善を指示することによって、危険物火災・漏洩等の災害を防ぐことができた。						

指標名	住宅用火災警報器の設置率						
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	61.0	64.0	67.0	70.0	・火災予防事業
実績値		20.9	—	—	—	71.5	
達成率		—	—	—	—	102.1	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	住宅の寝室及び台所に住宅用火災警報器を設置することで、火災発生を初期に知ることができ、安心して生活を送ることができた。						
市役所	広報誌、懸垂幕、のぼり、車両広報、街頭啓発、防火診断等で幅広く市民へ啓発を実施し、住宅用火災警報器の設置率を向上させることができた。						





目標達成のための今後の展開方針





立入検査の実施棟数を増やすとともに、検査内容の充実を図ることにより、事業所の防火管理を徹底させる。危険物事故防止のため、継続してすべての危険物施設に対し立入検査を実施する。高齢者宅において住宅用火災警報器の設置率が低い状況が認められることから、引き続き、高齢者宅を中心とした設置啓発活動を実施していく。また、設置から10年を経過することから、適切な維持管理についても啓発していく。





個別目標に対するまちづくり評価





業務内容によって一般事業者、危険物関係事業者又は市民等と相手方が異なるが、共通の最終目標は防火意識の向上による無火災であると考えられるので、積極的な活動をしていただきたい。





個別目標③ 救急・救助や消火活動において、迅速・的確に対応している

指標名	応急手当講習の受講者数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	5,600	5,800	6,000	6,100	・応急手当普及啓発事業
実績値		4,817	5,801	5,659	7,021	6,703	
達成率		—	103.6	97.6	117.0	109.9	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	6,703人が応急手当を受講し、講習別に上級救命18人、普通救命678人、その他の応急手当6,007人であった。 その他の応急手当6,007人のうち、2,940人は市内14校の小中学生であった。						
市役所	受講者を増やすため、可能なかぎり市民のニーズに合わせた形で応急手当講習会を開催した。学校教育の中で応急手当を学べるよう学校教育課に依頼し、小中学生を対象に市内14校、2,940人に応急手当講習を実施した。						

指標名		薬剤投与救急救命士運用者数					
	単位	H21 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	16	19	19	19	・救急事業
実績値		7	19	18	17	16	
達成率		%	—	118.8	94.7	89.5	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	救急現場にて市民が応急手当を実施した。						
市役所	新たに1名を養成し、薬剤投与救急救命士が16名となった。 平成29年中の薬剤投与は20件あり、そのうち13件の心拍が再開した。						

指標名		心拍再開率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	27.0	28.0	29.0	30.0	・救急事業
実績値		13.0	36.0	38.0	46.7	51.1	
達成率		%	—	133.3	135.7	161.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	救急現場で市民が応急手当を実施した。						
市役所	薬剤投与のできる救急救命士の養成、病院実習等により知識、技術の向上を図り、救命率の向上に努めた。						

指標名		火災現場到着所要時間					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	分	—	7.5	7.5	7.4	7.3	・警防事業 ・救助事業 ・指揮・指令事業
実績値		7.9	7.4	7.3	8.7	9.6	
達成率		%	—	101.4	102.7	85.1	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	火災現場にて市民が初期消火を実施した。						
市役所	発生場所により現場到着所要時間に差異はあるが、迅速、正確かつ安全に現場に到着するよう努めた。 出動指令から出動までの時間短縮に努めた。 ※平成29年中 火災出動件数 26件						

指標名		救急現場到着所要時間					
	単位	H21 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	分	—	6.4	6.4	6.4	6.3	・救急事業
実績値		6.6	6.7	6.7	6.6	6.7	
達成率		%	—	95.5	95.5	97.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	救急現場にて市民が応急手当を実施した。						
市役所	発生場所により現場到着所要時間に差異はあるが、迅速、正確かつ安全に現場に到着するよう努めた。 出動指令から出動までの時間短縮に努めた。 ※平成29年中 救急出動件数 4,619件						

目標達成のための今後の展開方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の普及啓発は継続して積極的に取り組み、普及啓発活動の強化を図るとともに応急手当普及員を養成し、人件費の削減を図る。 ・気管挿管、薬剤認定救急救命士を養成し、救急現場での応急処置範囲を拡大させ、救命率の向上に努める。 ・火災(救急)現場到着所要時間は、出動指令から出動までの時間の短縮に努める。 	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>応急手当の必要性、重要性について、市民に積極的に広報し、応急手当講習受講者を増大させ、AEDの活用、心肺蘇生法等の応急手当が素早く行われることにより、救命率の向上、そしてひとりでも多くの方が社会復帰できるよう目指してもらいたい。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果	
<p>更新計画による車両更新及び、既設防火水槽の簡易耐震化の充実強化を図ることができた。普通救命講習を開催することにより、救命率向上を図ることができた。防火対象物、危険物施設への立入検査を実施することにより、火災予防の徹底を図ることができた。</p> <p>自主防災訓練等を通じ、応急手当指導、住宅用火災警報器の普及啓発、消防団員による訓練指導を実施することにより、市民の消防に対する理解、認識を深めることができた。</p>	

◆柱全体の今後の課題	
<p>救急救命士の高齢化に伴い、順次増員を図る必要がある。</p> <p>通信指令業務の共同運用に係る経費の増大が見込まれることから、経費を必要最低限に抑え、最大の効果を得る必要がある。</p> <p>多様化・大規模化する災害・事故に的確に対応するため、全国的に消防広域化が進められているところであり、大規模な消防体制の構築に積極的に取り組む必要がある。</p>	

◆柱全体の今後の取り組みの方向性	
<p>高規格救急自動車を運用するにあたり、運用救急救命士24人体制を目標に、さらなる救命率の向上をめざしていく。</p> <p>消防広域化については、尾張中・北部(犬山市・江南市・小牧市・岩倉市・丹羽広域事務組合・西春日井広域事務組合消防本部)圏域で、通信指令業務の共同運用の効果を見据えながら検証をし、消防広域化をめざして協議していく。</p>	

まちづくり評価シート

生活産業部【担う分野: I 生活環境、産業分野】

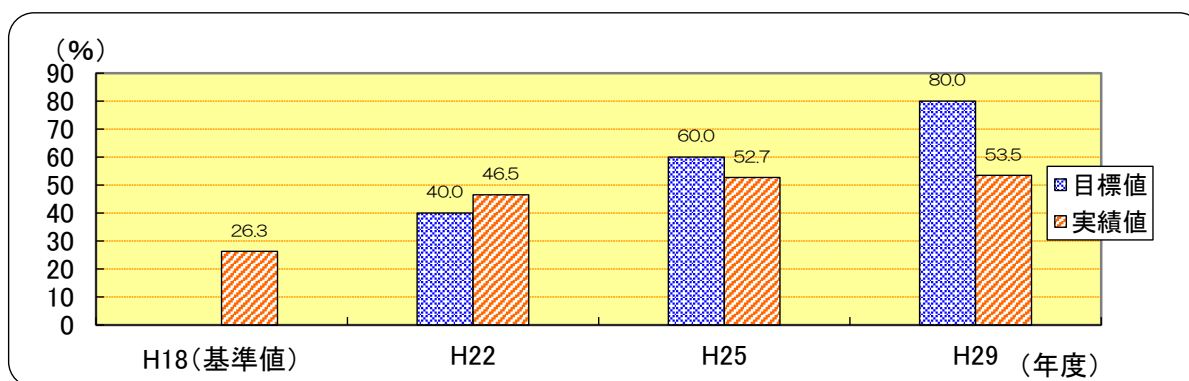
市民サービス課【担う柱: 3 快適で便利な日常生活の確保】

H30担当部・課	企画部(市民サービス課)
	都市整備部(都市計画課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 市民が日常生活に困ることなく便利に暮らしている

指標名	迅速かつ適切に行政サービスを受けていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 目標値には及ばなかったが、窓口サービスの向上、各種相談の充実、いこまいCAR(予約便)の登録者数増加等により、市民の満足度は、上昇している。
目標値	%	—	80.0	
実績値	%	26.3	53.5	
達成率	%	—	66.9	
達成状況	—	—	↑	



全体目標に対するまちづくり評価

戸籍の電算化をはじめ、番号案内表示機の設置、フロアマネージャーの導入など諸証明等を請求する際、気軽に安心して請求し、受領することができ、窓口サービスの向上につながった。各種相談については、各種専門相談員からの適確な助言により、相談内容に沿った対応が図られた。いこまいCAR(予約便)の登録者も年々増加し、主に高齢者が病院等へ行く足になっている。





個別目標① 専門家による相談を受け安心して暮らしている





《H30担当課》市民サービス課

指標名	消費生活講座の受講者数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・消費生活事業
目標値	人	—	230	230	240	240	
実績値	人	166	238	601	518	686	
達成率	%	—	103.5	261.3	215.8	285.8	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	18回の消費生活講座で延べ686人が受講し、生活に役立つ知識を習得した。
市役所	賢い消費者を育成するため、一般市民向けに4回、小学生向けに4回、消費生活モニター向けに2回、よもやま塾として8回開催した。

指標名 消費生活相談の件数							
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	80	80	80	80	・消費生活センター事業
実績値		67	81	117	119	484	
達成率		%	—	101.3	146.3	148.8	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	消費生活に関する専門的な知識をもつ相談員に相談した。						
市役所	消費生活相談を月曜日から金曜日まで開催した。						

指標名 弁護士などの専門家による相談の件数							
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	660	660	675	675	・市民相談事業
実績値		576	686	640	644	541	
達成率		%	—	103.9	97.0	95.4	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	弁護士、司法書士など専門家に相談した。						
市役所	法律相談など専門的な各種相談を定期的で開催した。						

目標達成のための今後の展開方針

消費生活事業については、悪質商法等の未然防止や消費生活に関するさまざまな問題について啓発する。県の尾張消費生活相談室が、平成29年度から愛知県消費生活総合センターに統合されることによる、市の相談件数の増加、また、複雑化・高度化する相談に対応するため、市消費生活センターを設置し、相談体制の充実、強化に努める。

個別目標に対するまちづくり評価

多種多様な相談窓口を開設することにより、専門家に相談し、問題解決を見つける糸口となっており、毎日行っている市民相談から専門的な相談への連携もスムーズにできている。
また、高齢者を狙った悪質商法等が年々増加しており、未然防止対策が不可欠となっているので、消費生活センターの開設に伴い、消費生活相談体制及び啓発の充実・強化に努めてほしい。

個別目標② 身分等が正確に記録・管理され、市民は窓口サービスを迅速に受けている

《H30担当課》市民サービス課

指標名 戸籍訂正の件数								
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	件	—	60	60	60	50	<ul style="list-style-type: none"> ・戸籍事務事業 ・戸籍等窓口事業 	
実績値		87	77	74	41	62		
達成率		%	—	77.9	81.1	146.3		80.6
達成状況		—	—					
取り組みの状況								
市民	各種戸籍届出書を届出する時、所定の届出用紙に正確に記載し、届出期間の定めがある場合は、その期日を守り、必要な添付書類がある場合には、その必要書類を用意して届出をした。							
市役所	各種戸籍届出書を審査する場合、法令等に従い、受理する。また、戸籍事務を正確に記録し管理する。 正確で便利な窓口サービスにつながるよう、職員・臨時職員の資質向上を図った。							

《H30担当課》市民サービス課

指標名 正確で早くて便利な窓口サービスを受けていると感じる市民の割合								
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	%	—	96.0	96.0	96.5	97.0	<ul style="list-style-type: none"> ・住民基本台帳事業 ・戸籍等窓口事業 ・通常窓口外対応事業 ・印鑑登録事業 ・埋火葬関係事業 ・臨時運行許可事業 ・住民基本台帳窓口事業【支所】 ・戸籍等窓口事業【支所】 ・印鑑登録事業【支所】 ・埋火葬関係事業【支所】 ・市税等収納事業【支所】 ・墓地管理事業 ・外国人登録事業 	
実績値		94.5	92.3	94.4	93.5	93.2		
達成率		%	—	96.1	98.3	96.9		96.1
達成状況		—	—					
取り組みの状況								
市民	証明書等の交付を請求したが、迅速な対応で交付してもらうことができた。また、日曜市役所や電話予約により執務時間外でも証明書等の交付を受けることができた。							
市役所	届出書等に記載された身分事項、住居事項を正確に登録し、各種証明書を交付した。日曜市役所を第2・4日曜日の午前中に開設した。また、電話予約により、夜間や休日に住民票及び戸籍の附票を交付した。							

目標達成のための今後の展開方針


個人番号カードを適切に遅滞なく交付する。また、フロアマネージャーを配置し、来庁者の窓口への誘導や、各種手続き等の支援を行うことにより、窓口の混雑を緩和し、安心して手続きを行うことができるよう努める。

個別目標に対するまちづくり評価





市民ひとりひとりの身分等が正確に記録・管理され、窓口サービスの提供を迅速かつ適確に受けられるようにしてほしい。

個別目標③ 市民の足が確保できている

《H30担当課》都市計画課

指標名	誰もが公共交通により市内の必要な場所に行くことができ、便利に暮らしていると感じる市民の割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	30.0	33.0	33.3	35.0	・いこまいCAR運行事業 ・バス関連事業
実績値		19.5	—	—	—	25.1	
達成率	%	—	—	—	—	71.7	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	目的地への移動手段として、いこまいCAR(予約便)や路線バスを利用した。						
市役所	いこまいCAR(予約便)や路線バスをより多くの人に利用してもらうため、利用促進の啓発に努めた。また、地域公共交通基礎調査を実施し、市内の公共交通の現状把握、利用者アンケート、意見交換会、平成25年度に実施した市民アンケートの再分析などにより、調査結果をとりまとめ、地域公共交通会議で報告・協議した結果、今後の対応方針を決定した。						

《H30担当課》都市計画課

指標名	予約便の利用便数						
	単位	H24 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	便	—	56,000	60,000	60,000	57,000	・いこまいCAR運行事業
実績値		53,404	57,285	53,850	54,536	54,661	
達成率	%	—	102.3	89.8	90.9	95.9	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	いこまいCAR(予約便)の利用者登録を行い、目的地への移動手段として利用した。						
市役所	いこまいCAR(予約便)をより多くの人に利用してもらうため、利用促進の啓発に努めた。						

目標達成のための今後の展開方針

地域公共交通基礎調査の結果を踏まえ、地域公共交通会議で承認された地域公共交通の基本的な考え方に従って公共交通施策を実施する。また、名鉄バス、大口町コミュニティバスの利用促進を図り、今後も大口町・扶桑町と協議を行う。

個別目標に対するまちづくり評価

地域公共交通基礎調査結果を踏まえて策定された地域公共交通の基本的な考え方に従い、交通サービスを提供していく必要がある。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

戸籍の電算化をはじめ、番号案内表示機を設置、フロアマネージャーの導入などにより、気軽に安心して、諸証明等を請求し、受領することができ、窓口サービスの向上につながった。

各種相談については、各専門相談員からの的確な助言により、相談内容に沿った対応が図られた。

いこまいCAR(予約便)の登録者も年々増加し、特に高齢者が病院等へ行く足になっている。また、既存バス路線を分割・延長したことで、より便利になった。地域公共交通基礎調査を実施し、結果を踏まえて地域公共交通の基本的な考え方を策定した。

◆柱全体の今後の課題

各種届出や諸証明の交付を受ける際に、市民にわかりやすく利用しやすい、窓口体制を確立する。

市民が様々な相談をうけることができるよう相談業務を行う。

市民が消費者トラブル等の被害に遭わないよう啓発活動に取り組む。

地域公共交通の基本的な考え方に従って、公共交通の評価を実施する。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

市民が窓口で不安なしで諸手続きができるよう、フロアマネージャーを引き続き配置し、あわせて資質向上を図るよう努める。

相談内容や件数を分析して、市民のニーズにあった相談業務を行っていくように努める。

高齢者を狙った悪質商法が増加しており、相談業務や啓発活動を充実させるほか高齢者の見守りネットワークづくりを進める。

地域公共交通の基本的な考え方に従って施策を展開しつつ、公共交通の評価を進める。

まちづくり評価シート

生活産業部【担う分野：I 生活環境、産業分野】

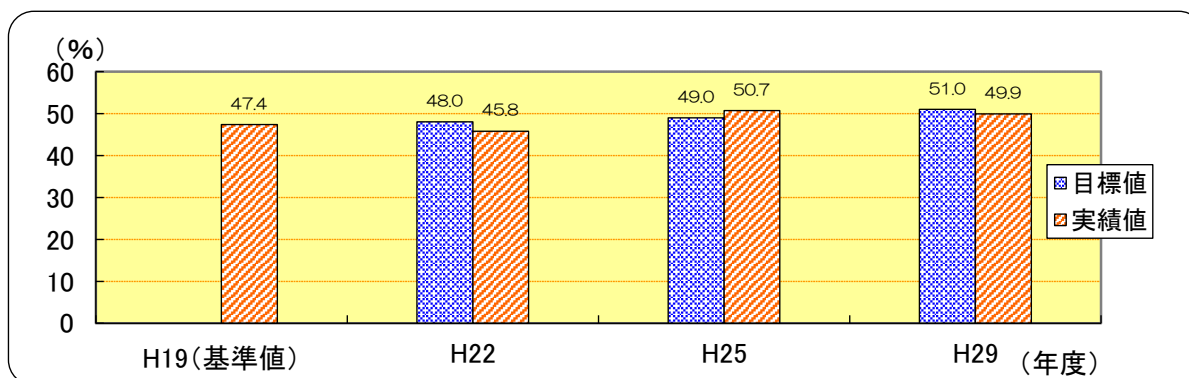
商工観光課、農政課【担う柱：4 生活産業の活性化・雇用就労と商工農業の振興】

H30担当部・課 経済環境部(商工観光課・農政課)

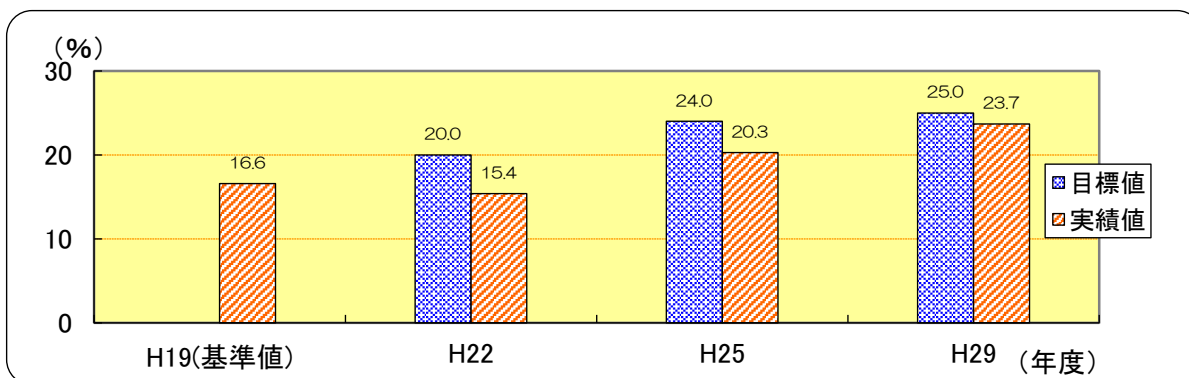
◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 生活産業などが活性化し、地域に雇用の場が確保され、活力あふれる、住みよいまちとなっている

指標名	生活産業が活性化し、住みよいまちであると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H29	実績値の分析 郊外型の大型店に加え、中心市街地周辺には食品スーパーなどが充実しており、一定の満足度は得られている。
目標値	%	—	51.0	
実績値	%	47.4	49.9	
達成率	%	—	97.8	
達成状況	—	—	☀	



指標名	市内に雇用の場があり、活力あふれるまちであると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H29	実績値の分析 大規模な事業者が少なく、企業誘致も未だ具体的な成果が出ていない中で、雇用の場が広がる状況にはなかったが、求人数の増加及び有効求人倍率の改善により満足度調査が上昇する結果となった。
目標値	%	—	25.0	
実績値	%	16.6	23.7	
達成率	%	—	94.8	
達成状況	—	—	☀	




全体目標に対するまちづくり評価

商店街にかつての賑わいを取り戻すことは困難かもしれないが、商工業振興のためには既存の事業者や個店の頑張りが必要であることから、中小事業者に対する融資助成や設備投資に係る優遇制度といったきめ細かな支援が必要と考える。また、雇用の創出を図るため、企業誘致のさらなる推進が望まれる。


就業支援対策は、国や県主導による施策により推進されているが、就職フェア開催など地域主導による取り組みも重要な施策となってくる。地域職業相談室の運営事業を始めとして、国、県、関係機関と連携した支援事業が必要である。また、地域資源や観光資源などを活用したまちづくりも求められている。

個別目標① 魅力ある商工業の成長により、活気のある地域社会になっている



《H30担当課》商工観光課

指標名		魅力ある商店街が形成されており、便利に買い物できると感じる市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	25.0	26.0	27.0	28.0	・地場産業活力向上事業 ・商工業・流通業補助事業
実績値		21.8	—	—	—	24.4	
達成率	%	—	—	—	—	87.1	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	市民まつり運営協議会や市民サマーフェスタ運営委員会に参加して、商工業及び商店街の活性化のためのイベントを行った。商業活性化推進協議会に参加し、市役所との情報交換を行った。						
市役所	市民まつりや市民サマーフェスタを商工会議所及び商店街連合会と協働して委託開催、開催補助を行った。商店街の魅力アップのため、街路灯等電灯料補助を行った。商業活性化推進協議会に参加して、商店街関係者等と意見交換を行った。						

《H30担当課》商工観光課

指標名		商品販売額					
	単位	H16 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	億円	—	1,802	1,802	1,802	1,802	・商工業・流通業補助事業 ※参考 平成28年実績値1,396億円 (平成28年経済センサス・活動調査による 卸売業・小売業に関する集計)
実績値		1,802	1,017	—	—	—	
達成率	%	—	56.4	—	—	—	
達成状況	—	—		—	—	—	
取り組みの状況							
市民	市民まつりや市民サマーフェスタなどにおいて、商品販売促進のための事業を行った。						
市役所	江南市商店街連合会が行う商品販売促進のための事業に対して補助を行った。						

《H30担当課》商工観光課

指標名		製造品出荷額					
	単位	H17 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	億円	—	1,200	1,200	1,200	1,200	・地場産業活力向上事業 ・企業誘致等推進事業 ・工業統計調査事業 ※実績値は翌々年4月に確定
実績値		1,602	1,353	—	1,431	—	
達成率	%	—	112.8	—	119.3	—	
達成状況	—	—		—		—	
取り組みの状況							
市民	工業振興対策協議会に参加し、異業種間での交流会や意見交換を行った。						
市役所	市内企業を訪問し、関係を密にすることで企業流出等の防止や情報交換を行った。県が開催する企業立地に関する研修会に参加した。						

指標名	売上DI値						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	△45.0	△43.0	△41.0	△40.0	・中小企業経営力強化事業 ・中小企業金融円滑化事業
実績値		△19.4	△35.6	△30.6	△42.1	△33.4	
達成率	%	—	126.4	140.5	97.4	119.8	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市と商工会議所にて開催している、経営等講習会に参加し、活力ある事業所づくりに努めた。						
市役所	県と協調し小規模企業等振興資金融資制度を設けるとともに、信用保証料の助成及び利子の補助を行い、中小企業の資金繰りや経営安定に向けた支援を行った。また、市内1,000事業所に対して景況調査を行い、事業所の業況の把握を行った。						

目標達成のための今後の展開方針	
<p>市内事業者や商店街等に対する補助金、商店街等を中心としたイベントや活性化策について商工会議所や商店街連合会などと連携して検討していく。</p> <p>中小企業振興に関する条例の制定を検討するため、関係する団体等との懇談会を実施する。</p> <p>企業誘致については、安良区域内に用地提供に賛同していない地権者の所有する土地が点在しており、企業の用地確保に支障が出ていることから、地権者訪問を繰り返し行うことなどにより協力をお願いしていく。また、企業にとって必要なサービスを高いレベルで提供できるよう、ワンストップ窓口機能の充実強化に努める。なお、企業のニーズに応えるためには工業団地造成が最も効果的なことから、今後は候補地及び整備の手法等について検討していく。</p>	
個別目標に対するまちづくり評価	
<p>郊外型大型店、中心市街地周辺の食品スーパーを中心とした生活産業は充実しているが、中心市街地の商店街は、身近な消費生活の場としての機能を回復することはできていない。商店街にかつての賑わいを取り戻すことは困難かもしれないが、商工業振興のためには個店の頑張りが必要であることから、小規模事業者に対する融資助成施策などきめ細かな支援や起業・創業を支援し中小事業者の減少に歯止めをかける対策が必要と考える。企業誘致は地域経済の活性化と雇用の安定・創出を図るうえで重要な施策であり、安良区域への立地が実現するよう、地権者に理解を求めていく必要がある。</p>	

個別目標② 新しい産業の創出により、活気あるまちづくりがされている

指標名	創業支援セミナーへの参加者数						
	単位	H24 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	30	30	30	30	・コミュニティビジネス支援事業
実績値		22	48	12	6	15	
達成率	%	—	160.0	40.0	20.0	50.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	創業支に関するセミナーに参加し、創業の基礎知識等の習得に努めた。						
市役所	国より創業支援事業計画の認定を受けたことから、これに基づく、相談窓口の設置や、創業の基礎知識や資金調達などについてわかりやすく解説する創業に関するセミナーを開催した。						

目標達成のための今後の展開方針

コミュニティビジネスを含めた、様々な起業・創業を支援するため、国より認定を受けた創業支援事業計画に基づき、江南商工会議所と連携した相談窓口の設置、近隣自治体や各商工会議所商工会などと創業に関するセミナーの開催、金融機関が開催する創業塾等を支援する。
また、創業支援事業計画に位置づけた各種事業の利用が増えるよう、さらなるPRを実施していく。

個別目標に対するまちづくり評価

中小事業者の減少に歯止めをかけるためにも、コミュニティビジネスを含めた、様々な起業・創業の取り組みを支援する方策が必要である。

個別目標③ 地域に雇用の場が確保され、いきいきと働いている

《H30担当課》商工観光課

指標名	職業紹介による就職者数						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	人	—	890	900	900	900	・就業相談等運営事業 ・雇用促進事業
実績値		258	744	672	467	513	
達成率	%	—	83.6	74.7	51.9	57.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	ハローワークの出先機関として、同様な求職情報や相談機能を有する利用環境が整っており、多くの市民が利用した。						
市役所	地域職業相談室に嘱託職員を1名配置し、年齢に関係なく求職者に対する職業相談、職業紹介業務を支援した。						

《H30担当課》商工観光課

指標名	地域に雇用の場が確保され、十分な状態であると感じる市民の割合						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	15.0	15.0	15.0	15.0	・就業相談等運営事業 ・雇用促進事業
実績値		7.2	—	—	—	11.4	
達成率	%	—	—	—	—	76.0	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	雇用に関する講演会、研修会、セミナーなどに参加し、就業支援への関心を高めた。						
市役所	若者就職支援のための就職フェアを県、近隣市町、商工会議所などとの共催により江南市民文化会館を会場に開催し、就職支援セミナー、個別相談、職業適性診断、地域の企業が参加した合同企業説明会には多くの若者が参加した。						

指標名		すいとぴあ江南利用者数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	175,000	179,000	183,000	188,000	・すいとぴあ江南管理運営事業
実績値		146,263	147,600	149,339	150,579	151,189	
達成率		%	—	84.3	83.4	82.3	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	すいとぴあ江南指定管理者による各種事業に応募したり、市主催又は共催にて開催される各種催事にボランティアで参加したりするなど、多目的な利用形態により市民の多くが利用した。						
市役所	ふるさと文化育成等事業を開催するなどにより、市民に憩いとうるおい、そしてふれあいの場を提供している。また、利用しやすい料金でサービス提供の充実をめざし、市民や勤労者の利用促進に努めた。						

目標達成のための今後の展開方針

若者就労支援については、いちのみや若者サポートステーションとの連携を強化し、ひきこもり対策として就職活動につながる心理カウンセリングへの支援を計画するとともにすいとぴあ江南での出張就職相談とキャリアインサイトを活用した適正診断を実施していく。

就労対策については、県、ハローワーク、商工会議所など関係機関と連携して就職フェアを開催し若年者の就職機会を確保していく。

すいとぴあ江南については、モニタリングを通じて市が指定管理者を評価、指導等することによって利用促進を図る。また、施設の利用環境の維持、快適化を目的とした改修を計画的に実施していく。

個別目標に対するまちづくり評価

若年者の就職支援は、県やいちのみや若者サポートステーションの運営団体と連携して地域で取り組まれている点で評価できる。就職相談ができる環境を維持しつつ、地元で就職したいと思う若者が地元の企業に就職できるよう、今後も関係機関と連携し支援を継続していただきたい。

個別目標④ 農業用施設が常時利用でき、農業従事者が安心して農業に従事している

指標名		畑地かんがい用水などの修理事件数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	240	240	240	240	・江南市土地改良区支援事業 ・江南市土地改良区施設維持管理補助事業 ・丹羽用水土地改良区支援事業 ・昭和用排水土地改良区支援事業
実績値		255	185	186	175	213	
達成率		%	—	129.7	129.0	137.1	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	地域ごとに、水路等農業用施設の清掃、草刈等を実施した。						
市役所	稲作・畑作のための農業用水の通水や施設の維持管理を実施した。						

《H30担当課》農政課

指標名 認定農業者数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	40	37	34	31	・担い手育成総合支援事務
実績値		45	29	29	30	20	
達成率		%	—	72.5	78.4	88.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	農業所得や労働時間を改善するための農業経営改善計画認定申請書を市へ提出した。						
市役所	申請書に記載された改善計画を達成するための助言等を行い、認定農業者として認定した。						

《H30担当課》農政課

指標名 耕作放棄地の面積							
	単位	H17 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	ha	—	205	200	195	190	・遊休農地対策事業 ・新規就農・経営継承総合支援事業 ・農地中間管理事業推進事業
実績値		208	198	198	211	193	
達成率		%	—	103.5	101.0	92.4	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	遊休農地を適正に管理した。						
市役所	新規就農者の支援や農地中間管理機構の活用を通じて、耕作放棄地の増加抑制に取り組んだ。また、雑草等が繁茂する耕作放棄地の所有者に対し、適正な管理について指導した。						

《H30担当課》農政課

指標名 市民菜園の面積							
	単位	H22 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	㎡	—	41,132	41,132	41,132	41,132	・市民菜園事業
実績値		39,427	40,516	40,516	40,484	40,484	
達成率		%	—	98.5	98.5	98.4	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市民菜園において野菜づくりを体験した。						
市役所	市民に農に触れ合う機会を提供するとともに、地産地消の推進を図った。また、遊休農地に市民菜園を設置することで、農地の有効利用を図った。						

《H30担当課》農政課

指標名 JA出荷額							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	千円	—	270,000	270,000	270,000	270,000	・農業振興事業 ・農業団体等育成事業
実績値		312,000	233,000	233,000	300,000	262,000	
達成率		%	—	86.3	86.3	111.1	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	農畜産物をJA愛知北を通じて市場へ出荷した。						
市役所	JA愛知北や愛知県との連携により農業従事者への技術指導を行い、農業の近代化や農業生産性の向上を図った。						

目標達成のための今後の展開方針

農業施設は、施設の整備は進んだが、老朽化が進行し、深刻な問題になっている中、東南海地震などの地震や集中豪雨などによる災害の発生が危惧され、作物の安定生産がおびやかされているため、既設施設における老朽化と大規模な災害が発生する可能性などをふまえた効果的な長寿命化対策の実施や円滑な更新を進めていく。


市民菜園を通して野菜づくりを体験することで農業への関心を高め、新規就農者として育成する。
耕作放棄地対策として、中間管理機構や利用権設定による農地の集積及び有効利用を図る。

個別目標に対するまちづくり評価

農業用施設が耐用年数を経過して老朽化による維持管理費が懸念される。また、農業従事者の高齢化等により、適正な管理ができなくなり耕作放棄地が増加している。今後は市民菜園を通して野菜づくりを体験することで農業への関心を高め、新規就農者として育成したり、市民菜園の充実を図り農地の有効利用を促進する。

個別目標⑤ 市民は地域の観光資源に親しみ、多くの観光客が訪れて、地域が活性化している





《H30担当課》商工観光課

指標名	多くの観光客で賑わい、観光の振興が十分な状態であると感じる市民の割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値		—	40.0	40.0	40.0	40.0	・藤まつり開催事業 ・江南市民花火大会開催事業 ・観光協会事業
実績値	%	27.3	—	—	—	35.3	
達成率	%	—	—	—	—	88.3	
達成状況	—	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	実行委員会、運営協議会の構成員として催事に参画したり、ボランティアとして参加することにより、観光施設で観光客と関わりをもちながら活動した。
市役所	観光キャンペーンやSNSによる情報発信を実施し、江南藤まつりや江南の観光イベント等の紹介を行い、観光客の誘客に努めた。

《H30担当課》商工観光課

指標名	観光客数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値		—	1,340,000	1,342,000	1,344,000	1,347,000	・藤まつり開催事業 ・江南市民花火大会開催事業 ・観光協会事業
実績値	人	931,000	1,718,923	1,861,613	1,805,038	1,713,886	
達成率	%	—	128.3	138.7	134.3	127.2	
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	おもてなしの心で観光客を迎えるとともに、江南市のPRにも努めた。
市役所	各報道機関、市ホームページ等、イベント情報誌、愛知県観光協会を通じて広く情報発信を行い、誘客を図った。

指標名	イベントボランティア参画者数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	500	520	530	550	・江南市イベントボランティア協会事業
実績値		440	242	173	176	—	
達成率	%	—	48.4	33.3	33.2	—	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	—	
取り組みの状況							
市民	イベントボランティア協会が平成28年度末をもって休会した。						
市役所	イベントボランティア協会が平成28年度末をもって休会したため、一般のボランティアを募集し、イベント等に対応した。						

目標達成のための今後の展開方針

新たな観光資源を発掘し、SNS等インターネットを活用した情報発信を行っていき、着地型観光として定着するよう推進していく。
 既存の歴史散策に加え、桜や藤といった花木をめぐる自然散策、飲食店や和洋菓子店を巡る新たな市内観光ルートを設定していく。
 江南藤まつりの魅力向上として、インバウンド対応、バリアフリー化等の運営面の改善を図り、観光資源としての藤まつりのブランド力を高めていく。
 平成28年度末でイベントボランティア協会が休会したため、今後は一般のボランティアを募集していく。

個別目標に対するまちづくり評価

津島市・羽島市観光協会と連携して藤まつりの広域観光キャンペーンに取り組み、多くの観光客の誘致につながっていることは評価できます。広域での連携をさらに強め、江南市に多くの人が訪れ、地域の賑わいに繋がるよう江南市の地域資源を活用したプロモーションに取り組んでいただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

小規模企業等振興資金の円滑な運用を図るとともに、融資に係る信用保証料助成や利子補給補助により、資金調達コスト等を軽減することにより、既存事業者の経営安定、経営拡大に向けた支援を行うなど商工業の活性化を図った。企業誘致については、対象区域を企業に積極的にPRするとともに、地権者を戸別訪問し、用地提供への理解と協力を求めた。
 地域職業相談室は年齢を問わず職業相談や職業紹介をし、多くの求職者に対して支援した。また、県、近隣市町、商工会議所が共催して就職フェアを開催し、若者の就職支援をすることで地域における活動の輪が広がってきた。
 江南市空き地等の雑草の除去に関する条例により、雑草等の除去について指導することで、遊休農地の適正な管理に努めていただくことができた。
 安心して農業に従事できるよう、農業用水の通水や農業用施設の維持管理を実施した。
 報道機関等を通じて広く観光PRを行ったことにより多くの観光客を得ることができた。

◆柱全体の今後の課題

事業者数の減少に歯止めをかけるため、起業・創業に対する取り組み支援や、地域の既存企業や個店の安定的経営の支援及び市外流出の防止を図る施策の検討が課題である。また、企業誘致に関しては、現状では企業のニーズに応えられるだけの十分な用地がないことから、新たな工業用地の確保が課題となっている。
 就職フェアなどの地域における就職支援を継続性のあるものにし、支援内容の充実が求められる。
 農業従事者の高齢化等により耕作放棄地が増えてきている状況であるため、引き続き、耕作放棄地の解消に向けて取り組む必要がある。
 既設の農業用施設における老朽化と大規模な災害が発生する可能性などをふまえた効果的な長寿命化対策の実施や円滑な更新を進めていく必要がある。
 観光資源等の紹介を積極的に行い観光客の誘客を図るためには、新たな観光資源を発掘し、また、新たな観光ルートを設定していく必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

商工業振興のために、起業・創業に対する取り組みの積極的な支援を実施するとともに、地域の既存企業や個人の経営安定、経営拡大が必要であることから、中小事業者に対する融資助成施策などきめ細かな支援を行う。また、企業誘致については、引き続き現在の対象区域への立地を推進すると同時に、新たな工業用地の候補地である曾本地区における工業団地造成の可能性について調査研究していく。

国、県、関係団体等との連携を深め、就職フェアの継続開催や就職に関する個別相談の開催など就職支援の充実に取り組む。

耕作放棄地対策として市民菜園や利用権設定による農地の有効利用を図る。

老朽化した農業施設の更新を県に要望していく。また、補助事業を活用し、ライフサイクルコストを考慮した更新・修繕を行う。

新たな観光資源の発掘等及び観光資源の磨き上げを図るとともに、積極的な情報発信を推進することによって、着地型観光を目的とした魅力あるまちづくりを行う。

まちづくり評価シート


生活産業部【担う分野: I 生活環境、産業分野】

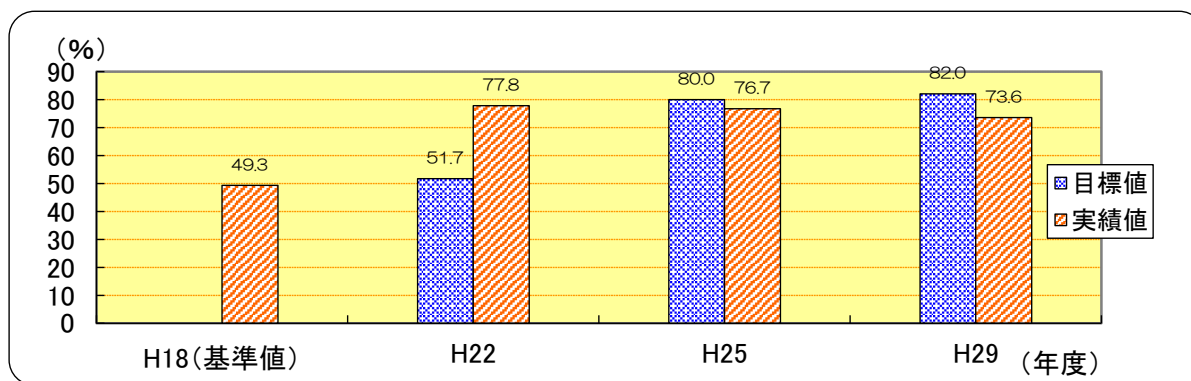
環境課【担う柱: 5 自然と調和した快適な生活環境の確保】


H30担当部・課 経済環境部(環境課)

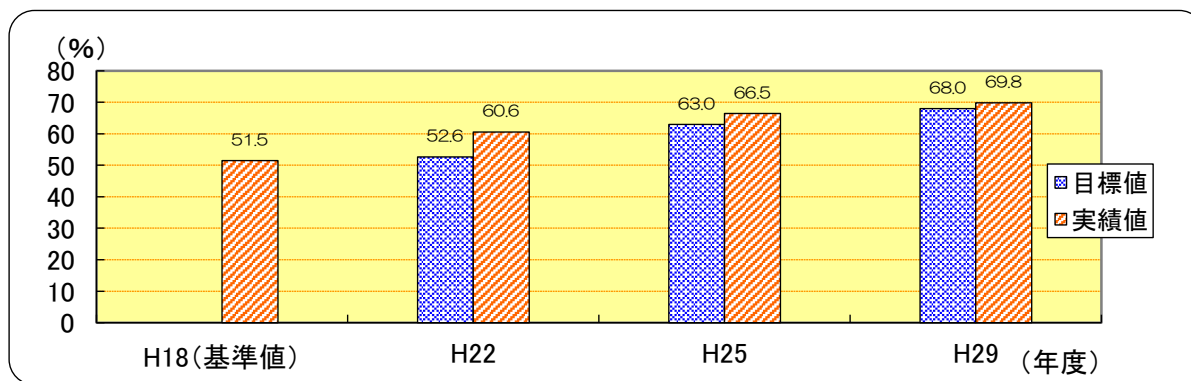
◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 自然と調和した快適で、環境負荷の少ない生活環境が保全され安心して生活している

指標名	日ごろから省エネや省資源など環境に配慮して生活している市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 広報こうなん、市ホームページ等による定期的な啓発及び環境保全活動に対する補助を活用することにより、市民は環境に配慮して生活することができる。
目標値	%	—	82.0	
実績値	%	49.3	73.6	
達成率	%	—	89.8	
達成状況	—	—		



指標名	水質汚濁・騒音・悪臭など公害のない快適な環境で生活していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 定期的な広報等による啓発及び事業所等への立入調査等により、公害防止に努めてきたことから公害の発生が抑制され、快適な環境で生活できている。
目標値	%	—	68.0	
実績値	%	51.5	69.8	
達成率	%	—	102.6	
達成状況	—	—		




全体目標に対するまちづくり評価





国や地方が行う環境保全活動に対する補助金(太陽光発電、エコカー等)等いろいろなメニューが整備されるなか、各家庭への導入の促進が必要である。
また、騒音、振動、悪臭等の公害に対する相談件数は、減少傾向にある。今後も事業所等が公害の防止に向け、さらに積極的に取り組む必要がある。

個別目標① 環境保全の意識が高まり、環境負荷の少ない生活・活動を営んでいる





《H30担当課》環境課

指標名 環境保全活動を行っている市民の割合							
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	68.0	69.0	69.0	70.0	・環境啓発事業 ・環境基本計画推進事業 ・環境基本計画改訂事業 ・環境教育事業
実績値		64.1	—	—	—	46.4	
達成率	%	—	—	—	—	66.3	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	日常生活における利便性を追求することにより、大量生産、大量消費、大量破棄の経済社会を構築してきたが、循環型社会の形成をめざし、限りある資源の有効活用を図るよう日常生活を見直すとともに、省エネルギー行動などの実践に取り組んだ。						
市役所	限りある資源の有効活用を図るため、ごみを資源として活用し、資源の循環利用として活用する手順や省エネルギーに関する情報を広く市民に提供するなど環境啓発に努めるとともに、環境教育にも力点を置き事業を推進した。						

《H30担当課》環境課

指標名 市民1人当たりの二酸化炭素排出量(炭素換算)							
	単位	H17 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	t.c/ 人・年	—	1.32	1.32	1.32	1.32	・温暖化防止事業
実績値		1.60	1.55	1.55	1.51	1.51	
達成率	%	—	85.2	85.2	87.4	87.4	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	日常生活が便利になるにつれ、エネルギー使用量が増加し、温室効果ガスの排出量も増加していることから、自然エネルギーの有効利用、自動車の利用を控え自転車や公共交通機関の利用、省エネルギー型商品の利用に努めた。						
市役所	平成25年3月に改訂した「江南市地球温暖化対策実行計画」に従い、自然エネルギーの有効利用として公共施設に太陽光発電システムを設置するとともに、省エネルギーを推進することにより、行政事務から発生する温室効果ガスの削減に努める。また、太陽光発電システム、HEMS、蓄電システムを住宅に設置しようとする市民に対し、設置費用の一部を補助した。						

《H30担当課》環境課

指標名 合併処理浄化槽設置数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	基	—	6,700	7,200	7,700	8,100	・環境啓発事業
実績値		4,200	6,941	7,215	7,535	7,869	
達成率	%	—	103.6	100.2	97.9	97.1	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	都市化の進展に伴い、生活排水が河川等に流入することにより、水質汚濁が進んでいるため、公共下水道が整備されている区域は、速やかに接続し、未接続の区域については、合併処理浄化槽への転換を図り適正な維持管理に努め、河川等の水質汚濁の防止に努めた。						
市役所	河川等水質の環境基準達成をめざし、公共下水道の整備及び速やかな接続の推進を図り、下水道の認可区域以外には現に使用している単独浄化槽や汲取便槽を廃止して合併処理浄化槽へ転換する市民に対し、設置費用の一部を補助することにより、河川等の水質汚濁の防止に努めた。						

目標達成のための今後の展開方針

持続可能で快適な生活環境をつくるためには、市民一人ひとりが環境保全に対して関心をもつことが必要であるため、さらなる環境教育の推進や環境啓発に取り組んでいく。
地球温暖化防止事業として住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金を継続し、LEDなどの省エネルギー製品の導入及び普及を図る。また、家庭や事業所で手軽に取り組むことができる「緑のカーテン」を啓発する。

個別目標に対するまちづくり評価

環境保全活動を行っている市民の割合が50%を切っているため、多くの人々が環境問題に関心を持ち、環境問題への理解を深めることができるよう、環境に配慮した行動の実践に向けた環境教育の充実を図りたい。

個別目標② 公害苦情等が少なく、生活環境が保全され快適な生活を送っている

《H30担当課》環境課

指標名	公害苦情件数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	244	235	226	218	・環境公害対策事業
実績値		310	357	367	361	396	
達成率		%	—	68.3	64.0	62.6	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	↑	
取り組みの状況							
市民	日常生活を営むうえにおいて、近隣の生活環境を損ねることのないよう、お互いが近隣の生活に配慮した生活を送るように心がけた。						
市役所	日常生活を営むうえにおいて、近隣の生活環境を損ねることのないよう啓発するとともに、発生した場合速やかに解決に努めた。						

《H30担当課》環境課

指標名	河川水質の環境基準達成項目数(PH(水素イオン濃度)、BOD(生物化学的酸素要求量)、SS(浮遊物質)、DO(溶存酸素量))【木曾川】						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	項目	—	4	4	4	4	・環境監視事業
実績値		4	4	4	4	4	
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	
取り組みの状況							
市民	河川等の水質汚濁の主な原因は、各家庭からの生活排水が大きな要因とされている。水質汚濁を防止するため、各家庭において生活排水対策を実践し、水環境の保全に努めた。						
市役所	市内主要河川14地点において、生活環境の保全に関する4項目を年4回、人の健康の保護に関する9項目を年2回水質調査をしている。また、年1回7地点にて人の健康の保護に関する16項目について、河川等の水質を調査することにより、河川等の水質監視に努めた。						

《H30担当課》環境課

指標名	河川水質の環境基準達成項目数(PH(水素イオン濃度)、BOD(生物化学的酸素要求量)、SS(浮遊物質)、DO(溶存酸素量))【日光川】						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	項目	—	4	4	4	4	・環境監視事業
実績値		3	4	4	4	4	
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	

取り組みの状況	
市民	河川等の水質汚濁の主な原因は、各家庭からの生活排水が大きな要因とされている。水質汚濁を防止するため、各家庭において生活排水対策を実践し、水環境の保全に心がけた。
市役所	市内主要河川14地点において、生活環境の保全に関する4項目を年4回、人の健康の保護に関する9項目を年2回水質調査をしている。また、年1回7地点にて人の健康の保護に関する16項目について、河川等の水質を調査することにより、河川等の水質監視に努めた。

《H30担当課》環境課

指標名	大気中の窒素酸化物の量【二酸化窒素】						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	ppm	—	→	→	→	→	・環境監視事業
実績値		0.027	0.021	0.021	0.021	—	
達成率		%	—	128.6	128.6	128.6	
達成状況	—	—				—	

取り組みの状況	
市民	大気中の窒素化合物は、光化学スモッグや酸性雨を引き起こす大気汚染物質であり、主な発生源は、自動車の排気ガスであるため、自動車の使用を控えることにより、大気汚染の防止に努めた。
市役所	大気汚染状況を常に監視し、汚染状況が著しい場合には光化学スモッグ予報、注意報等を発令し、健康被害の防止に努める。また、大気汚染の防止についてアイドリングストップ等を定期的に啓発し、大気環境の保全を図った。

目標達成のための今後の展開方針
<p>公害苦情は生活環境問題への関心の高まりも要因であるが、市民一人ひとりのモラルの問題もあり、すぐに解決できる問題ではないが、粘り強く取り組んでいく。</p> <p>河川等の水質については、各家庭からの排水が水質を悪化させる大きな要因であるため、引き続き生活排水対策や環境監視事業に取り組んでいく。</p> <p>二酸化炭素の排出を抑制する取り組みとして、アイドリングストップなどエコドライブを推進し、啓発活動に取り組む。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
<p>各家庭における苦情は、ごみの焼却・雑草苦情だけでも271件あるため、生活環境を保全するための意識の高揚が望まれる。また、河川等の水質については、各家庭における排水が大きな要因であるため、河川・用水等における冬季の通水及び下水道の整備が望まれる。</p>

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

広報こうなん、市ホームページ等で、地球温暖化防止・環境負荷の低減等、環境問題に対する取り組みを市民に広く啓発したことにより、市民の環境保全に対する意識が向上してきていること及び、騒音、振動、悪臭等を発生させる事業所等に立入調査等を実施し、公害の発生を防止してきたことにより、市民の満足度も高まってきた。

◆柱全体の今後の課題

自然と調和した快適な生活環境を確保するためには、市民一人ひとりの生活環境に対する意識の向上が必要であり、また事業所においても周辺的生活環境に対する配慮が必要であるため、啓発活動を強化する。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

省資源・省エネルギーは、市民一人ひとりの日常生活における心がけや事業活動における環境への配慮が大切であるため、もう一度生活スタイルを見直し、環境負荷を低減させるライフスタイルが確立できるよう啓発に努める。

まちづくり評価シート

生活産業部【担う分野: I 生活環境、産業分野】

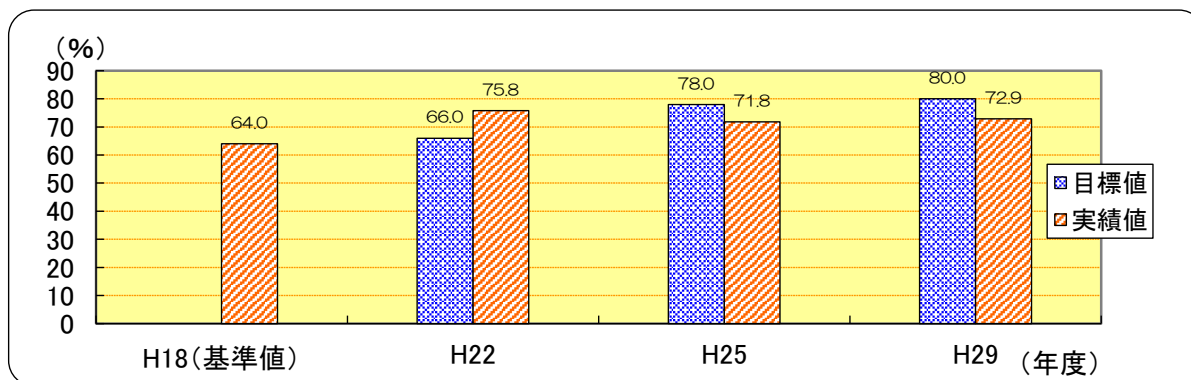
環境課【担う柱: 6 ごみ減量と適切な処理の推進】

H30担当部・課 経済環境部(環境課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 ごみ減量やリサイクルを取り入れた生活環境が実現し、市民が安心して暮らしている

指標名	ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H29	
目標値	%	—	80.0	広報こうなん、市ホームページ等による啓発や環境フェスタ江南、ごみ減量懇談会、施設見学等を継続して実施しているため、概ね達成できたと考えられる。
実績値		64.0	72.9	
達成率	%	—	91.1	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

平成10年度から始まったごみ減量「57運動」が市民等の理解、協力を得て推進されたため、ごみは減少傾向にある。
資源ごみ集積場所での分別方法やリサイクル処理の必要性に対する市民の理解が次第に浸透し、当番制による地区での分別指導のもとで、多くの住民の協力により資源ごみの分別が行われている。





個別目標① リサイクルが進み、市民が出す可燃ごみ量が減っている




《H30担当課》環境課





指標名	市民1人1日当たりの家庭系可燃ごみ排出量						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値		—	394	394	394	394	・ごみ減量対策・ごみ減量作戦「57運動」事業
実績値	g	419	397	398	395	395	
達成率	%	—	99.2	99.0	99.7	99.7	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	ごみ減量「57運動」事業に協力し、ごみ減量に努めた。
市役所	廃棄物減量等推進協議会委員、廃棄物減量等推進員等と連携し、ごみ減量「57運動」を推進した。

指標名 1事業所1年当たりの事業系可燃ごみ排出量							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	t	—	8	7.8	7.6	7.4	・ごみ減量対策・ごみ減量作戦 「57運動」事業
実績値		9.4	7.8	7.6	6.9	6.8	
達成率	%	—	102.6	102.6	110.1	108.8	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	生ごみの堆肥化、資源の分別排出、簡易包装の推進等に取り組み、ごみ減量・資源化を推進した。						
市役所	商工会議所が発行している会報に「事業系ごみ処理の手引き」のチラシを折り込むなどの取り組みを通して、事業所に対して啓発を行った。						

指標名 リサイクル率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	36.0	36.0	36.0	36.0	・ごみ減量対策・ごみ減量作戦 「57運動」事業
実績値		33.6	27.6	27.0	26.0	—	
達成率	%	—	76.7	75.0	72.2	—	
達成状況	—	—				—	
取り組みの状況							
市民	資源ごみの分別排出や資源ごみ回収団体による資源回収に協力して、資源ごみのリサイクルを推進した。						
市役所	ごみ減量・資源化に関する啓発活動を実施した。また、資源ごみ回収団体に資源回収量に応じて助成金を交付して、資源回収活動を促進した。						

指標名 ボランティア分別指導員の数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	336	376	416	456	・ごみ減量対策・ごみ減量作戦 「57運動」事業
実績値		136	328	344	369	395	
達成率	%	—	97.6	91.5	88.7	86.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	ボランティア分別指導員養成講座を受講して、ごみ分別・減量に関する知識を習得するとともに、資源ごみ集積場所で地区住民に対するごみ分別指導を実施した。						
市役所	ボランティア分別指導員養成講座を2回開催し、指導員の増加による分別指導の充実を図った。また、指導員の活動の促進を目的として交流会を1回開催した。						





目標達成のための今後の展開方針

ごみ減量の啓発を引き続き行い、環境フェスタ、懇談会、事業所訪問等で啓発活動を実施する。ボランティア分別指導員は地域におけるごみ減量・適正処理の推進に必要な存在であるため、区長・町総代等に働きかけて養成講座の参加者の増加を図る。


個別目標に対するまちづくり評価

地元懇談会、施設見学など市民の意識向上を図る事業は、ごみ減量に一定の効果があると考えられる。今後もより一層、市民、事業者及び市の協働による地域全体での取り組みを推進していくべきである。

《H30担当課》環境課

指標名	特定家庭用機器などの不法投棄台数						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	台	—	31	29	27	25	・地域環境美化事業
実績値		60	12	15	10	6	
達成率		%	—	258.3	193.3	270.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	クリーン運動に積極的に参加し、散乱ごみの収集を行い、ごみのないまちづくりに取り組んだ。						
市役所	広く市民参加を呼びかけてクリーン運動を実施し、また各地域でのボランティア団体やアダプトの清掃活動を支援した。また、不法投棄防止のため不法投棄禁止看板貸与を実施した。						

《H30担当課》環境課

指標名	ごみ・し尿を速やかに収集、処理することで、衛生的に暮らしていると感じる市民の割合						主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	86.0	86.0	86.0	86.0	・可燃ごみ収集運搬事業 ・分別ごみ収集運搬事業 ・し尿等収集運搬事業 ・地域対策事業
実績値		82.2	—	—	—	87.0	
達成率		%	—	—	—	—	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	ごみ出しのルールを正しく理解するとともに、地区の集積場所の管理を責任をもって実施した。広報こうなんや市ホームページなどにより、新ごみ処理施設建設事業への理解を深めた。						
市役所	出されたごみをその日のうちに速やかに回収し、処理することで、ごみの無い衛生的な環境の保持に努めた。新ごみ処理施設建設事業への理解が得られるよう、地元説明会、施設見学会、地権者説明会などを実施した。						

目標達成のための今後の展開方針

不法投棄防止策としては、広報こうなん・市ホームページでの啓発を強化しながら、監視カメラを有効利用し、資源ごみ集積場所での特定家庭用機器を始めとする排出禁止物の不法投棄防止を図る。衛生的な生活環境を保つため、ごみの出し方などについて市民への周知徹底を図るとともに、迅速で適正な収集・処理を行う。

資源ごみ集積場所からの資源物持ち去り禁止については、条例施行後減少したものの、いまだ持ち去りが絶えない状況にあるため、資源ごみ集積場所のパトロールを強化していく。

資源ごみリサイクルステーションは、更なる市民への周知を図り、利用状況等により今後の方向性を検討していく。

個別目標に対するまちづくり評価

市民の環境美化意識の向上により、ごみ出しのルールの理解促進や不法投棄に対する啓発・防止活動の充実が求められる。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

廃棄物減量等推進員、地区懇談会、施設見学、環境フェスタ、事業所訪問等による啓発活動を実施し、ごみ減量「57運動」を推進した結果、市民及び事業者のごみ減量に対する意識を持続させることができたと考えられる。地元説明会や施設見学会などの実施により、新ごみ処理施設建設事業への理解が深まり、江南市の地元の3地区から文書による同意を得ることができた。また、地権者への戸別訪問、地権者説明会などの実施により、ほとんどの地権者から同意を得た。

◆柱全体の今後の課題

循環型社会形成に向けた市民及び事業者の意識改革を推進するため、さらなる情報提供の充実を図る必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

ごみの減量や資源化に対する市民及び事業者の意識向上を図るため、継続して、地区懇談会、施設見学、環境フェスタ、ボランティア分別指導員養成、事業所訪問等の事業を推進する。

II 健康、福祉分野

地域全体で子育てや介護などを支援し、市民が健康で自立した生活をし、安心していきいきと暮らしている。

柱1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保【高齢者福祉】

高齢者が生きがいをもち、介護が必要になっても安心して暮らしている。

柱2 地域で安心して子育てできる環境づくり【子育て】

住み慣れた地域の支援を受け、安心して育児や療育ができています。

柱3 障害者の生きがいと安心した生活の確保【障害者福祉】

障害者が各自の能力に応じた就労、社会参加により自立し、また生活支援により住み慣れた地域で生きがいをもち安心して暮らしている。

柱4 健康な生活の確保【健康づくり】

自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている。

柱5 保険年金制度の健全な運営【保険年金】

もしもの場合の保険年金制度が健全に運営され、生活の不安が軽減され、安心して暮らしている。

柱6 地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保

【生活支援・福祉活動】

市民が地域で安心して暮らせるように生活支援が充実しているとともに、市民、市民団体、市役所などが協働し、地域を支え合い活動している。

まちづくり評価シート

健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

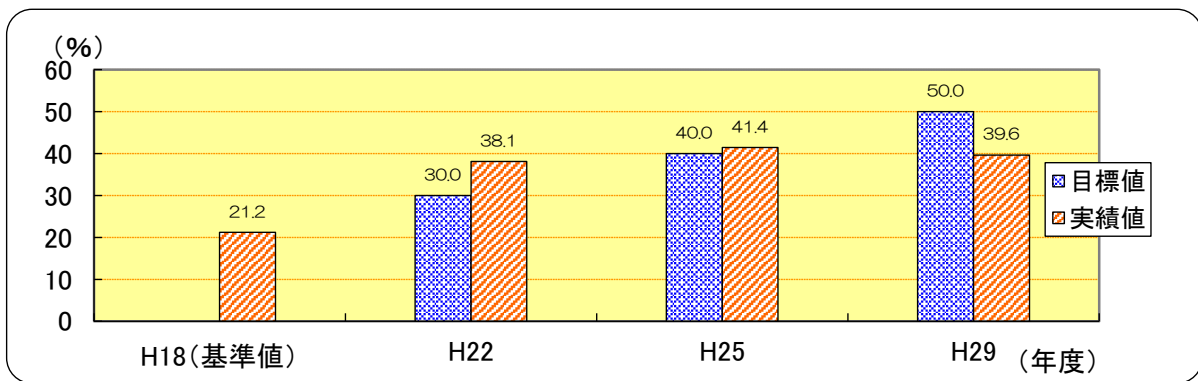
高齢者生きがい課【担う柱：1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保】

H30担当部・課	健康福祉部(高齢者生きがい課)
----------	-----------------

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 高齢者が生きがいをもって安心して暮らしている

指標名	高齢者が、生きがいをもち、自立して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 高齢者が生きがいをもって暮らしていけるよう、高齢者福祉事業の推進に努めた。これらの事業やサービスについて、市民に浸透しつつある。
目標値	%	—	50.0	
実績値	%	21.2	39.6	
達成率	%	—	79.2	
達成状況	—	—		







全体目標に対するまちづくり評価
 地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、市民が積極的に介護予防に取り組める体制づくりや介護予防・介護相談の窓口の充実を図り、それぞれにあった適切なサービスの提供に努めている。シルバー人材センター、老人クラブの活動などの支援を通じた高齢者の生きがいの創出と高齢者が住みなれた地域で自立した生活が送れるような支援をしていただきたい。

個別目標① 高齢者が介護予防に取り組み、介護が必要になっても地域で安心して暮らしている

《H30担当課》高齢者生きがい課


指標名	高齢者人口に占める要介護者の割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・介護認定支援事業 ・地域支援事業
目標値	%	—	13.6	13.7	13.8	14.2	
実績値	%	13.0	13.2	13.2	13.4	13.6	
達成率	%	—	103.0	103.8	103.0	104.4	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	介護予防に関する講座等を受け、介護予防への意識が高まった。
市役所	公平・適正な介護認定を行うため、審査委員や調査員の研修を行った。 市民が積極的に介護予防に取り組めるよう介護予防事業の拠点を拡大し、また、地域においても自主的な介護予防活動が継続できるよう関係機関と連携し、サポートに取り組んだ。

指標名	介護保険サービスを利用している割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	82.0	83.0	84.0	85.0	・介護保険居宅サービス等給付事業 ・介護保険施設サービス給付事業 ・住宅改修・福祉用具支給決定事業 ・介護サービス負担軽減事業
実績値		77.2	85.1	85.1	90.8	86.5	
達成率	%	—	103.8	102.5	108.1	101.8	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	介護サービスなどの利用について、市の窓口や地域包括支援センターなど複数の相談窓口が設けられている。						
市役所	介護保険ガイドブックを送付し、広報こうなんにサービス利用の案内を掲載するなど、介護サービスの利用促進に努めた。						

目標達成のための今後の展開方針	
高齢者の方が元気で充実した生活が過ごせるように、運動教室や保健、医療、福祉に関するサービスを通して介護予防事業を実施する。 また、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で生活できるように地域包括ケアシステムの構築を図りながら、迅速で的確な介護サービスが受けられるような体制づくりに努める。	
個別目標に対するまちづくり評価	
高齢者が要介護の状態になるのを防ぐとともに、介護状態になっても必要な介護サービスが安心して受けられるよう、より一層サービスの充実をめざしていただきたい。	

個別目標② 高齢者が在宅で安心して暮らしている

指標名	高齢者の在宅生活のための福祉サービスが充実していると感じる市民の割合						
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	40.0	—	—	50.0	・緊急通報装置設置事業 ・高齢者住宅改善助成事業 ・高齢者タクシー基本料金助成事業 ・在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業
実績値		28.5	—	—	—	36.2	
達成率	%	—	—	—	—	72.4	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	高齢者の在宅生活のための福祉サービスがなされている。						
市役所	高齢者の在宅生活に必要な福祉サービスに関する各種事業を展開している。						

目標達成のための今後の展開方針

高齢者の生活における諸問題(虐待・独居老人の生活支援等)に対して、地域包括支援センターを中心にその解決に向けて活動しているが、市の関係課担当職員との連携が必要であり、今後においてもより一層の支援、連携を図る。

また、市が提供するサービスや見守り協定事業者による見守りのほか、老人クラブなどの既存の団体に見守りの意識を持ってもらえるよう働きかける。

個別目標に対するまちづくり評価

高齢化に伴い、ひとり暮らし高齢者や介護が必要な高齢者の増加が予測されるなか、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、ひとり暮らし高齢者などの見守り支援を始め高齢者の在宅生活に必要な福祉サービスの充実をさらに図っていただきたい。

個別目標③ 老後も高齢者は生きがいをもって充実した生活を送っている

《H30担当課》高齢者生きがい課

指標名	シルバー人材センターの登録者数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値		—	440	453	467	467	・高齢者生きがい活動事業
実績値	人	491	344	344	345	326	
達成率	%	—	78.2	75.9	73.9	69.8	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	生きがいをもって働きたいと思う高齢者に、シルバー人材センターの会員登録ができるようになっており、広報紙への掲載でさまざまな情報が得られている。						
市役所	高齢者が生きがいをもって働きたいと思える事業を展開するためにシルバー人材センターへの補助金を交付している。						

《H30担当課》高齢者生きがい課

指標名	老人クラブの会員数						
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値		—	5,400	5,400	5,400	5,400	・老人クラブ事業
実績値	人	6,866	4,797	4,535	4,319	4,173	
達成率	%	—	88.8	84.0	80.0	77.3	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	高齢者が親睦を深めたり地域活動を行ったりして、生きがいのある充実した生活を送れるように、老人クラブ事業が展開されている。						
市役所	高齢者が親睦を深めたり地域活動を行ったりして、生きがいのある充実した生活を送ってもらうように、老人クラブ事業を支援し、補助金を交付している。						

目標達成のための今後の展開方針

シルバー人材センターや老人クラブの自主的な活動を推進するため、補助金を交付するとともに、会員数の増加と事業の充実を図るため、市が積極的に関わることで、高齢者が生きがいのある充実した生活を送ることができるよう支援していく。

個別目標に対するまちづくり評価

高齢者が生きがいのある充実した生活を送ってもらえるように、今後もシルバー人材センター、老人クラブへの支援をしていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

介護が必要な状態になった方に、必要なサービスを受けていただくとともに、地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携して進めた介護予防教室の拠点づくりが市内各地に広がるにつれ、地域の自治会による自主的な介護予防教室開設への支援依頼が増えてきている。また、継続的にシルバー人材センター、老人クラブの活動へ支援することにより、安定的に高齢者の生きがいの場を確保できている。

◆柱全体の今後の課題

超高齢社会の進展に伴う社会資源の増大が求められる中、高齢者が生きがいを持ち、自立して暮らしていると感じている市民の割合が39.6%と横ばいであることは、受益者負担や享受するサービスのあり方とともに、時代に即した事業の見直しを検討し、今後の活動を継続していくことが必要である。また、介護予防や地域での支え合いを促進する事業の展開と、社会から孤立する高齢者への対策が必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

高齢者の活躍の場の確保、介護予防の取り組みを進め、高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって暮らすことができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供できる地域づくりを支援していく。

まちづくり評価シート

健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

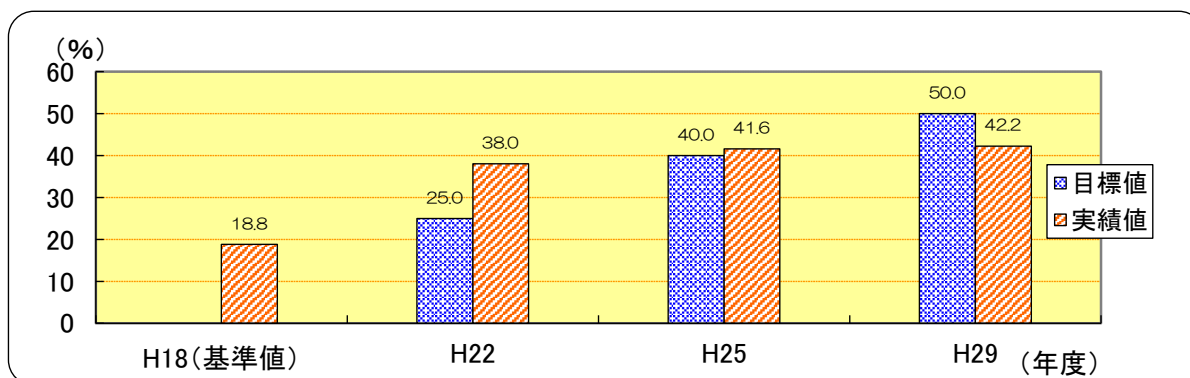
子育て支援課【担う柱：2 地域で安心して子育てできる環境づくり】

H30担当部・課 ことども未来部(こども政策課・保育課)

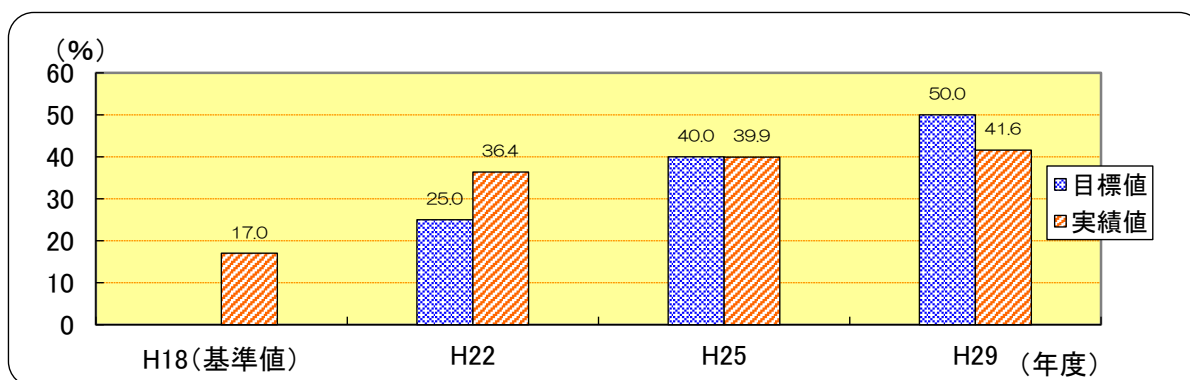
◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 安心して子育てしている

指標名	延長保育などの保育サービスを受け、安心して子育てしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 延長保育や一時預かり等の保育サービスを提供しているが、病児・病後児保育や休日保育等、保育サービスに対するニーズが多様化してきており、課題となっている。
目標値	%	—	50.0	
実績値	%	18.8	42.2	
達成率	%	—	84.4	
達成状況	—	—		



指標名	学童保育や子育て相談・育児教室などの子育て支援を受け、楽しく子育てしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 学童保育の利用対象年齢の拡大や子育て支援センターの増設など子育て相談、子育て支援の充実を図った。
目標値	%	—	50.0	
実績値	%	17.0	41.6	
達成率	%	—	83.2	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

近年の急激な社会変化の中で、子どもたちの心身の健やかな成長のためにきめ細かな子育て支援サービスが求められているが、行政と地域全体で子育て支援・子どもの健全育成に取り組む必要がある。そのためには、地域全体で子育てを応援するという意識啓発を行い、家庭、地域でできることから積極的に取り組み、市民と行政、団体、そして地域が連携して、より良い子育て環境づくりを進める必要がある。

個別目標① 働きながら子育てする家庭が、安心して育児ができています

《H30担当課》保育課

指標名 保育園入園待機児童数								
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	人	—	0	0	0	0	・保育園保育事業	
実績値		0	0	0	0	0		
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0		100.0
達成状況		—	—					
取り組みの状況								
市民	保育要件に基づき入園申請を行い、入園決定した保育園に通園した。 定められた保育料を納期限内に支払った。							
市役所	保育園への入園希望者に対し、要件の審査及び利用調整を行い、入所決定及び保育料の決定をした。 多様な保育ニーズに対応するため、延長保育、一時保育等を実施した。							

《H30担当課》保育課

指標名 保育園の障害児受入待機児童数								
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	人	—	0	0	0	0	・保育園保育事業	
実績値		0	0	0	0	0		
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0		100.0
達成状況		—	—					
取り組みの状況								
市民	障害児保育実施園の入園申請をし、保育園に通園した。							
市役所	保育園への入園希望者に対し、入園決定をした。 加配保育士を配置し、児童に応じた個別計画を基に集団生活での援助を行った。							

《H30担当課》こども政策課

指標名 ファミリー・サポート・センター援助員数								
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	人	—	150	165	180	200	・ファミリー・サポート・センター事業	
実績値		85	109	103	97	113		
達成率		%	—	72.7	62.4	53.9		56.5
達成状況		—	—					
取り組みの状況								
市民	ファミリー・サポート・センターの援助会員として登録し、援助活動を行った。							
市役所	ファミリー・サポート・センターの依頼会員と援助会員との連絡調整を行い、子育て中の家庭の支援を実施した。							

目標達成のための今後の展開方針

保育園については、施設・設備の老朽化への対策も含め、効率的な運営に努めるとともに、ひとり親・共働き世帯の増加や就労時間の多様化などから、低年齢保育、延長保育、一時保育、病児・病後児保育など、多様な保育ニーズの実施が求められており、子育て支援の基盤整備を推進していく。
ファミリー・サポート・センターについては、依頼の増加に対応できるよう、援助会員募集のPRに努めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

待機児童など子育て支援の対応については、大きな社会問題となっている。
子どもと子育てを応援することは、「未来への投資」であり、次代を担う子どもたちが健やかにたくましく育ち、子どもの笑顔があふれる社会の実現のために、江南市の魅力となるよう事業を推進していただきたい。

個別目標② 家庭での子育て不安が解消でき、育児が楽しくできている

《H30担当課》こども政策課

指標名	子育て支援センター(子育てサロン)の延べ利用者数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	12,000	12,500	12,500	12,500	・子育て支援センター事業 ・第3子育て支援センター運営事業
実績値		7,632	13,178	19,053	20,474	18,035	
達成率	%	—	109.8	152.4	163.8	144.3	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	子どもや家庭の悩みについて、子育て支援センター等へ電話相談をした。サロンを利用し子育ての楽しみを得たり、子育てサークルに参加した。						
市役所	子育て支援センターを拠点として、子育て家庭に対して育児不安等への相談や子育てサークルの育成、支援、ほほえみ広場の開催及び情報誌の発行等を行った。						

《H30担当課》こども政策課

指標名	児童虐待発生件数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	↓	↓	↓	↓	・児童虐待防止対策緊急強化事業
実績値		6	63	72	59	80	
達成率	%	—	9.5	8.3	10.2	7.5	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	虐待の兆候があると思われる世帯を見聞きしたときに、児童相談センター及び市役所子育て支援課に通報した。						
市役所	市民や小中学校及び保育園などからの通報を受け、48時間以内の児童の安全確認と調査をしたうえで、指導及び保護した。						

目標達成のための今後の展開方針

子育て支援センターについては、子育て不安や孤立を感じる家庭への育児相談、ニーズに応じた教室、講座の充実や、子育て支援のためのサークル活動など各種情報を子育て家庭へ提供していく。
児童虐待については、発見後の迅速な対応を最優先して事務を進める。児童虐待件数は、今後も増加することが予想されるが、関係機関と協力し、子どもの安全を第一に考えた対応を行う。

個別目標に対するまちづくり評価

児童虐待を防止するとともに、虐待を受けた子どもへのきめ細やかな対応をお願いしたい。

個別目標③ 異年齢児との交流や親子での遊びを通じ、子どもが健全に育っている

《H30担当課》こども政策課

指標名 児童館活動への延べ参加利用者数								
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	人	—	140,000	140,000	140,000	140,000	・児童館活動事業	
実績値		132,393	135,456	149,280	136,407	100,385		
達成率		%	—	96.8	106.6	97.4		71.7
達成状況		—	—					
取り組みの状況								
市民	児童館を交流の場として利用し、行事等に参加した。							
市役所	多くの市民の方が楽しんで参加できるような児童館行事等の実施に向け、定期的に各児童館の職員が集い意見交換を行い、行事を実施した。							

《H30担当課》こども政策課

指標名 子どもフェスティバル来場者数								
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	人	—	30,000	30,000	30,000	30,000	・子どもフェスティバル事業	
実績値		20,000	28,000	25,000	25,000	26,000		
達成率		%	—	93.3	83.3	83.3		86.7
達成状況		—	—					
取り組みの状況								
市民	親子や子ども同士が楽しく交流活動に参加した。 ボランティアとして事業の運営に協力した。 催し物を企画し、子どもフェスティバルに参加した。							
市役所	多くの市民の方が楽しんで参加できる催し物を実施した。 ボランティアの方に催し物の運営に参加していただくよう調整をした。 さまざまな市民団体が、子どもフェスティバルに参加できるよう調整をした。							

《H30担当課》こども政策課

指標名 学童保育受入待機児童数								
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	人	—	0	0	0	0	・放課後児童健全育成事業	
実績値		0	0	0	0	0		
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0		100.0
達成状況		—	—					
取り組みの状況								
市民	学童保育利用要件を証する書類を付して利用申請し、学童保育所の利用に対する手数料を納期限内に支払った。							
市役所	学童保育利用希望者に対し、書類の審査を行い、利用を決定した。 全小学校区で学童保育所の対象学年を4年生まで拡大して実施した。また、定員増により、待機児童の減少に努めた。							

目標達成のための今後の展開方針

児童館活動は、地域の中の児童館としての活動のあり方について検討する必要がある。
 こどもフェスティバルの催し物の形態は定着しているが、マンネリ化しないように運営協議会等で新たな催し物について調査・研究していく。
 学童保育については、対象学年の拡大に対応するため、教育課等と協議しながら施設・人材の確保を進める。

個別目標に対するまちづくり評価

こどもフェスティバルの来場者は、天候に大きく左右されるが、参加団体等と協力して催し物の改革改善を図るなど、市民が魅力あると感じるイベントにしていきたい。
 学童保育については、喫緊の課題である施設面や支援員の確保をスピード感を持って対応していきたい。

個別目標④ 支援が必要な子育て家庭が自立して子育てができています

《H30担当課》こども政策課

指標名	ひとり親家庭の自立人数						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	人	—	95	95	98	98	・(市)児童扶養手当事業 ・児童・遺児手当等事業
実績値		83	83	125	99	95	
達成率	%	—	87.4	131.6	101.0	96.9	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	児童扶養手当の受給と併行して、就労等を行い、所得増加を図ることにより自立をめざした。						
市役所	ひとり親家庭への補完的な経済的支援を行った。						

《H30担当課》こども政策課

指標名	ひとり親家庭が自立するための就労への教育支援件数						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	件	—	30	30	35	40	・母子・父子家庭自立支援給付事業
実績値		6	4	5	7	6	
達成率	%	—	13.3	16.7	20.0	15.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	ひとり親家庭が自立するため、必要な就労教育訓練を受けた。						
市役所	ひとり親家庭が自立するための必要な就労教育訓練への相談及び支援等を行った。						

目標達成のための今後の展開方針

ひとり親家庭の生活の安定と自立に向け、多種多様な相談に対応できるよう、母子・父子相談員を中心とし、ハローワーク等の関係機関と連携しながら支援を実施していく。
 ひとり親家庭の取り巻く環境やニーズ等を踏まえ、より多くのひとり親が、安定した就労につながる資格や就労に有効なスキルを習得できるよう、自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金の周知を図るとともに、給付金の支給を実施する。

個別目標に対するまちづくり評価

ひとり親家庭における親の就労については、昨今の社会情勢から所得を十分に得られている状況とは考えにくい。
 このような家庭に対する手厚い支援をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

0歳児保育実施保育園として平成27年度には布袋西保育園、平成28年度には宮田南保育園を追加し、合計11園に拡充したことにより、増加している低年齢児の保育需要に対応することができた。平成27年1月17日には、第3子育て支援センターを開所し、子育て相談の場の充実を図ることができた。また、学童保育については、子ども・子育て支援新制度による利用対象学年の拡大に対応するために平成26年度には宮田学童保育所、平成27年度には、門弟山学童保育所、平成28年度には、古知野東、古知野南、布袋の各学童保育所の整備を実施し、仕事と子育てが両立できる環境を構築することができた。

◆柱全体の今後の課題

現在、子どもや子育てをめぐる環境は厳しく、近年の家族構成の変化や地域のつながりの希薄化によって子育てに不安や孤立感を感じる家庭は少なくない。本格的な人口減少社会が到来し、子どもを生み、育てたいという個人の希望がかなうようにするためのサポートが強く求められている。保育サービスの充実を望む声も増加傾向にあり、親が子どもを育てやすい環境整備を図るなど、積極的に支援することが必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

共働き世帯の増加、就労形態の多様化などにより保育サービスに対するニーズは増加しており、保育園については、特に3歳未満児の入所希望者が増加傾向にある。さらなる低年齢児保育への対応に努めなければならない。また、休日保育、病児・病後児保育等、多様化するニーズに対し、保育サービスの充実に努める。学童保育の利用希望者も年々増加している。利用対象年齢の小学校6年生まで拡大に向け、施設の充実を図る。子育て不安を解消するため、気軽にまた多様な相談内容に対応できるように、各相談窓口の連携に努める。

まちづくり評価シート

健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

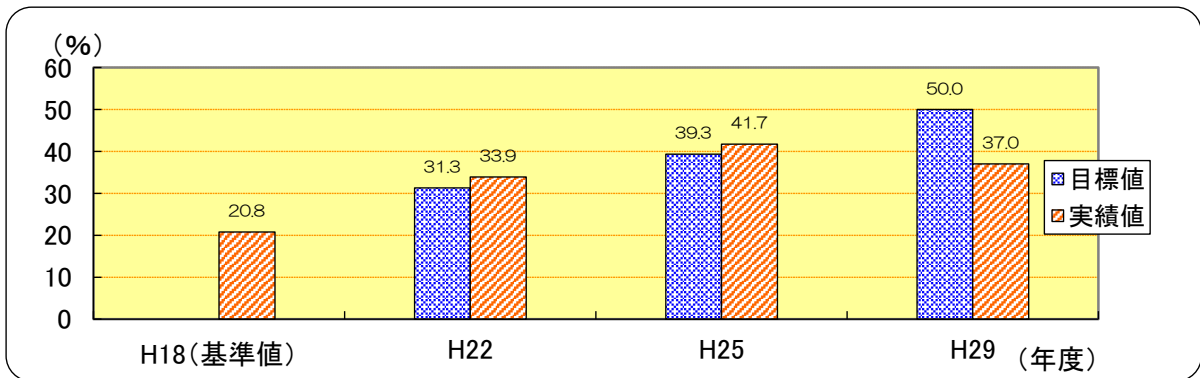
H30担当部・課	健康福祉部(福祉課)
----------	------------

福祉課【担う柱：3 障害者の生きがいと安心した生活の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 障害者が自立し、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して暮らしている

指標名	福祉サービスが整っており、障害のある人が、作業所への通所やホームヘルパー、デイサービスなどの利用により、地域でいきいきと生活していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 平成29年5月に実施した市民満足度調査結果により目標値の達成率が74%という結果になった。障害福祉サービスの事業所、利用者ともに増えているので、市民の障害への正しい知識や理解が必要。
目標値	%	—	50.0	
実績値	%	20.8	37.0	
達成率	%	—	74.0	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価
 障害者個々の状況や必要とする福祉サービスはさまざまなので、聞き取りを的確に行うことにより障害の状況に応じた福祉サービスが提供されている。障害福祉サービスの供給体制を確保するため、障害福祉サービス提供事業所に対し、事業参入の働きかけを行ったことにより、利用増につながっている。
 住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域全体に障害への正しい知識や理解を深めていく必要がある。

個別目標① 障害者が日常生活の支援を受け、能力にあった就労・社会参加をし、生活しやすい社会環境が整備されている

《H30担当課》福祉課

指標名	障害者の雇用率						主な事務事業 ・心身障害者小規模授産施設 管理運営事業 ・障害者福祉サービス給付事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	2.00	2.00	2.00	2.00	
実績値	%	1.46	1.59	1.70	1.69	1.76	
達成率	%	—	79.5	85.0	84.5	88.0	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	ハローワークや尾張北部障害者就業・生活支援センター「ようわ」等で職業相談を受けた。
市役所	ハローワークや尾張北部障害者就業・生活支援センター「ようわ」等と連携し、障害者雇用の促進・周知に努めた。

《H30担当課》福祉課

指標名		公共施設のバリアフリー化率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	↑	・福祉計画策定事業
実績値		60.1	73.1	73.1	73.1	73.1	
達成率		—	121.6	121.6	121.6	121.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	各公共施設にエレベーター整備や、複数階の施設スロープの設置などの要望をした。						
市役所	障害者への合理的配慮を行うために、障害者差別解消法の周知に努めた。						

《H30担当課》福祉課

指標名		就労継続支援及び就労移行支援サービスの利用人数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	103	109	115	121	・障害者福祉サービス給付事業
実績値		不明	133	166	182	205	
達成率		—	129.1	152.3	158.3	169.4	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市内の障害福祉サービス事業所で利用者が関わり製品化した授産製品を市役所で販売した。						
市役所	就労継続支援及び就労移行支援サービスを提供する施設を支援した。						

《H30担当課》福祉課

指標名		施設入所支援サービスの利用人数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	87	87	87	87	・障害者福祉サービス給付事業
実績値		94	94	90	89	89	
達成率		—	92.6	96.7	97.8	97.8	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	地域での自立を目指し、自立訓練や共同生活援助(グループホーム)等の支援を受けた。						
市役所	生活介護や自立訓練等の日中活動系サービスを利用し、グループホーム等に移行することで、施設入所者数の削減に努めた。						

《H30担当課》福祉課

指標名		訪問系サービス(ホームヘルプ等)の利用人数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	95	97	98	100	・障害者福祉サービス給付事業 ・障害者居宅生活支援事業
実績値		77	77	68	56	53	
達成率		—	81.1	70.1	57.1	53.0	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	地域での自立した生活を送るために、居宅介護(ホームヘルプ)等の支援を受けた。
市役所	個々の状況に応じた居宅介護(ホームヘルプ)等の訪問系サービスを提供した。

目標達成のための今後の展開方針
障害者・児の地域生活を支援する「地域生活支援拠点」の整備を検討する。また、障害者の就労に対する相談体制の充実や福祉的就労の場を確保していく。

個別目標に対するまちづくり評価
障害者が安定した生活を送るために、訪問系サービスをはじめとして様々なニーズに応じた対策を適切に行う必要がある。

個別目標② 障害者等が住み慣れた家庭や地域で安全・安心に生活することができるよう地域での福祉活動が行われている

《H30担当課》福祉課

指標名	基幹相談支援センターへの相談件数						主な事務事業	
	単位	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29		
目標値	人	—	1,200	1,200	1,200	1,200	・基幹相談事業	
実績値		—	1,083	1,324	1,409	1,347		
達成率		%	—	90.3	110.3	117.4		112.3
達成状況		—	—					

取り組みの状況	
市民	日常生活等の困りごと等を基幹相談支援センターに相談した。
市役所	日常生活等の困りごと等を抱えた方に対応する相談支援体制を確保し、関係機関との連携を図り情報交換を行った。

《H30担当課》福祉課

指標名	社会福祉法人への指導監査における不適正な運営指摘件数						主な事務事業	
	単位	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29		
目標値	件	—	0	0	0	0	・社会福祉法人監査指導事業	
実績値		—	3	0	0	0		
達成率		%	—	0.0	100.0	100.0		100.0
達成状況		—	—					





取り組みの状況	
市民	
市役所	社会福祉法人において不適切な運営が為されていないかを確認した。

目標達成のための今後の展開方針
基幹相談支援センターの運営方法について検討を行っていく必要がある。

個別目標に対するまちづくり評価
基幹相談支援センターについては、その機能の一部を社会福祉協議会に委託しているものの、市の直営で業務を行っているため、困難ケースについて対応できる人材が不足している。今後はセンターの機能の集約化など在于方について検討していく必要がある。

個別目標③ 障害児は療育支援や発達支援を受けている

《H30担当課》福祉課

指標名 市の母子通園施設への受入待機児童数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	0	・わかくさ園管理運営事業
実績値		0	0	0	0	0	
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	健康検査で指摘された障害児や発達に遅れがある子どもを持つ保護者は、積極的に施設を利用し療育指導を受けた。						
市役所	関係機関と連携を図りながら、集団訓練、日常生活自立訓練、その他の訓練を行い子供の健全な育成を支援した。						

目標達成のための今後の展開方針

障害をもつ乳幼児やその家族への療育体制の充実に向けて、地域療育・支援のあり方を視野に入れ、課題やニーズの把握、施策の方向性や関係機関との具体的な連携策等について検討を行う。

個別目標に対するまちづくり評価

できるだけ早期に、適切な療育を行うことにより、障害の軽減及び基本的な生活能力の向上が図られるので、障害の早期発見、早期療育等の療育体制を充実していただきたい。
また、地域社会の支援体制の整備を進める活動の充実を図っていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

障害者個々の状況や必要とする福祉サービスはさまざまなので、聞き取りを的確に行い、状況に応じた福祉サービスを提供することはできた。障害福祉サービスの供給体制を確保するため、障害福祉サービス提供事業所に対し、事業参入の働きかけを行ったことにより利用増につながった。

◆柱全体の今後の課題

障害者・児やその家族が相談できる身近な場所の確保や障害者が能力に応じた就労等を行い、さらには個々のニーズに基づいた必要な支援サービスを受けることができるよう、多様なニーズに対応する相談支援や障害福祉サービスの充実に努めるなど、住み慣れた地域で自立した生活ができる環境づくりが求められている。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

江南市基幹相談支援センター及び社会福祉協議会を中心に、地域の相談支援体制の強化に努める。利用促進を図るための周知と啓発に努めるとともに、周囲の障害への正しい知識や理解を深めていく必要がある。障害者が能力に応じた就労等を行い、個々のニーズに基づいた必要な支援サービスを受けることができるよう、多様なニーズに対応する相談支援や障害福祉サービスの充実に図り、障害者の自立と参加を支援する。

まちづくり評価シート

健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

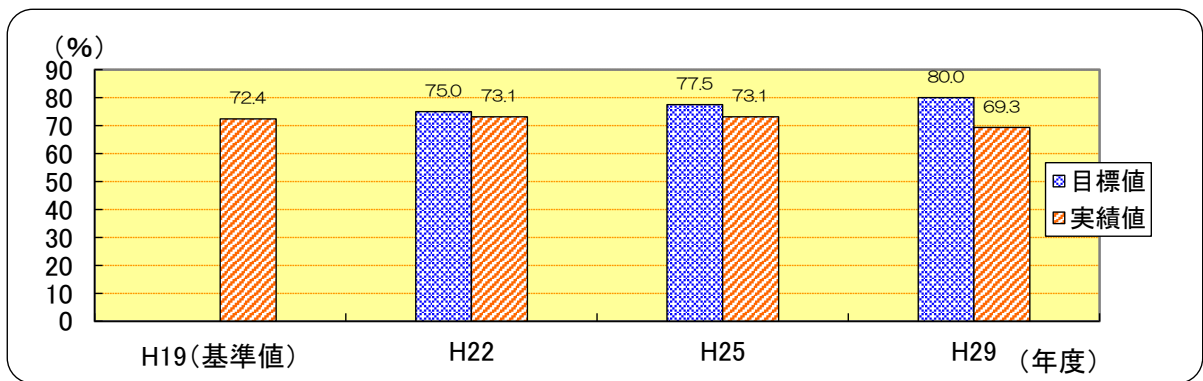
健康づくり課【担う柱：4 健康な生活の確保】

H30担当部・課	健康福祉部（健康づくり課）
----------	---------------

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている

指標名	健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H29	実績値の分析
目標値	%	—	80.0	平成29年4月に実施した市民満足度調査結果は22年度、25年度の調査結果より低下している。 検(健)診機会等を提供しているが、市民の健康格差などが課題となっている。
実績値		72.4	69.3	
達成率	%	—	86.6	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

市民満足度調査で「健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じる」市民の割合は、平成22年度、25年度調査より低下し、目標値は達成していない。市は検(健)診機会等を提供しているが、市民の健康格差などが課題となっている。

がん検診を始めとする検(健)診後の精密検査受診率が低値であり、疾病の早期発見、早期治療のためにも、精密検査受診の必要性を広く周知する必要がある。


健康に関する情報の提供、知識普及のための健康教育、またかかりつけ医を持つことを推奨し、健康格差を縮小するために、市民全体の健康意識の向上を図っていく必要がある。


個別目標① 自らが疾病予防に取り組んでいる





《H30担当課》健康づくり課

指標名	健康診査受診率						
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	72.5	73.5	74.5	75.0	・健康管理事業 ・節目年齢歯科健康診査事業
実績値		67.7	—	—	—	69.8	
達成率	%	—	—	—	—	93.1	
達成状況	—	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	がん検診、節目年齢歯科健康診査等を受診した。
市役所	検(健)診の案内を広報、ホームページに掲載、ポスター、回覧板、保育園や幼稚園の保護者向けチラシ等にて周知した。 節目年齢歯科健康診査の対象者には個別通知をした。

指標名 運動習慣のある市民の割合【男】							
	単位	H14 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	32.0	33.5	35.5	37.0	・健康推進事業
実績値		16.4	—	—	—	49.2	
達成率		—	—	—	—	133.0	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	市が実施する事業へ積極的に参加するとともに、からだを普段から動かすように意識した。						
市役所	生活習慣病予防等の教室に運動の内容を組み入れて実施した。あらゆる機会を通して健康体操等の普及に努めた。						

指標名 運動習慣のある市民の割合【女】							
	単位	H14 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	29.0	30.5	32.5	34.0	・健康推進事業
実績値		14.0	—	—	—	42.3	
達成率		—	—	—	—	124.4	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	市が実施する事業へ積極的に参加するとともに、からだを普段から動かすように意識した。						
市役所	生活習慣病予防等の教室に運動の内容を組み入れて実施した。あらゆる機会を通して健康体操等の普及に努めた。						

指標名 健康フェスティバル参加者数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	3,700	3,800	3,900	4,000	・健康推進事業
実績値		1,600	3,896	3,364	3,282	3,626	
達成率		—	—	105.3	88.5	84.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	健康フェスティバルに参加し、健康づくりに対する意識を高めた。						
市役所	健康づくりを考える機会として健康フェスティバルを実施した。						

目標達成のための今後の展開方針

がん検診を個別検診に移行させることにより、かかりつけ医を持つことを推進し、普段の健康の相談や健康管理が自ら行えるように支援する。
健康意識の向上、検(健)診受診者、保健事業への参加者の拡大につなげるため、健康情報を広報やホームページ等で市民に分かりやすく周知する。

個別目標に対するまちづくり評価

第2次健康日本21こうなん計画に沿って、検(健)診の受診機会の提供、運動習慣のある市民が増加する取り組みが実施できている。
健康生活習慣の確立には継続が必要なため、今後も引き続き健康推進事業を実施していただきたい。

個別目標② 必要な予防接種を受け、感染症にかかることなく健康を維持している

《H30担当課》健康づくり課

指標名 予防接種(四種混合)接種率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・予防接種事業
実績値		89.4	95.2	93.3	99.9	91.9	
達成率		—	95.2	93.3	99.9	91.9	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	四種混合予防接種の必要性を理解し予防接種(医療機関)を受けた。						
市役所	四種混合予防接種の必要性や副反応について資料の個別通知や赤ちゃん訪問、予防接種説明会で説明し予防接種を受けることを勧奨した。						

《H30担当課》健康づくり課

指標名 予防接種(BCG)接種率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・予防接種事業
実績値		98.1	93.3	99.3	98.0	99.4	
達成率		—	93.3	99.3	98.0	99.4	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	BCGの必要性を理解し予防接種(集団)を受けた。						
市役所	予防接種の予診票や説明書を送付し予防接種を受けることを勧奨した。 予防接種説明会を実施し、予防接種の受け方、スケジュールの立て方を説明した。						

《H30担当課》健康づくり課

指標名 狂犬病予防注射接種率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・動物保護・管理事業
実績値		83.6	83.5	83.1	81.4	82.7	
達成率		—	83.5	83.1	81.4	82.7	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	狂犬病の予防注射を集団接種会場又は動物病院で受け、注射したことを届け出た。						
市役所	狂犬病の予防注射の勧奨と注射済であることを届け出る必要性を広報や個別通知で周知した。						

目標達成のための今後の展開方針

予防接種対象者が、時期を逃さず接種が受けられるよう情報提供していく。
 予防接種対象者へ、適切な案内をしていくことで接種率の確保につなげたい。
 引き続き予防接種事故防止の対策をとっていく。
 かかりつけ医等で予防接種が受けやすくするため、愛知県広域予防接種事業について市民へ周知していく。

個別目標に対するまちづくり評価

予防接種を実施することは、自分の健康を守るだけでなく、病気の感染防止にも役に立っている。定期接種の接種時期を逃さず予防接種ができるよう周知を徹底してほしい。

個別目標③ 母子が健康保持に積極的に取り組み、母子共に健康に暮らしている

《H30担当課》健康づくり課

指標名	妊婦健康診査の受診率						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・母子健康管理事業
実績値		95.3	101.8	92.6	101.2	98.3	
達成率	%	—	101.8	92.6	101.2	98.3	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	医療機関にて妊婦健康診査を定期的に受診した。						
市役所	母子健康手帳交付時に妊婦健康診査の重要性を周知し、最大14回の妊婦健康診査の費用助成を行った。産婦健診では産後うつが発見のためメンタルチェックを取り入れた。						

《H30担当課》健康づくり課

指標名	乳幼児健康診査(4か月児健康診査)の受診率						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・母子健康管理事業
実績値		98.5	98.7	98.6	96.9	95.5	
達成率	%	—	98.7	98.6	96.9	95.5	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	広報や案内通知で健診日を確認し、健康診査を受けた。						
市役所	健診対象ごとの受診日を広報と市ホームページに掲載するとともに、健診案内・子どもの様子等を記入するアンケートを対象者へ送付し、受診を勧奨した。又、未受診者へは電話、郵送などで再度受診の勧奨を行った。						

目標達成のための今後の展開方針

妊婦健康診査の定期受診の必要性を伝えていくとともに、保健師が身近な存在として、相談できる体制を作っていくことが必要である。

個別目標に対するまちづくり評価

妊婦が安心して出産・子育てができるよう精神的支援を行っていただきたい。
また、乳幼児健診時にアンケートを行い、育児の状況を把握することで虐待等の早期発見に努めて欲しい。


個別目標④ 市民が安心して医療を受けている

《H30担当課》健康づくり課

指標名	かかりつけ医をもっている市民の割合						
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	65.0	66.5	68.5	70.0	・地域医療推進支援事業
実績値		56.2	—	—	—	65.5	
達成率	%	—	—	—	—	93.6	
達成状況	—	—	—	—	—		





取り組みの状況	
市民	市から提供される情報により、病状やケガの程度により医療機関を選んでいる。
市役所	市ホームページから、尾北医師会、尾北歯科医師会のホームページにリンクし、各医療機関の診療科目、診療時間、所在等の情報を提供した。

《H30担当課》健康づくり課

指標名	病院等の医療体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	73.0	75.0	76.0	78.0	・休日急病診療所管理・運営事業 ・地域医療推進支援事業 ・江南厚生病院建設費補助事業
実績値		49.3	—	—	—	76.1	
達成率	%	—	—	—	—	97.6	
達成状況	—	—	—	—	—		





取り組みの状況	
市民	医療機関の診療時間外の急な病気やケガの場合は、軽度であれば休日急病診療所を受診し、重度の場合は第2次救急医療を行う医療機関を受診している。
市役所	休日急病診療所の開設、第2次救急医療対策費補助金・小児救急医療対策費補助金の医療機関等への交付及び江南厚生病院建設費補助金の交付により、医療機関等への支援を実施し、医療体制の確保に努めた。

《H30担当課》健康づくり課

指標名	休日急病診療所の受診者数						主な事務事業
	単位	H20 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	人	—	2,200	2,200	2,200	2,200	・休日急病診療所管理・運営事業 ・地域医療推進支援事業
実績値		2,138	2,400	2,280	2,524	2,644	
達成率	%	—	109.1	103.6	114.7	120.2	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	休日の急な病気やケガの場合に、第1次救急医療施設として休日急病診療所を受診している。
市役所	尾北医師会に運営を委託し休日急病診療所を開設した。

《H30担当課》健康づくり課

指標名	救急搬送件数						主な事務事業
	単位	H20 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	件	—	4,000	4,000	4,000	4,000	・休日急病診療所管理・運営事業 ・地域医療推進支援事業 ・江南厚生病院建設費補助事業
実績値		4,000	4,940	4,959	4,906	4,953	
達成率	%	—	81.0	80.7	81.5	80.8	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	医療機関の診療時間外の急な病気やケガの場合、適切な医療が受けられるよう第2次救急医療を行う医療機関を受診している。
市役所	第2次救急医療対策費補助金・小児救急医療対策費補助金の医療機関等への交付及び江南厚生病院建設費補助金の交付により、医療機関等への支援を実施し、医療体制の確保に努めた。

目標達成のための今後の展開方針

第1次救急医療施設として傷病の初期医療を担当する休日急病診療所の周知に努める。
休日急病診療所の施設設備の経年劣化に対し、計画的に補修及び修繕を行い維持管理を行っていく。
救急医療体制を充実させるため、江南厚生病院・総合犬山中央病院・さくら総合病院へ必要な助成を行う。

個別目標に対するまちづくり評価

休日・夜間の急な病気やケガをした場合に、その症状に対応できる医療機関に受診できる体制を整えてほしい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

各種がん検診などの情報をより身近な場所で得ることができるように、ポスター等掲示機関の拡大、メール配信等を行ったが、受診率の向上にはつながらなかった。また、がん検診等の精密検査の受診率が低値であり、がん等の早期治療につながっていない。

予防接種、妊産婦および乳幼児の健康診査は、ともに高い接種率、受診率を保つことができた。

1次医療の充実を図り、安心できる医療体制をとることができた。

◆柱全体の今後の課題

生活習慣病の早期発見、早期治療を阻む一因として、健康診査や各種がん検診を定期受診する人および精密検査受診者が少ないという現実があり、よりよい生活を維持するためにも検(健)診等の受診率の向上が必要となる。

また、健康づくりに気軽に取り組める環境整備として、こうなん健康マイレージ事業などの取り組みが行われているが、さらなる情報の発信や取り組みやすい環境づくりが課題である。

平成28年度にB型肝炎ワクチンが定期予防接種に加わり、今後はさらに定期接種が追加されていく見込みであるので、接種を受けやすい体制づくりが課題となる。

子育て世代の心身の健康保持のため、各機関が連携して、支援する仕組みづくりが必要となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

がん検診等の受診及び精密検査の必要性を周知し、受診率向上を目指す。

乳幼児の予防接種や妊婦・産婦・乳幼児健康診査は、高い接種率、受診率を維持しているが、さらなる向上を目指し、引き続き勸奨等に努める。

市民が気軽に健康づくりに取り組める環境整備に努める。

まちづくり評価シート

健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

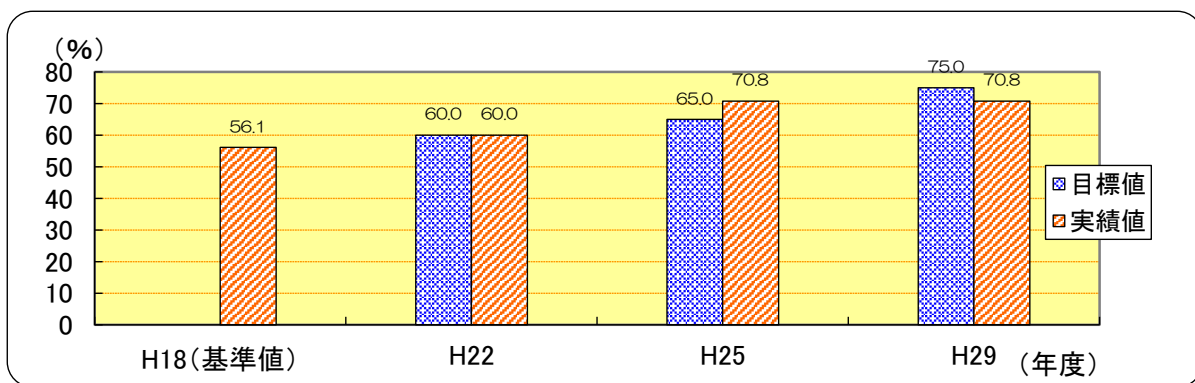
保険年金課【担う柱：5 保険年金制度の健全な運営】

H30担当部・課	健康福祉部(保険年金課)
----------	--------------

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 保険年金制度が健全に運営され、もしもの場合の生活の不安が軽減され、安心して暮らしている

指標名	保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合は、平成25年度とかわらず70.8%である。窓口での丁寧な説明や、広報こうなん等による制度のPRが評価されている一方で、度重なる制度変更の影響により、制度に対する理解が深まらない傾向にある。
目標値	%	—	75.0	
実績値	%	56.1	70.8	
達成率	%	—	94.4	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

国民健康保険及び後期高齢者医療制度について、セーフティネットとしての役割がこれまで以上に増し、市民ニーズが高くなることが予想される。今後も健全で安定した制度の維持に努めてほしい。

個別目標① 医療保険制度が健全に運営され、市民が安心して医療を受けている





《H30担当課》保険年金課

指標名	国民健康保険給付実施率						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・保険給付事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績値	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	





取り組みの状況

市民	高額療養費や療養費などの必要な給付について申請を行った。
市役所	被保険者に必要な医療給付等を行った。





《H30担当課》保険年金課

指標名 特定健康診査実施率							
	単位	H (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	52.5	55.0	57.5	60.0	・特定健康診査・特定保健指導 事業
実績値		—	46.5	46.5	44.8	45.6	
達成率	%	—	88.6	84.5	77.9	76.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	40歳以上の被保険者は、特定健康診査・特定保健指導を受診し、健康維持に努めた。						
市役所	特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上をめざし、広報こうなん等でのPRに努めた。						

《H30担当課》保険年金課

指標名 福祉医療費助成実施率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・福祉医療費助成事業 ・子ども医療費助成事業
実績値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	医療費受給者証の交付申請を行った。住所、加入保険等の変更届を提出した。県外受診等により、現物給付による助成を受けることができなかった場合は、償還払いの申請を行った。						
市役所	受給資格者に対し、医療費受給者証を交付した。県外受診等により現物給付ができなかった場合は、申請に基づき、償還払いにより助成した。						

《H30担当課》保険年金課

指標名 後期高齢者医療給付実施率							
	単位	H (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・後期高齢者医療支援事業
実績値		—	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	後期高齢者医療制度の療養費など各種申請、届出を行った。						
市役所	後期高齢者医療被保険者からの療養費など各種申請、届出を愛知県後期高齢者医療広域連合に進達した。 愛知県後期高齢者医療広域連合へ納付金を支出した。						

指標名	国民健康保険税収納率(現年分)						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	↑	・保険税賦課事業 ・収納対策事業
実績値		91.7	92.1	92.5	93.0	93.8	
達成率	%	—	100.4	100.9	101.4	102.3	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	国民健康保険税を期限内に納付した。						
市役所	戸別訪問徴収を実施した。 出張納税相談を実施した。 口座振替の勧奨を窓口で行った。						

指標名	後期高齢者医療保険料納付率						
	単位	H20 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	↑	・後期高齢者医療支援事業
実績値		98.9	99.4	99.4	99.5	99.5	
達成率	%	—	100.5	100.5	100.6	100.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	後期高齢者医療保険料を期限内に納付した。						
市役所	被保険者に対し、保険料の徴収や納付相談等、きめ細かな対応を行った。						

目標達成のための今後の展開方針

国民健康保険給付については、制度改正に的確に対応するとともに被保険者に対しわかりやすい説明を心がける。
 特定健康診査については、実施方法や周知方法などの見直しを順次行い、受診率の目標達成をめざす。
 適切な医療受診を啓発することにより、医療費の抑制を図る。
 国民健康保険税の収納については、制度理解への啓発、口座振替の勧奨などにより目標達成をめざす。
 高齢者の方々の医療を確保するため、後期高齢者医療制度の啓発及びきめ細かな納付相談を行う。

個別目標に対するまちづくり評価

国民健康保険及び後期高齢者医療の保険医療の給付並びに子ども・母子・障害者などの福祉医療の給付については、適切に実施できているので、引き続き今の状態を継続していただきたい。
 国民健康保険及び後期高齢者医療については、健全な運営をめざし、医療費の抑制に効果のある各種事業を実施してほしい。

個別目標② 国民年金制度への理解が深まり、届出や保険料の納付が適正に行われている

《H30担当課》保険年金課

指標名		国民年金保険料納付率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	↑	・年金異動処理事業 ・年金保険料納付事業 ・年金給付事業 ・年金推進事業 ・年金相談事業
実績値		69.4	68.4	70.0	71.8	73.7	
達成率	%	—	98.6	100.9	103.5	106.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求手続きなどを行った。国民年金の保険料を期限内に納付した。						
市役所	国民年金の届出、納付、その他制度に関する広報を行った。国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求手続きなどを受理し、日本年金機構に報告した。						

目標達成のための今後の展開方針

国民年金保険料の納付督促や年金制度の周知に関する広報活動、及び免除等の申請書等の受付を継続して行い、年金事務所と協力連携して納付率の向上に取り組む。

個別目標に対するまちづくり評価

国民年金制度に対する不安がある中、制度に対する理解が進むとともに雇用や所得の持ち直し、日本年金機構の督促の強化により、国民年金保険料の納付率は若干上昇している。しかし、その納付率は厳しい状況であるため、年金保険料の納付督促や年金制度の周知に関する広報活動を行い、引き続き納付率の向上を図る。これまでに行ってきた事務事業を継続して実施し、年金事務所と協力連携して、さらに納付率の向上につながるよう取り組みを進めていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

国民健康保険、後期高齢者医療、子ども・母子・障害者などの福祉医療制度において、給付を実施し、市民の生活の不安を軽減することができた。
国民年金の資格異動や免除申請、給付に関する請求手続きについて受付を行い、日本年金機構へ報告を行うなど、国民年金事務を円滑に進めることができた。

◆柱全体の今後の課題

国民健康保険は平成30年度から県が財政運営の責任主体を担うこととなるため、新たな仕組みに円滑に移行できるよう措置を講じる必要があるが、医療保険制度については、少子高齢化が加速する中で、健全で安定した運営を維持することが求められており、保険税(料)の確保及び医療費の抑制が課題となっている。
一方で、福祉医療制度の充実や医療の高度化などによる医療費の増加に対応するため、医療費適正化の推進に取り組む必要がある。
国民年金制度が、今後も安定した制度の運営を持続できるようにするためには、制度のPRと保険料の納付督促の推進が課題となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

国民健康保険については、制度が変わることに伴う保険税率の変更、制度内容の周知や、被保険者に対する健康管理への意識啓発に努める。
また、医療保険制度については、広報こうなんやパンフレットを利用して納税の推進や口座振替の勧奨を行い、医療費に関する情報などについて広く周知する。
国民年金保険料の納付率の向上を目指し、年金事務所との協力体制を強化するとともに、国民の年金制度に対する関心を高めるため、制度のPRなどを広く行う。

まちづくり評価シート

健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

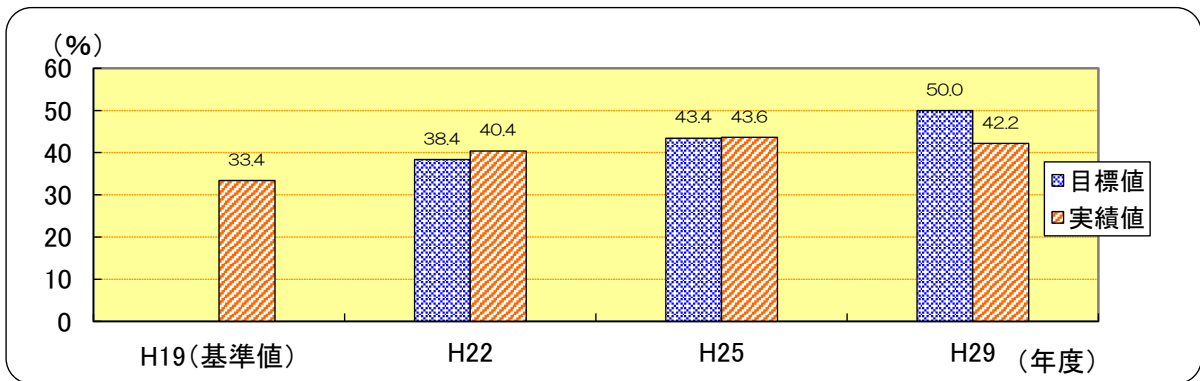
福祉課【担う柱：6 地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保】

H30担当部・課	健康福祉部(福祉課)
	教育部(生涯学習課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 生活困窮者や高齢者などへの生活支援が充実し地域で支え合い、誰もが地域で安心して暮らしている

指標名	必要なときに地域で支え合う体制が整っていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H29	実績値の分析 ハローワークなど関係機関との連携による支援を行ったことにより、平成29年5月に実施した、市民満足度調査結果により目標値の達成率が84.4%という結果になった。
目標値	%	—	50.0	
実績値	%	33.4	42.2	
達成率	%	—	84.4	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

生活困窮者などの自立支援に向け、ハローワーク犬山、江南市社会福祉協議会と連携し、就労等の相談や経済的支援体制の整備を図るとともに、民生委員や福祉ボランティア等地域で支え合う体制の整備を図っていただきたい。

個別目標① 生活困窮者や被災者が支援を受け、自立している

《H30担当課》福祉課

指標名	生活保護世帯の自立した割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・生活保護事業 ・被保護者就労支援事業
目標値	%	—	→	→	→	→	
実績値	%	13.5	9.8	12.0	10.7	14.3	
達成率	%	—	72.6	88.9	79.3	105.9	
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	生活保護受給者が自立に向け、就労支援員とともにハローワーク犬山等での求職活動を行った。
市役所	生活保護受給者の自立を促すため、随時、家庭訪問等面談を実施して、生活環境や就労・増収等のアドバイスを行った。

目標達成のための今後の展開方針

今まで以上に生活困窮者が増大することが予想される。そうしたニーズに対応できる体制が必要である。また、自立支援対策として新たに保護が開始された方に対する早期の就労支援や母子世帯に対する就労支援を行う。

個別目標に対するまちづくり評価

生活保護制度の自立助長機能を高めることと併せて、増大する生活困窮者に対し、生活保護受給に至る前の段階から安定した就労を支援することも緊要な課題となっている。そうしたニーズに対応できる相談体制の整備をお願いしたい。

個別目標② 社会福祉関係団体などが地域の福祉活動を積極的に行っている

《H30担当課》福祉課

指標名 社会福祉関係の団体数、参加人数【団体数】							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	団体	—	25	25	25	25	・社会福祉関係団体育成事業 ・障害者団体育成事業
実績値		19	22	25	24	24	
達成率	%	—	88.0	100.0	96.0	96.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	各種行事に団体が参加し、団体の活動についてPR等を行った。						
市役所	各団体への財政支援及び会議や活動の場に赴き、支援や助言を行った。						

《H30担当課》福祉課

指標名 社会福祉関係の団体数、参加人数【参加人数】							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	970	980	990	1,000	・社会福祉関係団体育成事業 ・障害者団体育成事業
実績値		760	890	890	899	850	
達成率	%	—	91.8	90.8	90.8	85.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	スポーツ大会、作品展など団体が行う事業に参加した。						
市役所	スポーツ大会などを行うため、障害者(児)連絡協議会や江南市社会福祉協議会を通じてボランティアセンターの支援を行った。						

《H30担当課》福祉課

指標名 市内の福祉関係のNPO団体数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	団体	—	6	6	7	8	・社会福祉関係団体育成事業
実績値		3	7	7	7	7	
達成率	%	—	116.7	116.7	100.0	87.5	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	各団体が行っている福祉活動を通じてボランティア活動に参加した。						
市役所	各団体へ福祉関係に関するさまざまな情報を提供した。						

目標達成のための今後の展開方針

地域社会の担い手となるべき各団体の会員を増やすため、活動内容等をPRする。

個別目標に対するまちづくり評価

各団体の会員が高齢化している。また、地域社会の担い手となるべき各団体の会員を増やす必要がある。

個別目標③ 生活困窮者や高齢者などは、民生委員等の支援を受け、問題を解決し、安定した生活をしている

《H30担当課》福祉課

指標名		民生委員の相談支援件数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	件	—	↑	↑	↑	↑	・民生委員事業
実績値		2,103	2,970	1,761	2,447	2,123	
達成率		%	—	141.2	83.7	116.4	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	生活面や経済面などの困りごとについて、身近な地区の民生委員・児童委員に相談した。						
市役所	地域住民からのニーズに対応するために、研修会の開催等民生委員・児童委員の知識向上を図った。						

目標達成のための今後の展開方針

経験の浅い、民生委員・児童委員に対して研修等への参加を促し、知識の向上を図る。

個別目標に対するまちづくり評価

地域で身近な相談ができる方として民生委員・児童委員は重要である。今後も研修会等を行い、民生委員・児童委員の知識向上を図ってもらいたい。

個別目標④ 地域住民が地域福祉活動や学習活動を積極的に行っている

《H30担当課》生涯学習課

指標名		市の学習等供用施設の利用者数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	人	—	135,000	135,000	135,000	135,000	・学習等供用施設管理運営事業
実績値		121,286	119,602	124,907	115,618	104,264	
達成率		%	—	88.6	92.5	85.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	学習等供用施設を積極的に利用した。 施設予約システムにより施設の空き状況を確認した。						
市役所	施設の効率的及び効果的な運営ができた。						

目標達成のための今後の展開方針

学習等供用施設の適切な維持管理・運営を行い、市民が利用しやすい環境を整える。

個別目標に対するまちづくり評価

年末年始を除き全日開館したことや施設予約システムでの運用は評価できる。市民ニーズを把握し、さらに利用しやすい環境をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

ハローワーク、就労支援員、江南市社会福祉協議会などの関係機関と連携し、生活困窮者などの自立に向けての支援を行うことができた。また、社会福祉関係団体の活動の支援を行った。

◆柱全体の今後の課題

社会経済情勢の悪化による生活困窮者や高齢者などが増え続けている中、これらの方々の自立に向けての経済的支援や生活支援等を充実させ、より一層関係機関との連携が求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

生活困窮者などの自立支援に向け、ハローワーク、就労支援員、江南市社会福祉協議会と連携し、就労等の相談や経済的支援体制の整備を図るとともに、民生委員児童委員や福祉ボランティア等地域で支え合う体制の整備を図る。

III 都市生活基盤分野

**都市生活基盤が整備され、すべての市民が快適で
安心・安全な生活をしている。**

柱1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり【市街地整備】

適正で秩序ある都市計画により、中心市街地が賑わい、市民が安心・安全で快適な生活を送っている。

柱2 人にやさしいみちづくり【道路】

自動車で移動がしやすく、歩行者も安心して通行できる道路環境となっている。

柱3 花と緑あふれる公園づくり【公園緑地】

公園緑地が整備され、花と緑とうるおいのある空間が、確保されている。

柱4 公共下水道の普及促進【下水道】

下水道が整備され、生活環境の改善が図られている。

柱5 浸水被害のないまちづくり【治水】

河川が整備され、浸水被害が軽減し、市民の災害に対する不安が解消されている。

柱6 安心・安全な住環境の確保【住環境】

住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている。

柱7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給【上水道】

健全な経営と安全な水道水が安定的に供給され、市民が安心・安全に暮らしている。

まちづくり評価シート

都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

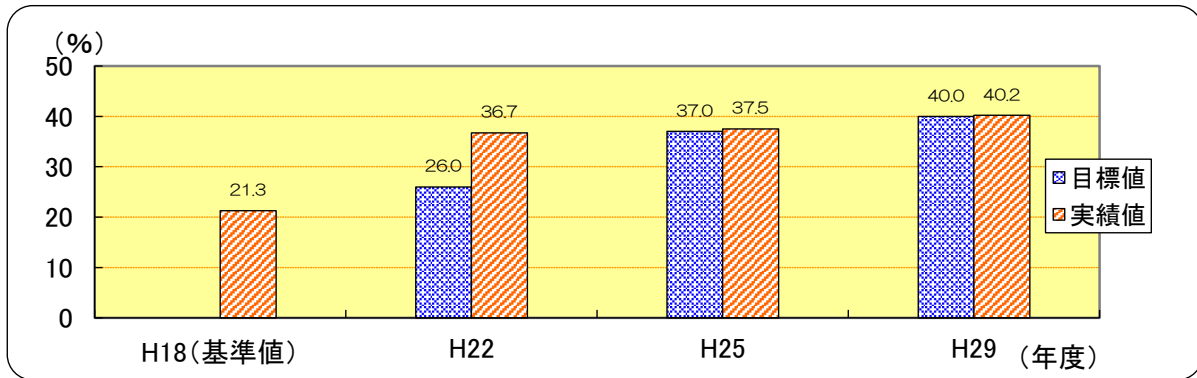
まちづくり課【担う柱:1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり】

H30担当部・課 都市整備部(都市計画課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 秩序ある都市計画により、美しく賑わいのあるまちで生活している

指標名	秩序ある、美しいまちなみが形成されていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析
目標値	%	—	40.0	様々な基盤整備を行う中で、特に鉄道駅付近における基盤整備が形となって市民の目に見える状況となり、美しいまちなみ形成の進展を実感できたことによるものと考えられる。
実績値		21.3	40.2	
達成率	%	—	100.5	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

少しずつではあるが着実に都市計画道路の整備が進んでいること、また多くの市民が利用する鉄道駅付近の整備として、江南駅におけるシェルター設置等のバリアフリー化の完了により利便性が向上したこと、布袋駅における鉄道高架化事業及び布袋南部土地区画整理事業の進捗で整備が目に見える形で確認できるようになったことにより目標が達成されたと考えられるので、今後も早期完成に向けて、引き続き基盤整備を進めていくことが有効である。

個別目標① 適正な都市計画により、秩序があり美しく、快適なまちづくりが行われている

《H30担当課》都市計画課

指標名	都市計画道路の整備率						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	66.8	68.4	70.1	71.7	・都市計画道路整備事業(布袋本町通線) ・都市計画道路整備事業(江南通北線)
実績値		64.5	66.9	67.3	67.5	67.5	
達成率	%	—	100.1	98.4	96.3	94.1	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	都市計画道路の必要性について理解を深め、沿線地権者の方々は用地を提供し、整備工事に協力した。
市役所	都市計画道路の整備に関する情報を市民へ伝えながら理解を求め、工事中には安全確保や速やかな完了を念頭に整備を行った。

目標達成のための今後の展開方針


都市計画道路の整備事業を進めていくにあたり、厳しい財政状況のなか、効率的な事業推進を図るため、地権者へ事業の必要性について理解を求めながら、粘り強く交渉を継続していく。

個別目標に対するまちづくり評価





時代のニーズに合ったまちづくりを推進するため、地元組織との調整を心がけてほしい。
まちづくりは現在の情勢を踏まえながら、将来を見据えた計画を進めてほしい。

個別目標② 魅力的で快適な市街地が整備され、多くの市民で賑わっている


《H30担当課》都市計画課

指標名	駅前や市街地が整備され、人々が集い賑わっていると感じる市民の割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	17.0	18.0	19.0	20.0	・江南駅バリアフリー化対策事業 ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
実績値		8.8	—	—	—	20.0	
達成率	%	—	—	—	—	100.0	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	江南駅前広場シェルター設置工事や布袋駅付近鉄道高架化整備事業にあたり、事業への理解を深め工事に協力した。						
市役所	江南駅前広場シェルター設置工事や布袋駅付近鉄道高架化整備事業にあたり、地元と調整しながら工事を行い、駅利用者等の利便性の向上を図った。						

《H30担当課》都市計画課

指標名	江南駅・布袋駅の1日乗降客数						
	単位	H17 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	34,300	34,400	34,500	34,600	・江南駅バリアフリー化対策事業 ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
実績値		33,800	33,900	35,127	35,723	36,044	
達成率	%	—	98.8	102.1	103.5	104.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	駅周辺が整備されたことにより、公共交通機関を積極的に利用した。						
市役所	江南駅前広場シェルター設置について地元と調整しながら工事を施工し、駅利用者等の利便性の向上を図った。 布袋駅の高架化を地元調整のうえ、共同事業者である愛知県及び施工者である鉄道事業者と協議しながら整備を進めた。						

《H30担当課》都市計画課

指標名	江南駅前広場を通過する車両の台数						
	単位	H17 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	台	—	5,000	5,000	5,000	4,000	・江南駅周辺交通環境改善事業
実績値		8,800	—	—	—	5,976	
達成率	%	—	—	—	—	66.9	
達成状況	—	—	—	—	—		





取り組みの状況	
市民	駅利用と関係ない車両は、なるべく駅前広場の道路を利用しないようにした。
市役所	駅利用と関係ない車両は、駅前広場に流入しないように周辺道路を整備することにより駅前広場への進入を減少させた。

目標達成のための今後の展開方針
地元商店街等の団体、地元住民と調査研究を行いながら、駅前周辺の交通混雑の緩和及びバリアフリー化により、駅周辺の利便性や街の活性化につながる基盤整備を引き続き進めていく。 布袋地区において、新しいまちづくり体制の組織化及び魅力あるまちづくりを目的とする地元住民による自主的なまちづくり活動を支援していく。

個別目標に対するまちづくり評価
江南駅前広場のシェルター設置を始め、布袋駅及び周辺の基盤整備により駅利用者の利便が図られ、これらの整備効果が駅乗降客数の増加につながった一因として考えられ、駅前としての活気ある賑わいにつながったように感じられた。 布袋駅付近鉄道高架化の早期完了をめざし、愛知県、鉄道事業者との調整により、遅滞のない事業進捗に努められるとともに、布袋駅の玄関にふさわしい、交通結節機能の充実した賑わいのある駅前広場づくりを進められたい。

個別目標③ 土地区画整理事業などが行われ、快適な住環境で生活を送っている

《H30担当課》都市計画課

指標名	土地区画整理事業の進捗率						主な事務事業
	単位	H21 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	93.3	93.3	93.4	93.4	・物件移転等補償事業
実績値		85.4	96.4	96.4	96.5	96.5	
達成率	%	—	103.3	103.3	103.3	103.3	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	事業への理解を深め、物件移転に協力した。
市役所	地権者の理解・協力のもと物件移転を完了した。

目標達成のための今後の展開方針
事業の早期完了のため、職員のスキルアップや情報収集を行い、換地処分に係る事務手続きの準備を進めるとともに、積極的に情報提供を行うことで関係者の協力を得ていく。

個別目標に対するまちづくり評価
鉄道高架化事業完了後速やかに、事業として残っている道路等の所要整備を実施し、換地処分により事業が早期に完了できるよう計画的な執行に努められたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

都市計画道路の整備によりネットワーク化が進むとともに安心・安全な歩行空間が確保され快適で暮らしやすいまちづくりにつながった。

また江南駅のバリアフリー化、布袋駅の鉄道高架化及び布袋南部土地地区画整理事業における基盤整備が進み、市民がこれらの状況を実際に見たり利用したりすることで満足度へつながり、引き続きこれらの取り組みを進めることが重要であることを認識した。

◆柱全体の今後の課題

多くの市民が利用する鉄道駅付近における基盤整備については、まちづくりを進める中で重要な役割を担っているため、社会情勢や財政状況等を踏まえ集中と選択をする中で、現在は布袋駅付近の整備を集中的に施行しており、江南駅付近の都市計画道路を始めとした基盤整備が遅れている状況である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

国の交付金制度を活用し、布袋駅付近鉄道高架化及び関連事業を集中的に整備を進め、その完成を見据えながら江南駅付近における基盤整備やその他の都市計画道路の整備に向け、地元との調整や現状を把握、調査し計画するなどの準備を進めることが必要である。

まちづくり評価シート

都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

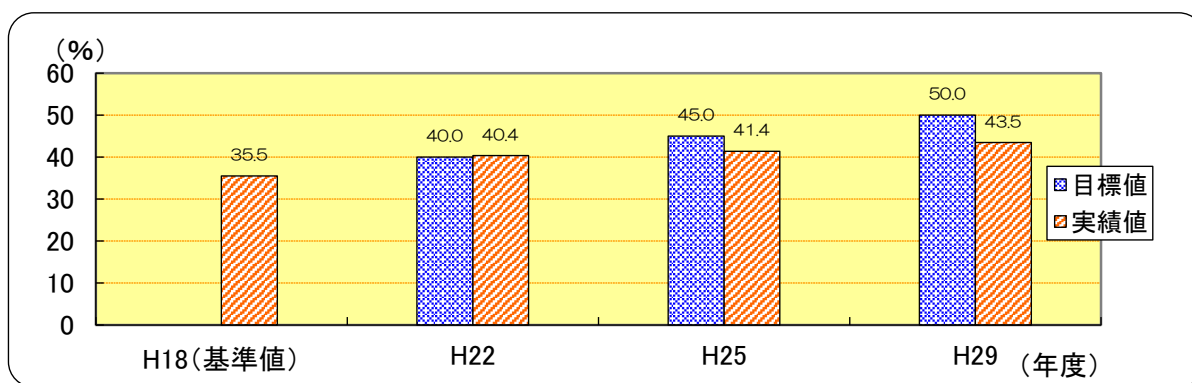
土木課【担う柱:2 人にやさしいまちづくり】

H30担当部・課 都市整備部(土木課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 道路が整備され、人や車が安全・快適に通行している

指標名	道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 市民が日常的に利用する道路を地元等の要望をもとに整備したことにより、概ね市民の満足度が得られたと考えられる。
目標値	%	—	50.0	
実績値	%	35.5	43.5	
達成率	%	—	87.0	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

道路が整備され、人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合が、目標値に達していないものの増加傾向にあることは評価できる。今後は、目標値を上回るように施策を進めることを願いたい。

個別目標① 道路などの財産が適切に管理され、快適に利用している

《H30担当課》土木課

指標名	市道のアダプト制度の登録者数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・アダプト・プログラム事業
目標値	人	—	710	780	870	940	
実績値	人	175	530	534	542	572	
達成率	%	—	74.6	68.5	62.3	60.9	
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	道路・河川に愛着をもち、積極的にアダプト活動に参加した。
市役所	広報こうなんでアダプト活動の紹介を行うことにより、道路・河川に愛着をもたせ、道路施設に対する意識の高揚を図った。アダプトプログラム懇談会に出席し、参加者との交流を図るとともに、活動に係る課題や提案等について意見交換を行った。

目標達成のための今後の展開方針

広報こうなん、市ホームページで、アダプト制度の紹介を行い、アダプトプログラムの登録者数の増員を図っていく。

個別目標に対するまちづくり評価

市民ボランティアによる環境美化活動を支援することにより、市民に地域の道路・河川などに愛着をもたせることができるので、広報こうなん等でPRを行い、アダプトプログラムの登録者数の増員を図るよう努めていただきたい。

個別目標② 道路、橋りょう、排水施設が整備され、円滑な通行が確保されている

《H30担当課》土木課

指標名		主要市道の歩道整備率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	72.0	73.0	74.0	75.0	・道路新設改良事業(市道後飛保和田線) ・道路新設改良事業(市道江南小牧線)
実績値		65.1	68.3	68.9	68.9	68.9	
達成率	%	—	94.9	94.4	93.1	91.9	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	区長等が歩道整備について市役所へ要望した。 地権者が用地買収及び物件移転補償に応じた。						
市役所	歩道整備に必要な道路用地を取得し、道路改良工事を施工した。						

《H30担当課》土木課

指標名		舗装整備率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	93.0	94.0	94.0	95.0	・道路側溝・舗装工事等事業
実績値		89.1	92.6	92.7	92.7	93.1	
達成率	%	—	99.6	98.6	98.6	98.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	区長等が舗装整備について市役所へ要望した。						
市役所	区長等の要望をもとに、整備の必要性や事業効果を勘案し、舗装工事を施工した。						

《H30担当課》土木課

指標名		道路案内標識設置数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	基	—	90	96	103	110	・道路側溝・舗装工事等事業
実績値		55	85	85	85	85	
達成率	%	—	94.4	88.5	82.5	77.3	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	区長等が、案内標識の設置について市役所へ要望した。						
市役所	区長等の要望をもとに、整備の必要性や事業効果を勘案し、道路案内標識を設置した。						

目標達成のための今後の展開方針

主要市道の歩道整備率向上のため、計画的・効率的な道路整備を実施する。
舗装整備率向上のため、整備の必要性や事業効果を勘案し、安全で安心できる道路づくりを推進する。
道路案内標識設置数については、道路利用者を安全かつスムーズに通行させるため計画的な整備を推進する。

個別目標に対するまちづくり評価

各指標について、目標達成のため様々な取組を実施しているが、目標を下回った。
市民が日常的に利用する道路であるため、今後は、目標値を上回るよう計画的・効率的に施策を推進していただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

市民ボランティアによる環境美化活動を支援することにより、市民により一層地域の道路・河川などに愛着を持たせることができ、環境美化に対する認識は高まってきたと思われる。また、パトロールや市民からの要望等により確認した箇所について限られた財源の中で、修繕など適切な措置を講じるとともに、必要性が高い路線を選定し道路を計画的に整備することができた。

◆柱全体の今後の課題

市民満足度調査により、道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合は、半数にも満たない約43.5%という結果である。

市民が日常的に利用する道路の安全性・利便性の向上に対するニーズが高まっていることを踏まえ、限られた財源においてより計画的、効率的な道路整備及び維持管理を行うことが大きな課題となる。

また、より質の高いサービスを提供するために財源の確保が必要となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

限られた財源の中で最大限の効果が得られるよう計画的・効率的な道路整備を実施する。

また、既存道路施設の老朽化対策のため維持管理費用の増大が予想されることから、定期点検により現状を把握し、中長期を見通した計画的な維持管理の実施により、コスト縮減・平準化を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。

まちづくり評価シート


都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

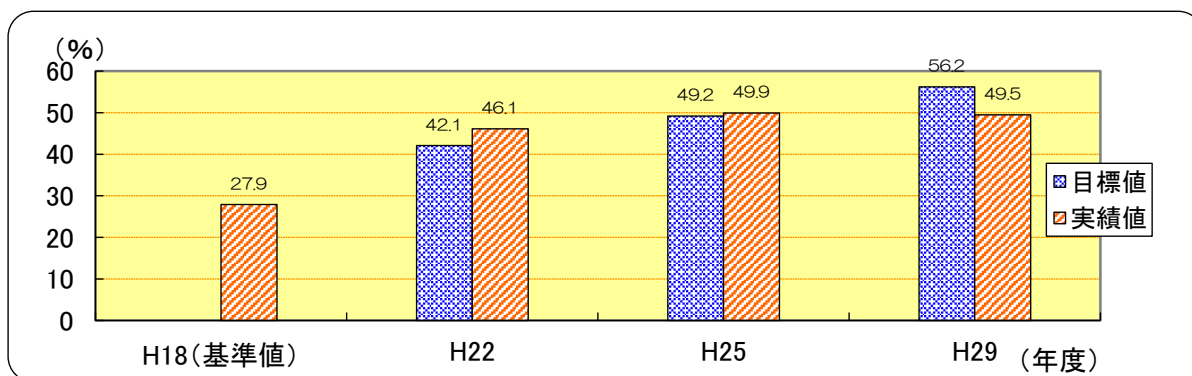
まちづくり課【担う柱:3 花と緑あふれる公園づくり】

H30担当部・課 都市整備部(都市計画課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 公園などが整備され、ゆとりとうるおいのある生活を送っている

指標名	ゆとりとうるおいのある生活を送っていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 以前は、フラワーパーク江南の開園や曼陀羅寺公園整備事業での藤の再生、遊歩道・サイクリングロードなどの整備により満足度は上昇傾向にあったが、近年は新規の公園整備が進んでおらず、目標値を下回った。
目標値	%	—	56.2	
実績値	%	27.9	49.5	
達成率	%	—	88.1	
達成状況	—	—		







全体目標に対するまちづくり評価

一人当たりの都市公園面積が全国平均を下回っている状況であり、特に市街地で公園が不足している状況であるため、今後も計画的な公園緑地の整備が求められる。

一方で、設置から年数が経過した公園施設が増加してきており、維持管理に係るコストも増加することが考えられる。安心・安全な公園施設を維持するための計画的な改修・更新を行っていく必要があると感じる。

個別目標① 都市公園等が整備され、日ごろから公園に歩いて行き、うるおいのある生活をしている

《H30担当課》都市計画課

指標名	市民1人当たりの都市公園面積						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・街区公園等整備事業 ・木曽川上流域整備促進事業
目標値	m ²	—	5.00	5.00	5.00	7.00	
実績値	m ²	2.52	3.77	3.84	3.89	3.90	
達成率	%	—	75.4	76.8	77.8	55.7	
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	都市公園等を集いの場や遊びの場として適正に利用した。
市役所	公園施設長寿命化計画等に基づき、遊具や園路の更新などの施設整備を行なった。 国土交通省や財務省へ、国営公園の整備促進について要望した。

目標達成のための今後の展開方針





用地確保などの困難な問題もあり、公園等の整備については厳しい状況ではあるが、江南市緑の基本計画に沿った計画的な整備を進める。
フラワーパーク江南のⅡ期エリアについては整備工事が着手されて進みつつあり、早期開園に向けて継続して国に働きかける。

個別目標に対するまちづくり評価

市民1人当たりの都市公園面積は徐々に増加しているものの、国や県と比較して少ない状況に変化はなく、地域バランスのとれた身近な都市公園の設置に対する市民ニーズは高い。
今後も、江南市緑の基本計画に沿って、計画的に都市公園の整備を進めていくようお願いしたい。

個別目標② 都市緑化が推進され、うるおいとゆとりのある生活を送っている

《H30担当課》都市計画課

指標名	花いっぱい運動実施箇所数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	箇所	—	33	33	33	34	・緑化推進事業 ・江南花卉園芸公園イベント実行委員会補助金交付事業
実績値		25	34	34	33	32	
達成率	%	—	103.0	103.0	100.0	94.1	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	花壇やプランターなどに植栽して花を育て、花いっぱいコンクールに応募した。 緑の募金運動や花いっぱい運動に協力し、募金や花の植栽、水やり・除草などに参加した。 シンボルツリーの配付を受けて樹木を植栽し、自宅などの緑化を推進した。 保全地区等指定補助金の交付を受けて、保全地区等の樹木を適切に管理した。						
市役所	市内の公道に面した場所で、道行く人々に安らぎを与え、明るく楽しい街かどをつくりだしている花壇等に対するコンクールを開催した。 花いっぱい運動で花苗及び必要に応じて培養土や肥料を配付した。 江南市緑の基本計画における施策「樹木の配布による緑化の支援の充実」のため、シンボルツリー配付事業を実施した。						

目標達成のための今後の展開方針





花いっぱい運動やシンボルツリー配付などの緑化の取り組みや緑化補助金の活用などのさらなる普及を目指し、積極的なPRに努め、申請件数の増加を図る。
江南花卉園芸公園イベント実行委員会への補助金交付は、イベントで年々入園者数が増加することで、花卉園芸公園を通して緑化への関心が深まるとともに、公園の区域拡大を促進する効果も見込めるため、継続していく。

個別目標に対するまちづくり評価

花いっぱい運動実施箇所数は横ばいの状態が続いているが、新たな花壇の整備などは用地確保の問題もあり困難な状況のため、箇所数の大幅な増加は望めない。今後は、現在行っている箇所数を維持していく方を検討していくことも必要である。
花いっぱいコンクール、都市緑化推進事業補助金、シンボルツリーの配付、保全地区等指定補助金などについては、参加・申請件数の増加に向けて、より積極的なPRをしていく必要がある。

個別目標③ 地域で維持管理される公園・緑地等が増え、適切に利用されている

《H30担当課》都市計画課

指標名		地域で管理されている公園緑地などの数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	箇所	—	34	34	34	35	公園等維持管理事業
実績値		28	35	35	43	43	
達成率		%	—	102.9	102.9	126.5	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	公園等の清掃を地元区として市から受託し、地元のつどい場として適切に利用した。地元にある公園などの清掃・除草が地元区でできないか検討した。						
市役所	公園等が安心・安全に利用できるよう施設の点検を行い、不良箇所の適切な対応に努めた。公園等の清掃・除草などの委託について地元区と協議した。						

目標達成のための今後の展開方針

新規の公園等について、地元委託に向けての協議を行っていくとともに、既存の市管理の公園等について、地元の意向を確認しながら地元委託を進めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

地元区等に清掃委託している公園等の数は、目標値を上回っていて評価できる。既に市からシルバー人材センターへ清掃委託している公園等の清掃・除草を地元区に依頼するのは難しい面があるが、タイミングを捉えて地元の意向を聞きながら進めることを努力されたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

中央公園園路等の改修や蘇南公園園路のバリアフリー化、公園・児童遊園などのフェンスの改修等を施工し、公園などの整備を図った。
都市公園である国営木曽三川公園フラワーパーク江南の開園区域が拡大し、公園等の充実を図ることができた。
花いっぱいコンクール、花いっぱい運動、シンボルツリー配付事業、都市緑化推進事業により、市民の緑化意識は高まった。

◆柱全体の今後の課題

今後の都市公園の整備については厳しい状況にあるが、平成29年度、30年度において策定する次期江南市緑の基本計画において具体的な基本方針を定め、計画的に整備を進める必要がある。
花いっぱいコンクールや花いっぱい運動のさらなる普及に努め、市民の緑化意識の高揚を図る必要がある。
新規に設置する公園等について、地元で清掃委託できるよう地元区と協議を進めながら整備していく必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

今後の都市公園の整備については、次期江南市緑の基本計画に沿って整備を進めるとともに、フラワーパーク江南Ⅱ期エリアの早期開園について要望活動を行い、都市公園面積の増加を図る。
策定した都市公園施設長寿命化計画により、計画的な改修・更新を進める。
新規に設置する公園等については、地元で清掃委託できるよう地元区と協議を進めながら整備する。

まちづくり評価シート

水道部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

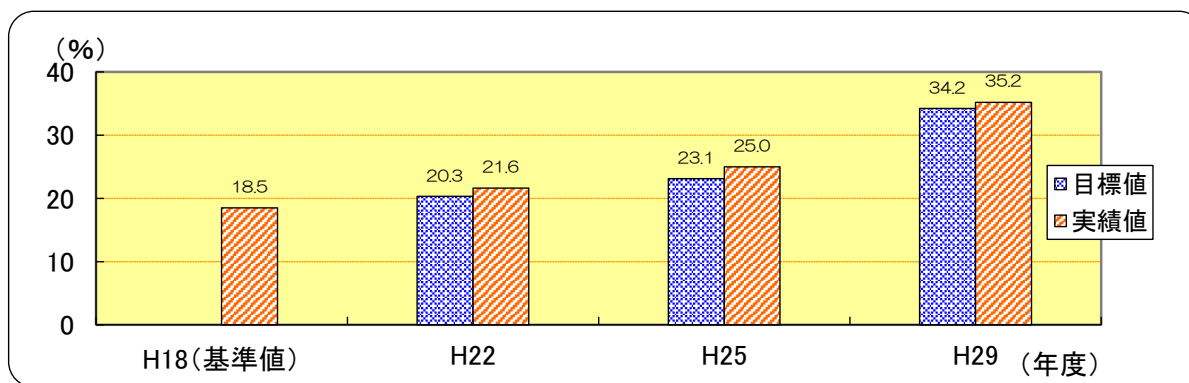
下水道課【担う柱:4 公共下水道の普及促進】

H30担当部・課 水道部(下水道課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 下水道が整備され、快適な水環境のもとで生活している

指標名	下水道普及率			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H29	
目標値	%	—	34.2	市民の清潔で快適な生活環境の向上のため下水道整備促進に努め、目標を達成した。
実績値		18.5	35.2	
達成率	%	—	102.9	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

下水道普及率の実績値(平成29年度)は35.2%で目標値を達成することができたが、県下における下水道普及率78.0%(平成29年度)に比べると大きく遅れている。今後は更に事業の進捗を図り、下水道普及率を向上させる必要がある。

個別目標① 下水道使用料、受益者負担金の収納率が向上し、健全で安定した下水道事業が運営されている

《H30担当課》下水道課

指標名	下水道使用料の収納率(現年度)						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	↑	↑	↑	↑	・下水道使用料賦課徴収事業
実績値		98.9	99.5	99.6	99.7	99.7	
達成率	%	—	100.6	100.7	100.8	100.8	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	下水道使用料を期限内に納付した。
市役所	下水道使用料のコンビニ収納を導入し、納付機会の拡大により納付者の利便性を高めながら納期限内納付を推進し収納率の向上を図った。

指標名		受益者負担金の収納率(現年度)					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値		—	↑	↑	↑	↑	・受益者負担金賦課徴収事業
実績値	%	98.8	99.3	99.4	99.2	99.8	
達成率	%	—	100.5	100.6	100.4	101.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	下水道受益者負担金を期限内に納付した。						
市役所	受益者負担金の徴収及び啓発活動に努めた。						

目標達成のための今後の展開方針





下水道使用料については、コンビニ収納等により納付者の利便性を高めながら納期内納付を推進し収納率の向上を図る。受益者負担金の収納率を向上させるために、供用開始説明会や市民まつり等イベントの折に受益者負担金に対する理解を得られるよう努力する。滞納者や未接続者に対しては戸別訪問を行い、下水道事業への理解を求めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

下水道使用料、受益者負担金の適切な徴収は、事業の健全な経営及び住民間の公平性の確保につながる。今後もさらなる取り組みが必要である。

個別目標② 下水道が整備され、生活環境が向上している

指標名		市街化区域内の整備率					
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値		—	56.6	58.4	65.6	72.6	・管きよ布設事業
実績値	%	39.8	56.5	58.4	65.6	72.5	
達成率	%	—	99.8	100.0	100.0	99.9	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	下水道工事説明会に参加し、下水道管の埋設工事に対し理解した。						
市役所	整備地区の全世帯を対象に工事説明会を開催し、パワーポイントを用いるなどわかりやすく説明を行った。設計書の積算、工事現場の監督業務等を行い、住民生活への配慮を図りながら下水道整備区域の拡大を進めた。						

指標名		供用開始区域内の接続率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	85.0	88.0	91.0	93.0	・排水設備関連事業
実績値		67.3	86.0	90.0	90.9	91.0	
達成率		—	101.2	102.3	99.9	97.8	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	自然環境への効果等下水道の役割、必要性の理解を深めた。 下水道への接続を行った。						
市役所	職員が未接続宅を個別訪問し、下水道の必要性を説明し、早期の接続依頼を行った。 排水設備の申請を受け付け、書類審査、補助金交付、検査等一連の事務を行った。						

目標達成のための今後の展開方針

早期の普及率増大のため下水道の面整備を重点的に進め、費用対効果の高い事業を進めていく。
未接続宅の早期接続を促すため、供用開始後の訪問を早期に実施していく。

個別目標に対するまちづくり評価

江南市の下水道事業は、五条川右岸流域下水道事業として進められ、他の構成市町の事業進捗も考慮し事業を進めていく必要がある。厳しい財政状況下ではあるが、普及率向上のため早期整備が必要と考えられる。下水道事業は都市基盤施設のひとつであり、河川環境の保全を第一の目標としている。環境問題が高まるなか、市民の環境への意識も高まりつつあり、早期に事業を進める必要がある。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

平成26年度は26.8ha、平成27年度は28.1ha、平成28年度は53.0ha、平成29年度は50.6haの区域を整備し、平成30年3月31日現在546.6haが下水道を使える区域になっている。

◆柱全体の今後の課題

平成29年度末の江南市下水道普及率35.2%は県下の供用開始市町において下位となっており、愛知県の普及率78.0%(名古屋市を除くと68.7%)や、全国平均の78.8%と比べると大きく遅れている。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

江南市の下水道普及率は県等の平均と比べて低い水準である。事業の進捗を図るため、複数年一括発注等のコスト縮減の取り組みを進め、費用対効果の高い手法を用いた整備を推進し、下水道普及率の向上に努めると共に、未接続宅の早期接続を促し下水道使用料の収納率の向上を図るなど下水道事業の健全な経営に努めたい。

まちづくり評価シート

都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】


土木課【担う柱:5 浸水被害のないまちづくり】

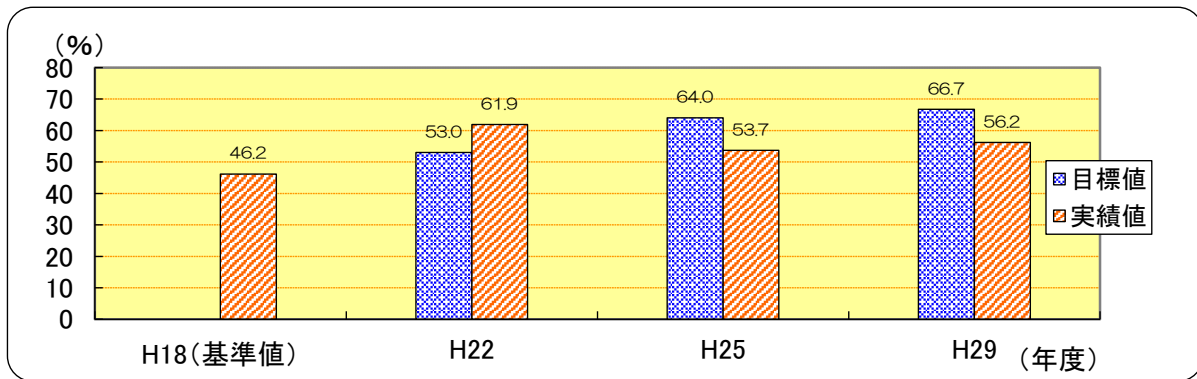
H30担当部・課

水道部(下水道課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 河川等が整備され浸水被害に遭うことなく、安心して暮らしている

指標名	河川が整備され、安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 雨水貯留浸透施設設置費等の補助率を見直すとともに公共施設への雨水貯留施設を整備するなどの治水対策を実施してきたが、近年のゲリラ豪雨などにより、市民の浸水被害に対する不安が増大したことから、目標値を下回ったと考えられる。
目標値	%	—	66.7	
実績値	%	46.2	56.2	
達成率	%	—	84.3	
達成状況	—	—		







全体目標に対するまちづくり評価

平成22年3月に策定された河川・排水路対策、流域対策及び浸水被害軽減対策等を含めた第3次江南市総合治水計画に基づき、公共施設への雨水貯留施設の整備を進めているが、今後の整備状況や進捗率が、この先の評価に現れると考えられる。

また、平成24年度に補助率が見直された雨水貯留浸透施設設置費補助制度及び浸水防止施設設置費補助制度を市民の方により一層周知してもらいたい。

個別目標① 河川等の改修整備と雨水抑制機能が強化され、浸水被害が軽減している





《H30担当課》下水道課

指標名	準用河川般若川改修率						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	準用河川般若川改修事業
実績値	%	86.0	92.0	92.0	92.0	92.0	
達成率	%	—	92.0	92.0	92.0	92.0	
達成状況	—	—					





取り組みの状況

市民	
市役所	一部未改修の区間について、般若川の下流地域の状況をみながら、改修を検討した。

《H30担当課》下水道課

指標名		雨水貯留浸透施設設置費補助金申請件数					
	単位	H22 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	200	200	200	200	・雨水抑制事業
実績値		52	166	123	110	46	
達成率		%	—	83.0	61.5	55.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	補助金の申請件数46件、雨水浸透柵口径350mm2基、300mm5基、雨水貯留槽(雨水タンク)48基、浸透防止施設134.5mを設置した。						
市役所	雨水貯留浸透施設(雨水浸透柵、雨水貯留槽、浸透トレンチ、透水性舗装)を設置するお願いを広報やホームページを通じてPRし、また、建築確認の段階で設置のお願い文書を送付した。						

《H30担当課》下水道課

指標名		雨水浸透柵設置数					
	単位	H21 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	基	—	115	115	115	115	・雨水抑制事業
実績値		115	13	8	2	7	
達成率		%	—	11.3	7.0	1.7	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	補助金制度を利用して雨水浸透柵口径350mm2基、300mm5基を設置した。						
市役所	雨水貯留浸透施設(雨水浸透柵、雨水貯留槽、浸透トレンチ、透水性舗装)を設置するお願いを広報やホームページを通じてPRし、また、建築確認の段階で設置のお願い文書を送付した。						

目標達成のための今後の展開方針

浸水被害の軽減に有効な手段である雨水貯留浸透施設の設置について、行政事業レビューの指摘精査により、今まで以上のPR活動を行い、より一層設置してもらえるよう努めていく。また近年ゲリラ豪雨などによる浸水被害が多く発生することにより治水対策のニーズが高まっており、第3次江南市総合治水計画に基づく公共施設への雨水貯留施設建設を進めていく。平成28年度では山尻町地内に雨水貯留施設建設を完成した。今後は次の候補地となる公共施設及び関係機関と協議を進めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

雨水貯留槽の設置は、順調に伸びているようだが、浸透トレンチや透水性舗装、雨水浸透柵の設置は伸び悩んでいるようなので、今後もPRを続け設置者が増加するよう努力されたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

平成24年度に雨水貯留浸透施設設置費補助金交付要綱及び浸水防止施設設置費補助金交付要綱を改正し、補助率を4分の3から10分の9に引き上げたことにより、市民がより利用しやすい補助金制度とした。また、第3次江南市総合治水計画に基づき、公共施設に雨水貯留施設を整備したことにより、豪雨災害による被害の軽減を図ることができた。

◆柱全体の今後の課題

第3次江南市総合治水計画に基づき、ひきつづき公共施設への雨水貯留施設の整備を進めるにあたり、効率的・効果的に実施していくかが課題となる。雨水貯留槽、浸透柵、浸透トレンチ及び透水性舗装の雨水貯留浸透施設や浸水防止施設の設置普及に努めるにあたり、広報こうなんや市ホームページのほか、いかに広く市民にPRしていくかが課題となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

第3次江南市総合治水計画で示している重点地区の中で、緊急度の高い地区から順に雨水貯留施設を設置し浸水被害の軽減に努めていくとともに、市民が担う治水対策となる雨水貯留浸透施設や浸水防止施設の設置を普及するためより一層のPRに努める。

まちづくり評価シート

都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

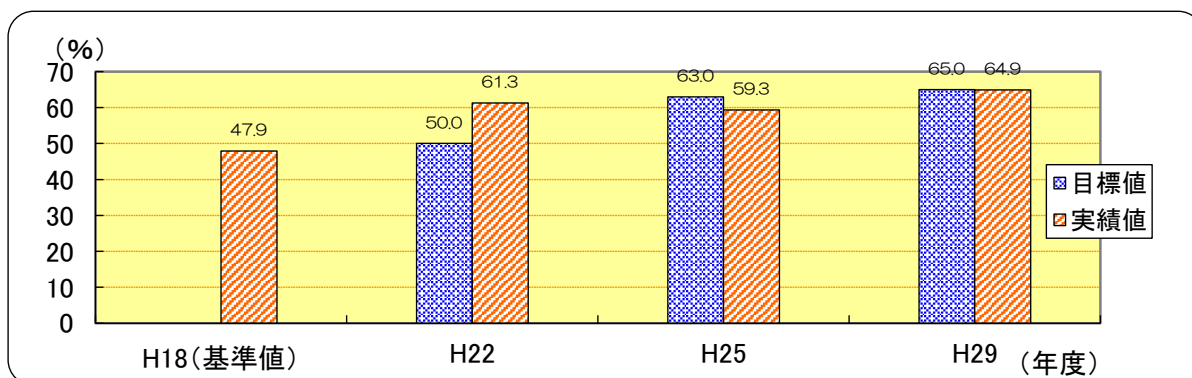
建築課【担う柱:6 安心・安全な住環境の確保】

H30担当部・課 都市整備部(建築課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析
目標値	%	—	65.0	建築士などと協働により建築パトロールを行ったことや、適切な開発指導を行うことにより、民間開発区域内に適正な道路・緑地等が整備され、周辺的生活環境が保たれたことが評価されたと考えられる。
実績値		47.9	64.9	
達成率	%	—	99.8	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合は、64.9%を得ており、おおむね年度目標を達成している。空き家問題や地震に対する市民の関心が高まる中、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、建物の耐震化の促進と、減災化の対策についても更なる検討をしていただき、さらに民間の建築開発等指導員との協働により違反建築パトロールを実施するなど、施策の推進をお願いしたい。





個別目標① 建築指導及び開発指導の民間組織との協働での取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている





《H30担当課》建築課

指標名	開発許可や建築許可に対する指導件数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	260	260	260	260	・開発行為指導事業
実績値		265	190	203	271	239	
達成率	%	—	136.8	128.1	95.9	108.8	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	都市計画法の開発行為等に関する許可基準に照らし、地域にあった健全なまちづくりに協力している。
市役所	都市計画法の開発行為等に関する許可基準に照らし、民間活力による安心で安全なまちづくりの指導に努めた。

《H30担当課》建築課							
指標名	民間での建築確認割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	94.0	95.0	96.0	97.0	・建築確認審査等事業
実績値		84.4	97.5	98.6	99.1	99.0	
達成率		—	103.7	103.8	103.2	102.1	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	愛知県と愛知県から委嘱された建築開発等指導員(市内建築士)と協働で違反建築物防止のため、建築現場をパトロールした。						
市役所	民間組織での建築確認をチェックし、定期的に建築現場をパトロールした。						

《H30担当課》建築課							
指標名	耐震診断の診断実施済棟数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	棟	—	3,250	3,500	3,750	4,000	・民間木造住宅耐震診断事業 ・民間木造住宅耐震補強事業
実績値		798	2,486	2,521	2,580	2,607	
達成率		—	76.5	72.0	68.8	65.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	昭和55年以前の建物であるため、耐震診断を行った。						
市役所	啓発パンフレットを用いて、耐震化の意識啓発を行った。						

目標達成のための今後の展開方針

開発許可や建築許可については、法令・許可基準に照らし合わせ適切に指導していく。また、既存コミュニティの維持や、定住人口の確保及び地域の活性化を図るために、江南市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例に基づき事務を遂行していく。

民間での建築確認件数の割合は、近年はほぼ横ばいとなっているが、建築基準法に規定する限定特定行政庁として、法令に基づき、民間組織への適正な指導を引き続き行っていく。

耐震診断の診断実施済棟数については、従来から行っている情報提供、啓発、普及活動に加えて、区域や対象者を限定した直接訪問によるPR等の新たな手法を検討する。





空き家対策については、空き家等対策計画を策定し、総合的かつ計画的に推進する。

個別目標に対するまちづくり評価

建築指導及び開発指導並びに木造住宅耐震化の促進に対する民間組織との協働での取り組みにより、住民の安心・安全への意識啓発を図る努力は評価できる。さらに安心・安全な住環境を確保できるよう、民間組織と連携を図り、効果的な建築・開発指導等をお願いしたい。

個別目標② 市営住宅は、住民による施設運営への参加により、安心・安全な生活環境が確保されている

《H30担当課》建築課

指標名	適切に整備・維持管理がなされている市営住宅の住宅戸数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	戸	—	153	153	153	153	・住宅維持・管理事務 ・市営住宅長寿命化事業 ・住宅賃貸事務
実績値		153	153	153	153	153	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	施設維持管理(共用部分の清掃、低木の剪定・消毒、草刈り)を自治会で行った。 自治会等で市営住宅の注意事項を確認した。						
市役所	住宅設備の保守点検や維持管理及び各種必要な修繕を行った。 広報こうなん等で空き家募集を行い住宅供給を行った。 公営住宅等長寿命化計画に基づき屋根・外壁等改修工事を行った。						

目標達成のための今後の展開方針

市営住宅の長寿命化事業としては、計画に基づき外壁等の改修を定期的に行うこととし、必要な設備改修などについても退去時に行うよう実施していく。また、入居者に対して共同住宅における注意事項についても自治会と連携して周知を図っていく。

個別目標に対するまちづくり評価

入居者が健康で文化的な生活を送るために、施設の維持管理に努めていることは評価できる。今後も公営住宅の入居希望者は継続的な需要があると思われる、市民への市営住宅を含めた公営住宅の募集案内などの情報提供をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

愛知県建築指導課・廃棄物対策課や建築士の協力を得て、パトロールを実施し、建築現場や建物解体現場で、適正な指導をすることができた。耐震改修補助については、減災化及び高齢者、障害者等災害時における避難弱者への対応を目的とした、シェルター整備費に対して補助を行った。また、市内全域の空家等実態調査を実施し、市内の空き家の実態を把握することができた。

◆柱全体の今後の課題

適切な管理が行われていない空き家が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることや、増加が予想される空き家の利活用の促進が課題となる。耐震化の必要な木造住宅について、耐震事業の申込件数が伸び悩んでいる。開発行為指導については、コンパクトシティを意識すると同時に、高齢化社会に向けて、既存コミュニティの維持や、定住人口の確保及び地域の活性化が課題となる。市営住宅については、建物が老朽化しているため、計画的な修繕が必要であり、将来的な市営住宅の役割について検討が必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

安心・安全な住環境を確保するため、耐震化の必要な木造住宅について、耐震化率の向上に向けてのさらなる施策を検討する必要がある。空き家対策については、空家等対策計画を策定し、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進する必要がある。市営住宅については、現在行っている外壁改修及び屋上防水工事等の長寿命化を図る修繕計画を進めるとともに、市営住宅の適切な運営のために入居者が契約内容・注意事項を遵守するよう努める。また高齢化や人口減少等の社会情勢の変化を注視しつつ、市営住宅の建替え又は民間住宅の借り上げ等、将来的な方向性について検討する必要がある。

まちづくり評価シート

水道部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

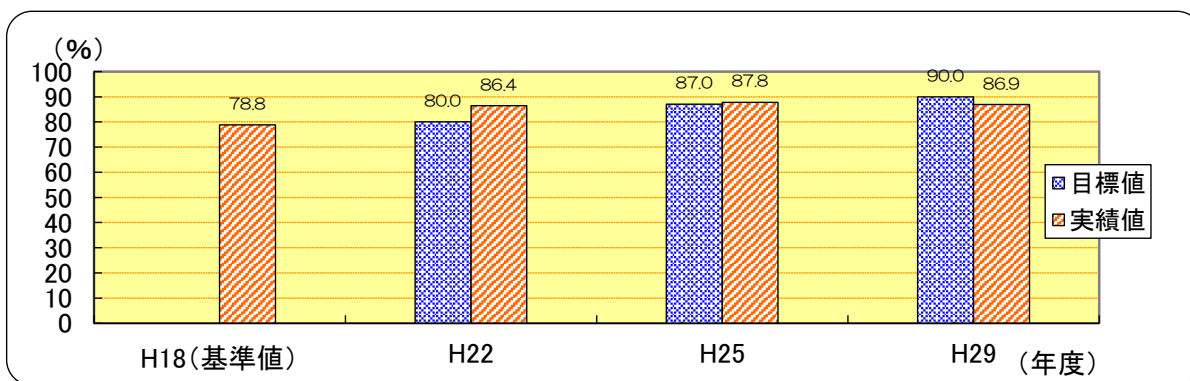
水道課【担う柱:7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給】

H30担当部・課 水道部(水道課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 健全な経営と水道施設の整備が行われ安全な水道水が安定的に供給され、市民は安心して利用している

指標名	安全な水が安定して供給されていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 安心・安全な水の安定供給により、大規模断水や水質事故などによる不便を感じることなく水道の利用ができたことから、市民満足度調査では目標値を下回るものの達成率96.6%となり、達成状況としては晴れマークとなった。
目標値	%	—	90.0	
実績値	%	78.8	86.9	
達成率	%	—	96.6	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

市民満足度調査結果においては、「安全な水の安定供給」に対して約87%の市民が満足している。水需要の減少にともない給水収益が低下する中で、大規模災害にも高いレベルで対応できる強靱なインフラであることが求められている。
持続可能な健全経営と水道施設の耐震化が必要とされ、基幹管路を含めた配水管の耐震化と併せ、老朽管等の更新を計画的に進めるとともに、水道事業が健全経営できるよう水道事業経営のあり方について十分に検討されたい。

個別目標① 水道事業が適正に運営され、健全な経営が行われている

《H30担当課》水道課

指標名	水道料金の収入率(現年度)						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・水道料金賦課等事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	↑	
実績値	%	98.4	99.5	99.7	99.7	99.7	
達成率	%	—	101.1	101.3	101.3	101.3	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	水道料金の早期納付に努めた。
市役所	市民のライフスタイルの多様化に対応するため、終日払込みが可能なコンビニエンスストアでの納入を平成21年4月1日より開始し、利便性が向上した。

《H30担当課》水道課

指標名		総収支比率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	106.2	106.2	106.2	106.2	・企業会計管理事業 ・職員給与管理事業
実績値		109.7	108.4	112.7	112.7	108.1	
達成率		—	102.1	106.1	106.1	101.8	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	水道料金の支払いに際し、収納コストの安い口座振替を利用した。						
市役所	給水収益が減少するなか、業務委託による事務の効率化などにより経費を削減し、利益を確保した。 財政推計により計画的に事業を執行した。						

《H30担当課》水道課

指標名		水道普及率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	89.2	92.5	93.0	93.5	・簡易水道事業
実績値		88.8	93.5	93.8	93.9	94.1	
達成率		—	104.8	101.4	101.0	100.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市水道事業への統合に向け、簡易水道組合で意見、要望を調整し合意した。						
市役所	厚生労働省からの事業変更認可に基づき、簡易水道事業を平成26年10月1日に統合した。						

目標達成のための今後の展開方針

有収水量の減少や老朽化した施設の更新に向けた財源の確保などさまざまな課題を抱えている中、健全かつ安定的な水道事業経営を継続するため、経営状況を把握・分析し、将来予測の精査・見直しを行ったうえで、実現可能な財政計画として経営戦略を策定する。
収入率の向上及び安定化のため、口座振替の利用促進に努める。
水道事業の経営基盤強化と適正かつ効率的な経営を維持するため、江南市水道事業経営審議会において水道料金のあり方を含む経営方針等について継続的に審議する。

個別目標に対するまちづくり評価

安定的・効率的な事業を継続していくためには、施設の更新に向けた財源の確保が必要である。
水道事業の健全経営のため、経営効率化と高い収入率による公平性の確保に努められたい。

個別目標② 水道施設が整備され、安定した水道水が供給されている

《H30担当課》水道課

指標名 配水管改良整備率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	79.9	81.0	82.4	83.9	・配水管布設・改良事業
実績値		72.1	80.3	81.8	83.2	84.4	
達成率		—	100.5	101.0	101.0	100.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	配水管路に係る濁水発生などの情報を提供した。						
市役所	配水管路の状況を把握し、第2次配水管改良計画(H18～H27)及び第3次配水管改良計画(H28～H37)に基づき、配水管布設・改良工事を実施した。						

《H30担当課》水道課

指標名 地下水の許可揚水量活用率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	98.0	98.0	98.0	98.0	・施設維持管理事業 ・取水、配水事業
実績値		93.8	90.9	96.1	92.3	90.0	
達成率		—	92.8	98.1	94.2	91.8	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	地下水の水質を悪化させないよう、環境に配慮した。						
市役所	取水井の水中ポンプの入替工事をするとともに、井戸の浚渫を実施することにより、地下水揚水量の低下を防止した。						

《H30担当課》水道課

指標名 有収率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	93.0	94.0	94.1	94.2	・配水管布設替事業 ・配水管等維持管理事業
実績値		91.4	92.8	93.5	93.5	93.8	
達成率		—	99.8	99.5	99.4	99.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	道路上など漏水箇所に係る情報を提供した。 宅内において、漏水箇所の発見後速やかに修理を行った。						
市役所	配水管改良計画に基づき、老朽管等の布設替えを行うことにより配水管からの漏水を予防し、発見された漏水箇所については速やかに修理した。 メーター検針時に、使用水量の変化と量水器の動作確認を行い、漏水の疑いがある場合には、水道使用者へお知らせを実施することにより、速やかな漏水への対応を促した。						

指標名		基幹管路更新整備率					
	単位	H28 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	—	—	—	3.6	・基幹管路更新事業
実績値		0.0	—	—	—	1.4	
達成率		—	—	—	—	38.9	
達成状況	—	—	—	—	—	↑	
取り組みの状況							
市民	基幹管路更新事業にあたり、管路の老朽度や耐震適合性等について理解を深め、事業の必要性を認識した。						
市役所	第1次基幹管路更新計画(H26～H43)に基づき、平成29年度より工事に着手し、平成31、32年度工事計画区間の測量設計委託を実施した。						

目標達成のための今後の展開方針	
<p>基幹管路について、第1次基幹管路更新計画(H26～H43)に基づき、平成29年度から重要給水施設に繋がる管路ルートの更新を進めていく。</p> <p>配水支管について、第3次配水管改良計画(H28～H37)に基づき、平成28年度から引続き老朽管等の更新を進めるとともに、重要給水施設に繋がる管路ルートの更新も進めていく。</p> <p>地下水の有効利用について、引続き浚渫を行うことにより揚水能力の維持向上に努めるとともに、揚水規制の範囲内で各水源の取水量の調整を図る。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>安全な水道水の安定供給を維持していくためには、水道施設整備の充実が必要である。</p> <p>想定される地震に対応するため、耐震性のある材料の使用を積極的に進められるとともに、事業継続計画(BCP)に基づく事前対策を実施されたい。</p> <p>地下水の有効利用については、依然として揚水量が低下傾向であるため、浚渫に合わせて薬品洗浄を実施し、さらなる地下水の有効利用に努められたい。</p> <p>未改良管の更新工事を行い、有収率の向上に努められたい。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
<p>節水機器の普及、水需要の低下により給水収益が減少する中で、業務委託による事務の効率化などにより利益を確保し、安定した経営状況を維持することができた。</p> <p>収入率の向上をめざし、手数料が安価な口座振替による納付を推進し、コンビニ収納による利便性と併せて高い収入率を確保することができた。</p> <p>配水管改良計画に基づく工事などの実施により有収率を改善するとともに、定期的な取水井浚渫により井戸の保全に努めることで、揚水能力の低下を防止することができた。</p>

◆柱全体の今後の課題
<p>水需要の低迷、老朽施設の更新、法的要求事項の高度化など、水を取り巻く厳しい社会情勢のなか、量の充足からより安全でおいしい水の安定供給、及び大規模地震などを想定した危機管理体制の充実など、水道事業に求められるものは多種多様である。</p> <p>こうしたなか、適切な事業計画に基づく健全な財政運営が引き続き求められる。</p>

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
<p>有収水量の減少、基幹管路等の施設の更新に向けた財源の確保、サービス水準の向上などさまざまな課題を抱えている。</p> <p>今後、安定的・効率的な事業を継続していくために、適正な定員管理や積極的な情報開示とともに、的確な需要予測に基づく計画性・透明性の高い企業経営を推進する。</p>

IV 教育分野

次世代の社会を担う豊かな人間性と学力をもった子どもが育っているとともに、市民が生涯にわたり学び、それを地域社会に活かしている。

柱1 地域に開かれた快適で安全な学校づくり【学校教育】

学校・家庭・地域が協力した体制のもとで児童・生徒をはぐくみ、快適で安全な教育環境、体制の中で子どもがのびのびと学習している。

柱2 将来にわたって活躍できる人づくり【教育環境】

良好な教育環境が構築され、青少年の健全な育成が図られている。

柱3 生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり【生涯学習】

市民が生涯にわたって学習し、その能力を発揮する環境が整っている。

柱4 豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実【文化・交流】

市民の文化活動や国内外の交流活動が活発に行われ、伝統文化を培いながら心豊かな生活を送っている。

まちづくり評価シート


教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

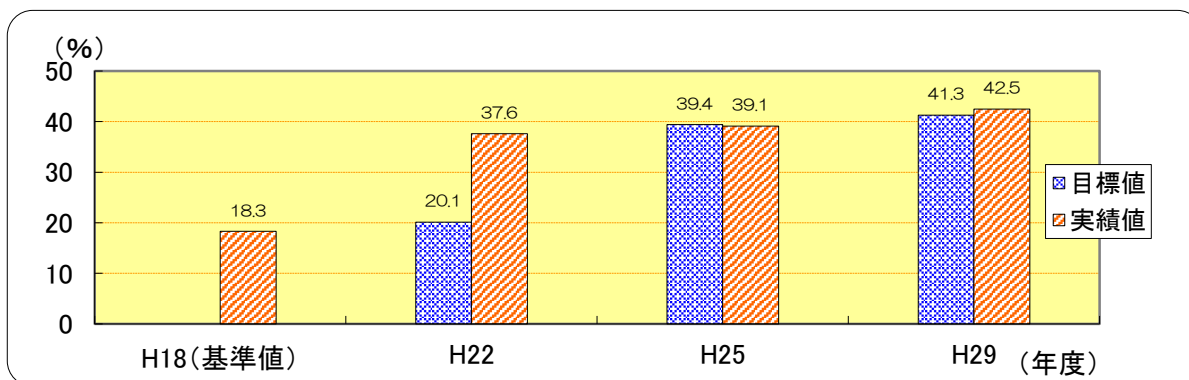
教育課【担う柱:1 地域に開かれた快適で安全な学校づくり】

H30担当部・課	教育部(教育課)
	こども未来部(保育課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 学校・家庭・地域との関わりの中で、児童・生徒が自ら学ぶ力を持ち、心豊かにいきいきと育っている

指標名	学校・家庭・地域の協力により、子ども一人ひとりに学力、体力、社会性、人間性が身についていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析
目標値	%	—	41.3	学校補助教員や特別支援学級等支援職員を配置し、少人数指導やチームティーチングを実施することにより、児童・生徒が個々の学習状況にあった、きめ細かな指導や支援を行うことができた。また、学校施設や設備の整備、校舎の改修工事やプールの改修工事を実施したことにより、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組むことができた。平成29年4月に実施した、市民満足度調査結果は42.5%となり、達成状況は晴れマークで、目標を達成することができた。一方地域の人にあいさつする児童・生徒の割合は微増に止まり、目標値を達成できなかった。また、登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合は低くなっており、正しい食習慣を身につけ健康に育つように、食育指導にも一層力を入れ、今後も達成率を向上できるように努めていく。
実績値		18.3	42.5	
達成率	—	102.9		
達成状況	—	—		







全体目標に対するまちづくり評価

平成29年4月に実施した市民満足度調査結果は42.5%となり、目標を達成することができた。しかし、地域の人にあいさつする児童・生徒の割合や、登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合は依然として改善が必要であり、今後も学校・地域・家庭が連携し、子どもたちの社会性、人間性を育てていく取り組みをしていただきたい。学校は一般的に閉鎖的になりやすいので、学校運営協議会の設置を推進し、学校・家庭・地域が力を合わせて学校運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」を進めていただきたい。

個別目標① 児童・生徒が心身共に健康な状態で、適切な教育を受けている

《H30担当課》教育課

指標名	学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	95.0	96.0	98.0	100.0	・学校補助教員配置事業 ・養護教諭配置事業 ・英語指導助手(ALT)配置事業 ・就学指導事業
実績値		85.0	82.9	84.4	85.3	85.2	
達成率		—	87.3	87.9	87.0	85.2	
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	保護者等は、学校からの情報提供や教育相談により、子どもの興味や発達状況に合った教育を受けさせた。
市役所	少人数指導やチームティーチングの実施により、児童生徒が個々の学習状況にあった指導や支援を受けることができる体制をとった。

指標名 特別支援学級等支援職員配置人数							
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	15	16	18	20	・特別支援学級等支援職員配置事業
実績値		8	17	17	19	19	
達成率		%	—	113.3	106.3	105.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	一宮児童相談センター、一宮東特別支援学校、市役所(子育て支援課)などの関係機関との交流や情報を確認しつつ、家庭での学習や正しい生活習慣を身につけた。						
市役所	情緒障害、多動性障害等の児童生徒の教育支援を行ったことにより、教育内容を高めることができた。						

目標達成のための今後の展開方針							
<p>補助教員の配置については、各学校の学級数により、適正な職員配置を図っていくことが必要である。教員一人ひとりの授業力向上を図るため、教師力向上セミナー等を利用し、指導助言を行うことが必要である。特別支援学級等支援職員や養護教諭の配置については、学校の実情を調査しながら、適正な配置を図っていくことが必要である。</p>							

個別目標に対するまちづくり評価							
<p>発達障害のある児童生徒の教育ニーズにきめ細かく応え、授業を正常に運営するため支援職員の増員が必要であるので、この点についての検討をさらに進めていただきたい。</p>							

個別目標② 学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性がはぐくまれている

指標名 地域の人にあいさつする児童・生徒の割合							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	94.0	96.0	98.0	100.0	・生徒指導推進事業
実績値		80.2	82.9	84.2	83.9	86.2	
達成率		%	—	88.2	87.7	85.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	地域の子どもたちに目を向け、非行に走らないように声かけをしたり、あいさつを交わしたりしながら、互いの信頼関係を築いた。						
市役所	啓発・情報交換・実践活動等により、中学校区を単位として学校・家庭・地域が連携を図り、非行防止等を啓発した。						

指標名 職場体験学習生徒受け入れ延べ事業所数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	事業所	—	330	340	350	360	・生徒進路指導事業
実績値		273	371	310	298	312	
達成率		%	—	112.4	91.2	85.1	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	事業所は積極的に職場体験学習の生徒を受け入れた。
市役所	生徒自身の生き方について職場体験、啓発的体験を得ることにより、生徒が進路を主体的に考え、選択する能力の育成を図った。

《H30担当課》教育課

指標名	地域の行事に積極的に参加している児童・生徒の割合						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	89.0	93.0	97.0	100.0	・学校評議員事業 ・コミュニティ・スクール事業 ・総合学習推進事業
実績値		69.5	78.2	77.9	79.8	80.1	
達成率	%	—	87.9	83.8	82.3	80.1	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	地域の人々が気軽に訪問し、学校に対して情報等を提供するような学校づくりを支援した。
市役所	「地域とともにある学校づくりを進めるため、小中学校5校に学校運営協議会推進委員会を設置し、学校運営協議会の設置に向け研究することができた。

目標達成のための今後の展開方針
学校・家庭・地域との連携を密にし、学校教育の推進を図る。 ハローワーク・商工会議所等関係機関とさらに連携を密にして、受け入れ事業所の拡大を図る。 各地域の実情に応じて、「地域とともにある学校づくりを進める学校運営協議会の設置を検討していく。

個別目標に対するまちづくり評価
学校は一般的に閉鎖的になりやすいので、学校運営協議会の設置を推進し、学校・家庭・地域が力を合わせて学校運営に取り組む「地域とともにある学校づくりを進めていただきたい。

個別目標③ バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身につけ健康に育っている

《H30担当課》教育課

指標名	学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合【小学校】						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	99.0	99.2	99.4	99.5	・給食企画事業 ・食育事業
実績値		98.3	90.4	89.4	90.2	89.4	
達成率	%	—	91.3	90.1	90.7	89.8	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	児童・PTA・保護者への指導のみではなく、学校から発信される食生活に関する情報も、家庭生活に生かすことができた。
市役所	小学校へ、給食時間に訪問し、食育指導を実施した。また、チームティーチング授業においても食育指導を実施した。

《H30担当課》教育課

指標名 学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合【中学校】							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	99.0	99.2	99.4	99.5	・給食企画事業 ・食育事業
実績値		95.7	81.3	79.4	82.3	78.2	
達成率	%	—	82.1	80.0	82.8	78.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	生徒・PTA・保護者への指導のみではなく、学校から発信される食生活に関する情報も、家庭生活に生かすことができた。						
市役所	中学校へ、給食時間に訪問し、食育指導を実施した。また、チームティーチング授業においても食育指導を実施した。						

《H30担当課》教育課

指標名 登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合【小学校】							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・給食企画事業 ・食育事業
実績値		92.7	96.0	88.8	87.4	87.1	
達成率	%	—	96.0	88.8	87.4	87.1	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	児童・PTA・保護者への指導のみではなく、学校から発信される食生活に関する情報も、家庭生活に生かすことができた。						
市役所	小学校へ、給食時間に訪問し、食育指導を実施した。また、チームティーチング授業においても食育指導を実施した。						

《H30担当課》教育課

指標名 登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合【中学校】							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	98.0	98.4	98.8	99.0	・給食企画事業 ・食育事業
実績値		86.2	93.8	82.8	83.6	83.8	
達成率	%	—	95.7	84.1	84.6	84.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	生徒・PTA・保護者への指導のみではなく、学校から発信される食生活に関する情報も、家庭生活に生かすことができた。						
市役所	中学校へ、給食時間に訪問し、食育指導を実施した。また、チームティーチング授業においても食育指導を実施した。						

《H30担当課》教育課

指標名 学校給食における地場産物の割合							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	39.0	41.0	43.0	45.0	・給食用物資購入事業 ・給食企画事業 ・食育事業
実績値		20.0	40.3	35.7	35.2	33.9	
達成率	%	—	103.3	87.1	81.9	75.3	
達成状況	—	—					


取り組みの状況	
市民	学校からホームページなどで発信される地場産物をはじめとした献立の情報により、給食への理解が深まり、家庭生活に生かすことができた。
市役所	給食センター運営委員会を開催し、年間給食実施計画、物資納入業者の選定を行った。献立作成委員会で決定した献立に沿って安価で栄養バランスに富んだ食材や、地場産物を含めた物資を物資選定委員会で協議し選定をした。

目標達成のための今後の展開方針
栄養教諭等の献立素案を基に、献立作成委員会で献立を決定し、校長・教諭・PTAの各代表及び栄養教諭等で構成する物資選定委員会で、より安価で良質、かつ安全な食材を選定する。 児童・生徒に学校給食や食育の授業を通して指導し、PTAに試食会等を通して望ましい食生活について講義する。

個別目標に対するまちづくり評価
望ましい食生活に関し、児童・生徒及び保護者への指導のみでなく、学校を発信源として、肥満などの生活習慣病を地域へPR活動することで、地域交流が図れるよう努めていただきたい。





個別目標④ 教育を受ける環境が整備され、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組んでいる

《H30担当課》教育課

指標名	学校施設や設備が整備され、快適で安全な教育環境の中で、児童・生徒が学習していると思う市民の割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	49.7	50.7	51.5	52.5	<ul style="list-style-type: none"> 教材整備事業 学校管理運営事業 学校施設管理事業 学校用地事業 学校施設整備事業
実績値		28.3	—	—	—	49.7	
達成率	%	—	—	—	—	94.7	
達成状況	—	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	児童・生徒及びPTA並びに地域住民の清掃活動等により、学校施設及び周辺の美化環境が保持できた。
市役所	給水、電気、昇降機を始めとする各種学校設備の保守点検を行うとともに、普通教室の不足により臨時校舎の借り上げをした。また、予算の範囲内で必要な箇所修繕・工事を実施した。

《H30担当課》教育課

指標名	学校施設の耐震化率						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	<ul style="list-style-type: none"> 校舎等耐震補強事業
実績値		61.8	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	学校施設の大規模工事において発生する学習環境や施設利用での不都合を理解し、円滑な工事の進捗に協力した。
市役所	耐震診断結果に基づき、各小中学校の校舎及び体育館の耐震補強工事を実施し、耐震化が完了した。また、非構造部材について、業者委託による点検を行った。

目標達成のための今後の展開方針

平成31年度は校務用コンピュータの一部更新があるため、各学校と連携を図りながら整備計画を立て、各種備品の整備や情報環境に対応していく必要がある。
学校施設整備として、余裕教室の有効利用を検討する。
国の交付金等の動向に注視しつつ、学校の便器洋式化に伴う便所改造を計画的に実施し、普通教室のエアコン設置についても早期に取り組んでいく。

個別目標に対するまちづくり評価

学校の便所改造やエアコン設置について、計画的かつ早期に取り組んでいただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

中学校区を単位として、啓発・情報交換・実践活動等を学校・家庭・地域が連携を図り、非行防止等の活動が実施され、即座の対応が図られた。
職場体験等を実施した結果、その経験により生徒が自分自身で進路の選択する能力の育成を図ることができた。
地域の中の学校として、学校・家庭・地域が一体となった情報の共有が図られた。
食生活に関し、児童・生徒及び保護者への指導のみでなく、学校を中心として情報を発信することにより、肥満などの生活習慣病などの理解を深めることができた。

◆柱全体の今後の課題

学校だけの対応は困難な状況であるため、地域との連携が不可欠である。
職場体験学習において、関係機関とさらに連携を密にして、職場体験学習の受け入れ事業所の拡大を図る必要がある。
学校運営協議会を設置し、地域とともにある学校づくりを推進しなければならない。
安価で良質かつ安全な食材を選定する。また、食育や望ましい食生活について、指導のみでなく、地域へのPRも今以上に必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

学校・家庭・地域との連携を密にし、学校教育の推進を図る。
職場体験学習の実施においては、ハローワーク・商工会議所等関係機関とさらに連携を密にして、職場体験学習の受け入れ事業所の拡大を図る。
各小中学校において学校運営協議会の設置を推進する。
食育や望ましい食生活について、児童・生徒に指導するとともに、PTAの試食会等を通して、家庭生活や地域交流で生かせるようにPRを行う。

まちづくり評価シート


教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

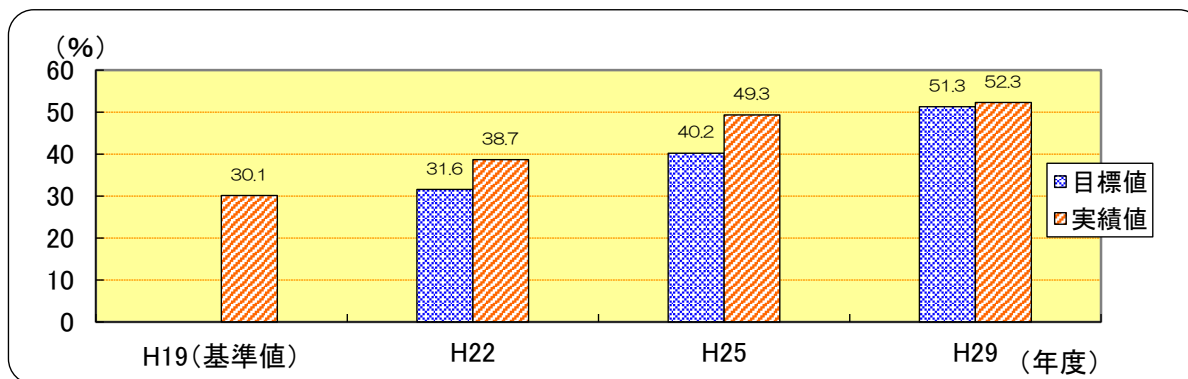
教育課【担う柱:2 将来にわたって活躍できる人づくり】

H30担当部・課	教育部(教育課・生涯学習課)
	子ども未来部(こども政策課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 良好な教育環境が構築され、青少年の健全な育成が図られている

指標名	青少年が健全に育成されていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H29	
目標値	%	—	51.3	教育委員会会議の定期的な開催、教育現場の訪問、他都市との意見交換などを通じて、情報を収集し、教育課題に迅速に対応したことにより、望む教育を受ける環境が整っていると感じる市民の割合はほぼ目標を達成することができた。このため、平成29年4月に実施した市民満足度調査結果は52.3%となり、達成状況は晴れマークで、目標値を上回ることができた。一方、不登校の児童・生徒の割合は高く、児童・生徒の心の悩みやいじめ不登校問題は大きな課題となっている。
実績値		30.1	52.3	
達成率	—	101.9		
達成状況	—	—		




全体目標に対するまちづくり評価

平成29年4月に実施した市民満足度調査結果は52.3%となり、達成状況としては目標値を上回っている。しかし、不登校の児童・生徒の割合は高く、児童・生徒の心の悩みやいじめ不登校問題は大きな課題であるため、学校・家庭・地域が協力して取り組むよう努めていただきたい。

個別目標① 地域社会が教育に関心を持ち、望む教育を受ける環境が整っている

《H30担当課》教育課

指標名	子どもから大人までの教育環境が整っていると感じる市民の割合						主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	38.0	40.0	42.0	45.0	・教育委員会運営事業 ・教育調査事業 ・教育文化振興基金積立事業 ・表彰事業 ・横田教育文化振興事業
実績値		35.0	—	—	—	46.5	
達成率	—	—	—	—	103.3		
達成状況	—	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	教育委員会会議録、教育基本方針、教育委員会の点検評価等を市ホームページで閲覧することなどにより、教育的・文化的な教養の向上に努めた。
市役所	教育委員会会議を年間15回開催し、教育現場を訪問するなどして、教育の場を構築し、教育課題等諸問題について、迅速に対応した。また、文化的教養の向上又は教育的効果が認められたものに、栄誉を称え広く市民に知らせた。

目標達成のための今後の展開方針	
市民の要望など地域に密着した教育行政を推進する。	

個別目標に対するまちづくり評価	
市民が気軽に学校を訪問できるような環境づくりを進めてほしい。 学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換会に積極的に参加してほしい。	

個別目標② 子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子どもたちが育っている

《H30担当課》教育課

指標名		不登校の児童・生徒数の割合【小学校】					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	0.2	0.2	0.1	0.1	<ul style="list-style-type: none"> 心の教室相談員配置事業 適応指導教室事業 いじめ・不登校対策事業
実績値		0.5	0.7	0.9	0.67	0.8	
達成率	%	—	28.6	22.2	14.9	12.5	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	↑	
取り組みの状況							
市民	心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず、専門の相談員に相談した。 いじめ不登校対策協議会にて、いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究した。						
市役所	各小学校に心の教室相談員を配置し、生徒の悩みなどの相談を受けた。 不登校生徒のために、適応指導教室を開設し、指導・支援を行った。 いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究、検討し実践に活かした。						

《H30担当課》教育課

指標名		不登校の児童・生徒数の割合【中学校】					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	2.0	1.8	1.6	1.5	<ul style="list-style-type: none"> 心の教室相談員配置事業 適応指導教室事業 いじめ・不登校対策事業
実績値		4.5	4.0	4.0	4.78	5.2	
達成率	%	—	50.0	45.0	33.5	28.8	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	↑	
取り組みの状況							
市民	心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず、専門の相談員に相談した。 いじめ不登校対策協議会にて、いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究した。						
市役所	各中学校に心の教室相談員を配置し、生徒の悩みなどの相談を受けた。 不登校生徒のために、適応指導教室を開設し、指導・支援を行った。 いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究、検討し実践に活かした。						

《H30担当課》教育課・生涯学習課・こども政策課

指標名		家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	54.5	55.0	56.0	57.0	<ul style="list-style-type: none"> ことばの教室事業 放課後子どもプラン事業 青少年問題協議会事業 少年センター事業 青少年健全育成事業 地域学習活動支援事業
実績値		51.5	—	—	—	60.2	
達成率	%	—	—	—	—	105.6	
達成状況	—	—	—	—	—	☀	

取り組みの状況	
市民	布袋小学校、宮田小学校、古知野南小学校、藤里小学校、古知野西小学校、門弟山小学校、古知野東小学校の市内7小学校で実施する「放課後子ども教室」に参加した。 青少年問題協議会で、青少年育成の基本方針を決定した。また青少年健全育成のために、街頭啓発を行い、講演会に参加した。 「こども土曜塾」において小学校4～6年生の希望者が参加した。 「こども未来塾」において、中学校1年生の希望者が参加した。
市役所	放課後子ども教室を実施する4小学校において、放課後子ども教室と学童保育に通う児童の健全な人材育成の推進を図るため、合同で多様な体験活動等を行う共通プログラムを実施した。 青少年の指導・育成等に関する調査・審議を行い、青少年育成の基本方針を決定した。また、少年相談窓口を開設し、街頭補導を実施した。青少年健全育成のために、街頭啓発、講演会を実施した。 児童に対し、基本的な学力の定着を図るため、地域に在住している退職教職員等の支援を得て「こども土曜塾」及び「こども未来塾」を実施した。

目標達成のための今後の展開方針
いじめ不登校対策として、適応指導教室「You・輝」、少年センターを開設し、小中学校に心の教室相談員を配置するなど、児童生徒が相談しやすい体制を整え、安心して学校生活を送ることができるようにする。 放課後子ども総合プランの趣旨に基づき、就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動を行うことができるよう、一体型を中心とした事業の更なる拡充に努める。 地域学習活動としての「こども土曜塾」及び「こども未来塾」を継続実施する。

個別目標に対するまちづくり評価
子どもたちが心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず、気軽に相談できるような環境づくりをさらに進めていただきたい。 ボランティア活動や体験活動の情報を提供し、青少年の社会性、人間性の育成に努めるとともに、放課後の子どもたちの健全な居場所づくりを確保するため、放課後子ども教室と学童保育の充実とさらなる連携の促進を図っていただきたい。

柱全体のまちづくり評価
◆柱全体の得られた成果 教育現場の意見に基づいた議論を行うために、学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換をした。教育委員会会議においては、教育の課題・施策等について、教育委員会委員と積極的に審議し意見交換をした。

◆柱全体の今後の課題
学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換に積極的に参加し、教育現場の現状や課題を的確に把握する。平成20年4月から教育委員会会議の内容を市ホームページで公開しているが、今後も情報公開を積極的に進めていく必要がある。 心の悩みを抱える児童・生徒やいじめ不登校問題は大きな課題であり、学校・家庭・地域が協力して取り組む必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
学校・家庭・地域が連携し、地域住民の要望・意見等を取り入れながら、地域ぐるみで教育行政を推進し、社会に貢献できる人材を育む。

まちづくり評価シート

教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

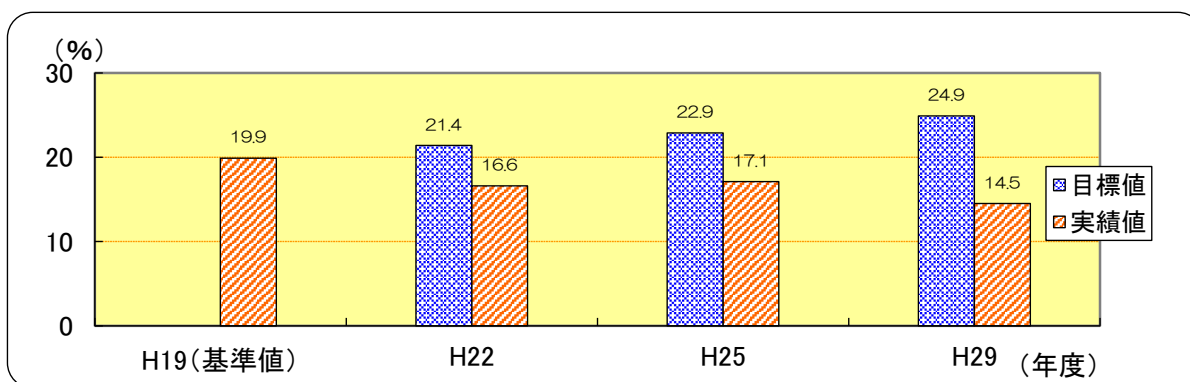
生涯学習課【担う柱:3 生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり】

H30担当部・課	教育部(生涯学習課・スポーツ推進課)
	健康福祉部(高齢者生きがい課)
	企画部(市民サービス課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 市民が生涯にわたって学習し、その能力を発揮する環境が整っている

指標名	生涯学習活動に参加している市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H29	実績値の分析
目標値	%	—	24.9	平成29年4月に実施した市民満足度調査結果は実績値が14.5%となり、平成25年の実績値の17.1%と比較すると2.6ポイント減っている。いずれも年齢層が60歳以上の方が多く、新しく生涯学習活動に参加する現役世代の加入が少ない状況となっている。そうした世代は、仕事や子育てが中心の生活を送っており、生涯学習活動への参加につながっていないことから、目標値に達成できていないと考えられる。
実績値		19.9	14.5	
達成率	%	—	58.2	
達成状況	—	—	↑	



全体目標に対するまちづくり評価

生涯学習活動への意識や参加は、年齢層や生活スタイルによって大きく異なると思われる。60歳以上の高齢者は、現役世代と比べ時間に余裕もあり、自身の生涯学習活動への意識が高い。一方で現役世代は、仕事や子育てが生活の中心となり、時間に余裕がもちにくい状況と思われる。生涯学習に対する市民満足度の高い行政を行うには、引き続き高齢者が参加して生きがいづくりに寄与する事業を行うとともに、土、日曜日等に行う公民館講座など、若者や勤労世代でも参加しやすい講座を一層企画していただきたい。

個別目標① 市民が、自発的な学習活動を展開し、生きがいをもった生活を送っている

《H30担当課》生涯学習課

指標名	生涯学習講師人材バンク登録者数						主な事務事業	
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29		
目標値	人	—	165	170	175	185	企画運営事業	
実績値		126	141	146	139	118		
達成率		%	—	85.5	85.9	79.4		63.8
達成状況		—	—	☁	☁	☁		↑

取り組みの状況

市民	PTA活動、子ども会活動などの行事において、生涯学習人材バンクを利用し、講師を依頼した。
市役所	広報こうなんや市ホームページによる啓発活動や公民館サークルへの登録依頼を行った。生涯学習人材バンクの一覧を作成し、学校・公民館・子育て支援センターなどへ配布した。

指標名		愛知江南短期大学と連携した講座の受講者数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	2,190	2,230	2,270	2,310	・成人教育事業
実績値		2,011	1,348	1,423	1,371	1,336	
達成率		%	—	61.6	63.8	60.4	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	↑	
取り組みの状況							
市民	市と愛知江南短期大学が連携した公開講演会、オープンカレッジに参加した。						
市役所	愛知江南短期大学と連携し、オープンカレッジの開催に向けての準備を行い、公開講演会等を開催した。						

指標名		1人当たりの図書等の貸出点数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	冊	—	5.1	5.5	5.9	6.4	・図書館管理運営事業
実績値		3.3	3.9	4.1	4.0	4.0	
達成率		%	—	76.5	74.5	67.8	
達成状況	—	—	☁	☁	↑	↑	
取り組みの状況							
市民	インターネットや利用者端末を利用し、図書の検索を行い貸し出しを受けた。図書館主催の読み聞かせ会、手作り絵本教室、菜の花プロジェクト等に参加した。						
市役所	市の施設において配本・返却サービスを実施し、利用者の利便性の向上を図った。						

目標達成のための今後の展開方針

人材バンクの活用をより活発なものにするため、市民だけでなく学校や団体等にも呼びかけて幅広い人材を確保する。また、市ホームページに登録講師の氏名、講座内容を掲載し、市民に対する周知を図り、利用の促進に努める。

公開講演会への参加を呼びかけるため、広報こうなんや市ホームページだけでなく、新聞への掲載や市の施設以外の多くの市民が集まる場所へのチラシの配布などを行う。

図書館の利便性向上について、指定管理者との情報交換を行いながら、市民ニーズの把握に努める。

個別目標に対するまちづくり評価





各種団体に積極的にPRなどを行い、多様なニーズに対応できる講師の人材確保に努めていただきたい。また、人材の確保とともに、市民が幅広く人材バンクを利用することができるように、わかりやすい周知に努めていただきたい。

公開講演会等の参加者を増やすため、愛知江南短期大学との連携により、積極的に開催をPRしていただきたい。





ボランティアによる読み聞かせなどで、多くの集客を得ていることは評価できる。さらに、ボランティア同士の連携を図り、市民ニーズの把握やサービス向上に努めていただきたい。

個別目標② 市民が身近にスポーツを楽しみ、なれ親しんでいる





《H30担当課》スポーツ推進課

指標名 屋内のスポーツ施設の稼働率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	90.0	90.0	90.0	90.0	・体育施設等維持管理事業
実績値		84.1	88.4	87.2	87.3	98.3	
達成率		—	98.2	96.9	97.0	109.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	各加盟競技団体(屋内競技)が行う市民スポーツ祭や定期的な練習を、体育会館競技場など屋内スポーツ施設で実施した。						
市役所	市民スポーツ祭などの情報を、広報こうなん等に掲載して啓発に努めた。また、スポーツ人口を増やすため、各種体験教室や会員募集などの情報も広報こうなん等に掲載して啓発に努めた。						

《H30担当課》スポーツ推進課

指標名 屋外のスポーツ施設の稼働率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	36.3	37.4	38.5	39.6	・体育施設等維持管理事業
実績値		29.7	42.7	42.8	64.5	57.6	
達成率		—	117.6	114.4	167.5	145.5	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	各加盟競技団体(屋外競技)が行う市民スポーツ祭やその他大会を、蘇南多目的グラウンドなど屋外スポーツ施設で実施した。						
市役所	市民スポーツ祭などの情報を、広報こうなん等に掲載して啓発に努めた。また、スポーツ人口を増やすため、会員募集などの情報も広報こうなん等に掲載して啓発に努めた。						

《H30担当課》スポーツ推進課

指標名 コミュニティ・スポーツ祭の参加者数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	7,000	7,000	7,000	7,000	・各種スポーツ大会開催事業
実績値		5,289	6,439	6,215	6,560	6,788	
達成率		—	92.0	88.8	93.7	97.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市内10小学校区で開催されたコミュニティ・スポーツ祭に参加した。						
市役所	コミュニティ・スポーツ祭の情報を、広報こうなん等に掲載するなど啓発に努めた。						

目標達成のための今後の展開方針





屋内施設は、引き続き既存施設の整備を図り、安心・安全な施設運営を行う。
また、新体育館を核とし、誰もが気軽に健康づくりを楽しめる、にぎわいと交流のスポーツプラザを整備する。
屋外施設は、公園敷地内に多く点在するため、都市計画課とも連携・協力しながら整備を進めていく。
コミュニティ・スポーツ祭については、多くの人に参加していただけるように種目やPR方法などの改善を図る。
平成29年度設立の総合型スポーツクラブについては、自主運営ができるよう支援を行う。

個別目標に対するまちづくり評価





市民が身近に参加できるスポーツ大会であるコミュニティ・スポーツ祭に多くの市民が参加し、地域の交流ができたことや、屋内・屋外施設についての稼働率が目標値を上回っていることは評価できる。一方で、施設の老朽化が進んでいるため、安心・安全で快適な施設が利用できるよう、適正な施設管理を行うとともに、新体育館を核とし、誰もが気軽に健康づくりを楽しめる、にぎわいと交流のスポーツプラザの利活用を促進していただきたい。


個別目標③ 男女が社会のあらゆる分野で対等なパートナーとして参画し、共にその責任を分かち合っている

《H30担当課》市民サービス課

指標名	審議会などにおける女性委員の登用率						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値		—	30.0	30.0	30.0	30.0	・男女共同参画推進事業
実績値	%	18.4	27.7	26.2	22.4	25.6	
達成率	%	—	92.3	87.3	74.7	85.3	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市が主催する委員会等の委員に公募した。						
市役所	各課に対し、審議会等の委員の改選期には女性委員の登用率が全体の30%以上になるように、積極的な登用を依頼した。 職員の男女共同参画への理解のため、研修会を実施した。						

《H30担当課》市民サービス課

指標名	男女共同参画講演会やセミナーなどへの参加割合						主な事務事業
	単位	H17 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値		—	90.0	90.0	90.0	90.0	・男女共同参画推進事業
実績値	%	60.5	93.0	82.8	93.9	57.8	
達成率	%	—	103.3	92.0	104.3	64.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	男女共同参画について、理解を深める講演会等に参加した。 講演会参加の折、男女共同参画都市宣言を唱和した。						
市役所	広報こうなんや市ホームページに男女共同参画についての記事を掲載し啓発に努めた。男女共同参画に関するパンフレットを作成し、市内中学校及びセミナー等の折に配布した。						

指標名	男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野(家庭,地域,職場)で活躍できていると感じる市民の割合						
	単位	H22 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	45.0	46.0	47.0	48.0	・男女共同参画推進事業
実績値		30.8	—	—	—	40.7	
達成率		—	—	—	—	84.8	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	固定的役割分担意識に捉われず、あらゆる分野で活躍している。						
市役所	広報こうなんや市ホームページに男女共同参画についての記事を掲載し啓発に努めた。						

目標達成のための今後の展開方針

職員に対し、研修等を行い男女共同参画社会の推進について、より一層理解を深める。
市民に対し、男女共同参画社会をわかりやすく理解してもらうため、講師の選定・テーマ等を各市町と情報交換しながら身近に感じる講座を開催する。
男女共同参画社会を実現するため、お互いに協力し家庭において家事や育児を分担し合うことにより、より充実した生活が送れるようになることを市民へ啓発する。

個別目標に対するまちづくり評価

男女共同参画基本計画に基づき、市民と協働で男女共同参画の実現に向けて取り組んでいただきたい。
男女共同参画社会を推進することは、男女が対等なパートナーとして認め合う社会をつくることであり、地域の活性化につながると考えられます。
これからも、市民に親しみのあるセミナー、講座を開催していただき、啓発に努めていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

生涯学習講演会・IT講習会・公開講演会・乳幼児学級等を開催し、市民のニーズに応えることができた。高齢者教室の会員数も、引き続き行った広報こうなん等によるPRにより、参加人数が昨年と同程度となった。
また、公民館で実施した生涯学習講座では、若い世代の方にも関心を引く内容を実施することにより、世代を通じた参加につながった。

◆柱全体の今後の課題

高齢者の増加に伴い、「健康・生きがい・仲間づくり」をテーマに実施している高齢者教室の会員を引き続き募集するとともに、高齢者の生きがいづくりの場として、生涯学習講座や図書館事業を有効活用していく必要がある。
また、若者や勤労世代でも参加できるような講座内容や実施日を考慮しながら企画していく必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

公民館で実施する生涯学習講座、図書館事業等の開催にあたり、多くの若者や勤労世代、高齢者に参加してもらえるような講座内容を考える。

まちづくり評価シート

教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

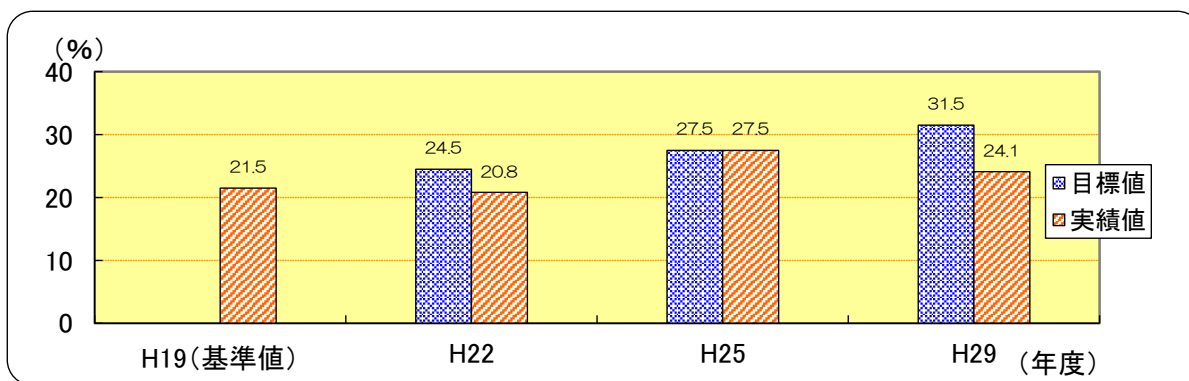
生涯学習課【担う柱:4 豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実】

H30担当部・課 教育部(生涯学習課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 市民の文化活動や国内外の交流活動が活発に行われ、心豊かな生活を送っている

指標名	文化活動や交流活動により、心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H29	実績値の分析
目標値	%	—	31.5	達成率は76.5%で概ね達成できた。文化活動や交流活動への参加者は高齢者が多く、若者や労働者層は仕事や子育て中心の生活により、文化活動や交流活動に参加できていないと考えられる。
実績値		21.5	24.1	
達成率	%	—	76.5	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

文化芸術活動を行っている市民の割合について、前回の平成25年度では目標が達成できていたが、平成29年度の実績では実績値が目標値を下回っている。市民が文化芸術活動や交流活動に興味をもち、心豊かな生活を送っていけるように、事業の展開を図っていただきたい。





個別目標① 市民が文化芸術活動を積極的に行っている





《H30担当課》生涯学習課

指標名	文化芸術活動を行っている市民の割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	1.5	1.5	1.6	1.7	・文化振興事業 ・文化協会事業
実績値		1.3	1.0	0.9	0.9	0.8	
達成率		—	66.7	60.0	56.3	47.1	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	↑	

取り組みの状況

市民	市の主催する「教養講座」へ参加した。 文化協会主催の「文化祭」に参加した。
市役所	「教養講座」として、民謡講習会、歴史講演会、美術館めぐりなどを開催した。 文化協会主催の「文化祭」の開催を支援した。

指標名 市民文化会館の稼働率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	53.8	55.1	56.4	57.8	・市民文化会館管理運営事業
実績値		47.8	54.1	57.7	55.2	53.4	
達成率		—	100.6	104.7	97.9	92.4	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市民文化会館の指定管理者が企画する自主文化事業に参加した。また、会議や作品展示、芸術活動のため、会議室や大・小ホールを利用した。						
市役所	市民が安心して市民文化会館を利用するため、アンケートをとり、意見や要望を把握した。また、運営委員会を開催し、指定管理者と事業内容などについて協議を行った。21年度よりモニタリングを実施し、自己評価をしつつ、市民サービスの向上を図った。						

指標名 美術展出品者数							
	単位	H21 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	260	270	280	300	・美術展事業
実績値		224	222	221	239	224	
達成率		—	85.4	81.9	85.4	74.7	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市が主催する美術展に作品を出品した。						
市役所	美術展を開催し、市民から作品を募集することで、市民の美術・芸術作品への創作意欲や関心が高まるよう事業を展開した。						

目標達成のための今後の展開方針

文化協会の加盟団体、会員の増加を図るため、市民文化会館や公民館利用者に加入を促す。市民文化会館の運営では、モニタリング、運営委員会等を通じて指定管理者と情報を共有し、運営の改善を図る。

個別目標に対するまちづくり評価

市民が芸術文化事業に関心をもつためには、市が美術展や講演会、セミナーや教養講座など多種多様のイベントを開催するとともに、PR活動を積極的に実施していただきたい。
また、市民にとって活動拠点である市民文化会館が、さらなる芸術文化の振興拠点となるような事業展開をしていただきたい。その一環として、市民文化会館大・小ホールの利用方法や市民文化会館の自主文化事業のPR活動を積極的に行うなどし、市民サービスの向上を図っていただきたい。

個別目標② 郷土の歴史・文化が正しく理解され、郷土に対する愛着や誇りをもっている

《H30担当課》生涯学習課

指標名 指定文化財の数【国】								
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	件	—	5	5	5	5	・文化財保護事業	
実績値		5	5	5	5	5		
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0		100.0
達成状況		—	—					
取り組みの状況								
市民	管理者は国指定文化財の価値を損なうことなく保存及び管理に努めた。							
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。							

《H30担当課》生涯学習課

指標名 指定文化財の数【県】								
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	件	—	9	9	9	9	・文化財保護事業	
実績値		9	9	9	9	9		
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0		100.0
達成状況		—	—					
取り組みの状況								
市民	管理者は県指定文化財の価値を損なうことなく保存及び管理に努めた。							
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。							

《H30担当課》生涯学習課

指標名 指定文化財の数【市】								
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	件	—	92	92	93	94	・文化財保護事業	
実績値		92	94	95	95	95		
達成率		%	—	102.2	103.3	102.2		101.1
達成状況		—	—					
取り組みの状況								
市民	管理者は市指定文化財を損なうことなく保存及び管理に努めた。							
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。							

指標名	登録有形文化財の数【登録】						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	3	3	3	3	・文化財保護事業
実績値		2	3	3	3	4	
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	管理者は登録有形文化財の価値を損なうことなく保存及び管理に努めた。						
市役所	管理者に対し、登録有形文化財の保存、管理に努めるよう依頼した。						

指標名	文化財普及事業への参加者数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	12,000	12,000	12,000	12,000	・歴史民俗資料館事業 ・文化財保護事業
実績値		5,647	12,895	12,855	13,699	14,461	
達成率		%	—	107.5	107.1	114.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市が主催する歴史民俗資料館の企画展の参加や、常設展示している歴史民俗資料館を参観した。 また、歴史に関連する講座に参加し、郷土の歴史への愛着と理解が深まった。						
市役所	多くの市民が、歴史民俗資料館の展示物や文化財に関心をもっていたり、各種企画展を開催した。また、中学生に向けて、江南の歴史や文化財に対する関心が深まるよう、歴史教室を開催した。						

目標達成のための今後の展開方針

国指定重要文化財の曼陀羅寺正堂の檜皮葺屋根改修工事について、国・県と併せて支援していく。
郷土の歴史では、戦国武将関連への市民の関心が依然として高く、郷土の歴史関連セミナーを開催していく。
歴史民俗資料館での企画展を多くの市民に観てもらえるようにPRしていく。

個別目標に対するまちづくり評価





江南市は、古代には音楽寺遺跡、戦国時代には生駒家関連史跡、そして曼陀羅寺など文化財が豊富なまちである。
指定文化財の積極的なPRを行っていただきたい。併せて「文化財めぐり」などの事業を市が企画することも効果的であると思われる。
また、歴史民俗資料館で行う企画展に足を運んでいただくよう積極的にPRを行っていただきたい。

個別目標③ 世界平和の重要性が認識され、在住外国人も安心して暮らしている

指標名	江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する外国人の数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	360	400	450	500	・国際交流推進事業 ・多文化共生推進事業
実績値		220	583	754	869	717	
達成率		%	—	161.9	188.5	193.1	
達成状況	—	—					





取り組みの状況	
市民	市及び江南市国際交流協会が主催する国際交流事業に参加した。
市役所	さまざまな国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、国際交流フェスティバルや国際理解講座、外国の料理教室などを市と江南市国際交流協会が連携して開催した。

《H30担当課》生涯学習課

指標名	江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する日本人の数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	5,600	5,900	6,200	6,500	・国際交流推進事業 ・多文化共生推進事業
実績値		1,800	5,887	5,939	5,915	5,666	
達成率	%	—	105.1	100.7	95.4	87.2	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	市及び江南市国際交流協会が主催する国際交流事業に参加した。
市役所	さまざまな国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、国際交流フェスティバルや国際理解講座、外国の料理教室などを市と江南市国際交流協会が連携して開催した。

《H30担当課》生涯学習課

指標名	世界平和を願うパネル展の来場者数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	1,400	1,430	1,460	1,500	・世界平和・国際協力推進事業
実績値		1,198	1,134	1,194	1,350	1,227	
達成率	%	—	81.0	83.5	92.5	81.8	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	市が主催する世界平和を願うパネル展に参加した。
市役所	平和の尊さ、原爆の悲惨さを広く市民に啓発するため、市民文化会館・市役所・すいとびあ江南においてパネル展を開催するとともに、市立全中学校でパネル展を開催した。

目標達成のための今後の展開方針
外国人の児童が多く通学している藤里小学校の余裕教室を国際交流ルームとして活用し、言葉の壁や習慣の違いで戸惑っている外国人の子どもを対象とした日本語教室等の支援活動を、ふくらの家とともに実施する。また、日本語学習や子どもの学習支援などの事業に多くの外国人が参加できるよう、国際交流協会の活動を支援していく。

個別目標に対するまちづくり評価
定住化が進む外国人に対し、市は江南市国際交流協会と密接に連携し、生活相談や日本語教室の開設など、定住外国人の目線に沿ったきめ細かい支援活動を行っていただきたい。また、国際平和の実現には国際交流を深め国際協力の推進を図るとともに、戦争の悲惨さや世界平和の重要性を市民に啓発することが必要と思われる。今後も、次代を担う市内小中学生が戦争の悲惨さを学び、平和の大切さを理解できるよう、パネル展などを通して平和教育の推進を行っていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

近年の社会環境の変化などで、余暇の時間の過ごし方を有効利用しようとする関心をもつ年代層(市民)に対し、心豊かな生活を送れるよう、文化芸術活動や交流活動の場を提供した。また、文化財保護の観点から、指定文化財を増やしたことで、市内各地区の文化財的財産を市民自ら保護しようとする傾向が見受けられた。

◆柱全体の今後の課題

市民の高齢化が進み就労の機会がない世代に加え、仕事や子育て、介護等に追われる世代にも文化芸術活動や交流活動を通じて、心豊かな生活を送っていると感じるような事業の展開を図っていく必要がある。また、これからも、市民や次世代を担う中学生に世界平和に向けた啓発をしていくことが重要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

多様化する市民のニーズを的確にとらえ、誰でも心豊かな生活を送っていると感じるような文化芸術活動や交流活動事業の展開を図っていく。また、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に伝えていくため引き続き世界平和に向けた啓発を実施していく。

V 経営、企画分野

市民と市役所との信頼関係のもとに協働型社会が構築されており、限られた経営資源の中で最大の成果を実現し、効率的で公平かつ適正な行財政運営が行われている。

柱1 地域協働の推進【地域経営】

市民と市役所が連携・分担・協働により課題解決を図り、協働型社会の実現に向け協力し合っている。

柱2 戦略的な行政経営の推進【行政経営】

経営のしくみの定着、職員能力の発揮、戦略的な政策展開や資源配分、健全な財政運営などにより、限られた経営資源で最大の成果を実現している。

柱3 公平かつ適正な課税・収納【課税・収納】

市民は納税意識が高く、税負担が公平かつ適正であると感じ、納税義務を果たしている。

柱4 効率的かつ円滑な事務管理の推進【行政事務管理】

効率的かつ円滑な事務管理が実施され、公平かつ適正な行政が行われている。

柱5 より開かれた適切な議会運営への支援【議会運営への支援】

より開かれた適切な議会運営により活発な議論が行われている。

まちづくり評価シート

市長政策室【担う分野: V 経営、企画分野】

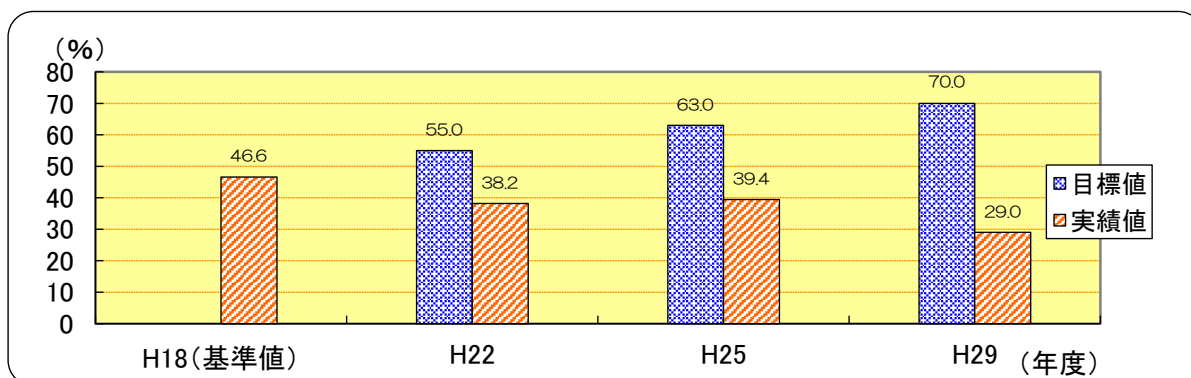
地方創生推進課【担う柱: 1 地域協働の推進】

H30担当部・課 企画部(地方創生推進課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 地域全体で将来の目標を共有し、協働で取り組むことにより、地域の価値が向上している

指標名	ボランティア活動や地域活動への参加意思のある人の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 平成25年度の実績値39.4%から大きく減少した。ボランティア活動や地域活動では60歳台の市民の参加を期待していたが、年金支給年齢の引き上げなどにより、就業している60歳台も多く、目標を設定した平成18年度当時とは社会状況が変化してきている。
目標値	%	—	70.0	
実績値		46.6	29.0	
達成率	%	—	41.4	
達成状況	—	—	↑	



全体目標に対するまちづくり評価

NPO・ボランティア団体やアダプト団体は、協働型社会の構築に必要なことから、参加される市民を増やすため、引き続きNPOなどの団体情報やアダプト制度のPRや相談体制の充実をお願いしたい。
 公募型協働支援補助事業は、協働を進める重要な事業であるので、引き続き制度のPRをされたい。また、市民活動を支援するため、引き続き講座の開催等知識の向上となる機会の充実をお願いしたい。
 ホームページを始めとするインターネット活用による情報発信についても研究をお願いしたいが、広報こうなん、市ホームページ、市フェイスブックなど、それぞれの利点を活かすよう留意されたい。

個別目標① 市民が地域社会の担い手になっている





《H30担当課》地方創生推進課

指標名	ボランティア団体及びNPOの数						主な事務事業 ・NPO・ボランティア活動推進事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	団体	—	175	180	190	200	
実績値		105	147	154	160	155	
達成率	%	—	84.0	85.6	84.2	77.5	
達成状況	—	—	☁	☁	☁	☁	





取り組みの状況

市民	地域活動や市民活動に地域情報を積極的に活用した。 地域課題を解決するための公益的活動を行うNPOやコミュニティビジネスの立ち上げに努力した。
市役所	「NPO・ボランティアガイド」を更新して各団体を紹介するとともに、市民・協働ステーションでの情報チラシの配布や情報サイト「協働ステーションWeb」により、ボランティア、NPOなどの協働が必要な分野、業務の情報提供に努めた。 事業型NPO支援講座を開催し、経営型のNPO育成に努めた。





《H30担当課》地方創生推進課

指標名		アダプト制度の登録割合					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	0.90	1.10	1.30	1.50	・NPO・ボランティア活動推進事業
実績値		0.67	0.83	0.79	0.85	0.86	
達成率	%	—	92.2	71.8	65.4	57.3	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	地域課題を解決するための公益的活動として、地域の公園・道路・河川などに愛情をもち、積極的にアダプト活動に参加した。						
市役所	広報こうなん、市ホームページで、アダプト制度の紹介を行うことにより、地域の公園・道路・河川などに愛着をもたせ、環境美化に対する意識の高揚を図るとともにアダプト活動の支援に努めた。						

《H30担当課》地方創生推進課

指標名		認可された地縁団体の組織数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	団体	—	48	50	52	55	・地域団体支援事業
実績値		33	39	41	42	42	
達成率	%	—	81.3	82.0	80.8	76.4	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	地縁団体の設立に積極的に協力し、区有財産の管理など安定的・活発な自治会運営を行った。						
市役所	区・町内会が進んで、地縁団体の設立ができるよう相談体制を充実するとともに、区からの相談に対応し、必要な情報を提供した。						

《H30担当課》地方創生推進課

指標名		広域行政事業数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	事業	—	12	12	13	13	・地域連携事業
実績値		8	8	9	9	10	
達成率	%	—	66.7	75.0	69.2	76.9	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	火葬場・し尿処理、ごみ処理等、江南市を含む近隣市町との広域で実施される行政サービスを利用した。						
市役所	10事業について広域で事業を行うことにより、住民サービスの向上、事務の効率化を図ることができた。(広域事業：電子申請届出システム・施設予約システム・電子調達システム(あいち電子自治体)、火葬場・し尿事業(愛北広域)、ごみ処理(江南丹羽環境)、農業共済(県農業共済)、後期高齢者医療事業(県後期高齢者医療)、消防指令センター(消防通信指令事務協議会)、新ごみ処理(尾張北部環境))						


指標名		公募型協働支援補助事業採択団体数					
	単位	H (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	団体	—	8	8	8	8	・公募型協働支援補助事業
実績値		—	4	5	8	9	
達成率		%	—	50.0	62.5	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	地域活動やボランティア活動に積極的に参加することにより、市民協働のグループ立ち上げや活動を行った。						
市役所	市民協働団体等の活動を支援するため、公益的な活動に対して、「地域まちづくり補助金」を交付した。						





目標達成のための今後の展開方針	
<p>NPO・ボランティア団体やアダプト団体は、協働型社会の構築に必要なことから、NPO・ボランティア団体の情報発信や、アダプトプログラムのPRをし、参加を増やしていく。</p> <p>区・町内会からの認可地縁団体の設立認可申請や団体規約の変更申請の折には、法令に沿った規約施行を指導していく。</p> <p>公募型協働支援補助事業については、協働型社会を進める重要な一事業であり、市民活動団体等へのPRを継続していく。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>NPO・ボランティア活動の参加者を増やすため、引き続き、団体情報やアダプト制度のPRをお願いしたい。また、公募型協働支援補助事業は、協働を進める重要な事業であり、達成率は高いものの、引き続き申請に係る相談業務の強化など、申請しやすい体制の充実をお願いしたい。一方、「市民の役割」としては、ボランティア活動、区・町内会活動などのまちづくりに積極的に参加すべきである。</p>	

個別目標② 地域内の情報を共有し、市政に理解と関心を深めている

指標名		市ホームページのアクセス件数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	580,000	588,000	595,000	900,000	・ホームページ運営事業
実績値		309,105	549,157	548,969	490,801	478,953	
達成率		%	—	94.7	93.4	82.5	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市ホームページにアクセスすることにより、市政情報や地域情報を共有した。						
市役所	市ホームページのトップページをリニューアルし、緊急・災害情報やお役立ち情報など、わかりやすいホームページの作成に努めた。また、SNS等インターネットの各種サービスを利用した効率的な情報発信に努めた。						

指標名 広報を読んでいる市民の割合							
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	89.0	89.5	89.8	90.0	・広報紙発行事業
実績値		86.3	—	—	—	77.7	
達成率		—	—	—	—	86.3	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	日ごろから広報こうなんを読むことにより、市政情報や地域情報を共有した。						
市役所	紙面に興味をもていただくよう、読みやすく、わかりやすい紙面づくりに努力した。広報こうなんを毎月1回発行した。						

指標名 「市長への手紙」の投書件数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	450	470	485	500	・広聴事業
実績値		268	268	342	222	216	
達成率		—	59.6	72.8	45.8	43.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市政に対して関心をもつとともに、要望や提案など意見を述べた。						
市役所	「市長への手紙」による市民の要望や提案等に回答し、市民の市政への理解を深めるとともに、市民ニーズの把握や事務改善の参考とした。						

目標達成のための今後の展開方針

簡易でわかりやすい本文を作成し、写真、イラストを効果的に使い見やすく親しみやすい広報紙にする。SNS等インターネットの各種サービスを利用した効率的な情報発信の方法や市ホームページをよりよくするための調査・研究を行う。

市民の声を市長が直接聞く機会「タウンミーティング」を継続し、市政運営に反映させる。

江南市の生活都市としての魅力を素材にシティプロモーションを展開し、市の知名度の向上及びイメージの好感度向上を図る。その一つとして、「江南市PR大使」を委嘱し、大使が活動する様々な場面で江南市の魅力を発信してもらうなど、大使と協働して江南市のPRを推進する。

個別目標に対するまちづくり評価

広報こうなんを始め、市ホームページ、インターネットの活用による効果的な情報発信について取り組みされた。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

NPO・ボランティア団体数については、平成29年度は減少した。
アダプトプログラムの参加者数については逡増していくものと思われるが、登録者数が多い団体の登録、脱退に左右されるため、年度によっては減少に転じる場面もある。
認可地縁団体については、相談を受けている団体があり、適切な支援をした。
公募型協働支援補助事業については、市内の中間支援団体との協働により、申請に関する相談会を開催し、随時相談業務を行った結果、目標値達成につながっている。

◆柱全体の今後の課題

地域の担い手への第一歩は“参加”である。ボランティア活動への関心を身近な活動であるアダプトやNPOへの参加にどうつなげていくかが課題である。
まちづくりの実践の場は地域であり、また、区・町内会は地域経営の重要な構成員であると同時に担い手でもあることから、認可地縁団体数の多寡に関わらず、地域の自治力の向上が課題となっている。
公募型協働支援補助事業については、事業のPR方法や、制度創設の狙いでもある活動団体の連携が課題となっている。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

NPO・ボランティア団体やアダプト団体は、その育成・支援が協働型社会の構築に必要なことから、市民活動団体(NPO、ボランティア団体等)に係る情報発信の充実を図る。
地縁団体(区・町内会)は地域経営の重要な構成員であり、育成・支援が協働型社会の構築にとって重要なことから、地域の自治、並びにまちづくりなどへの関心・理解を深めるため、江南市市民自治によるまちづくり基本条例や市民参加条例の啓発に努め、市民が行政に参加しやすい環境を整える。
公募型協働支援補助事業は、協働を進める重要な事業であり、市民活動団体へのさらなる啓発と周知を実施する。
市政へのより深い理解と関心に応えるための情報発信・受信の手法や体制を充実させる。

まちづくり評価シート

市長政策室【担う分野: V 経営、企画分野】

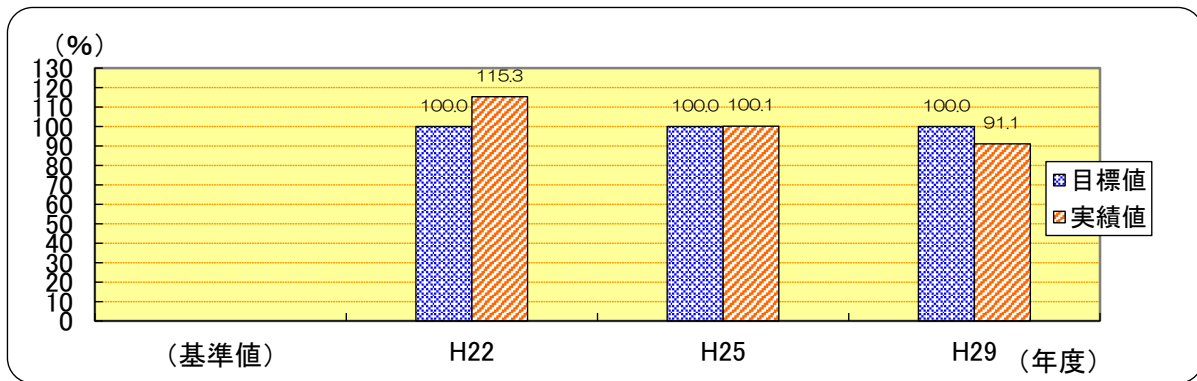
秘書政策課【担う柱: 2 戦略的な行政経営の推進】

H30担当部・課	企画部(秘書政策課)
	総務部(行政経営課)

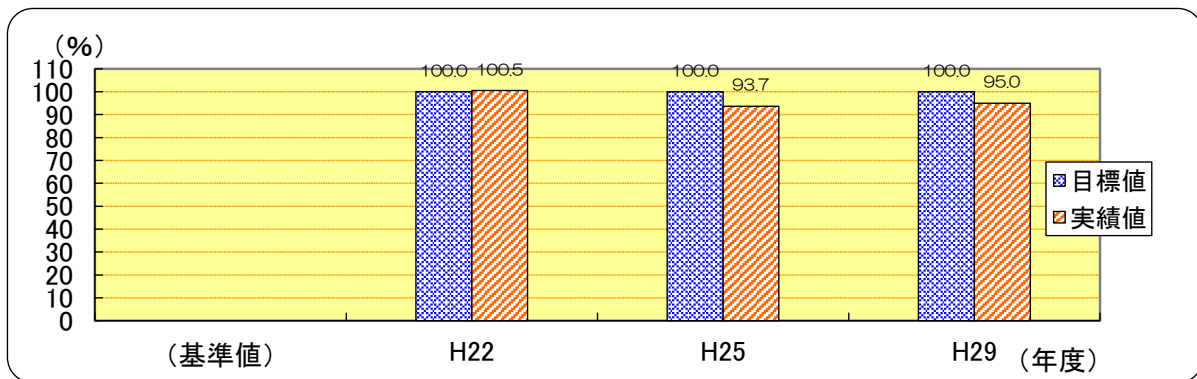
◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 限られた資源の選択と集中により、市民満足度の高い行財政運営が行われている

指標名	基本計画に掲げられた全体目標の平均達成率			実績値の分析
	単位	(基準値)	H29	
目標値	%	—	100.0	平成29年4月に実施した市民満足度調査結果により目標値の平均達成率が91.1%という結果になった。目標を概ね達成したといえる。
実績値		—	91.1	
達成率		—	91.1	
達成状況		—	—	



指標名	基本計画に掲げられた個別目標の平均達成率			実績値の分析
	単位	(基準値)	H29	
目標値	%	—	100.0	平成29年4月に実施した市民満足度調査結果及び平成30年7月に実施した施策評価結果により目標値の平均達成率が95.0%で、概ね目標を達成したといえる。分野別で見ると、最も高かったのは生活環境、産業分野の112.0%、最も低かったのは経営、企画分野の84.7%であった。
実績値		—	95.0	
達成率		—	95.0	
達成状況		—	—	



全体目標に対するまちづくり評価

基本計画に掲げられた全体目標及び個別目標について、全ての目標値100.0%達成することは、非常に困難ではあるが、与えられた経営資源を活用して最大の成果を挙げる経営に力を入れるとともに、住民説明会やパブリックコメントなどの機会を捉え、市民の意見を市政に反映し、市民の満足度を高める行政運営を行う必要がある。

個別目標① 市役所に限られた経営資源で政策を実現し、市民ニーズに応えている

《H30担当課》秘書政策課

指標名 江南市戦略計画に関する住民説明会の参加人数							
	単位	H17 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	—	—	—	2,000	
実績値		1,456	—	—	—	461	
達成率		%	—	—	—	23.1	
達成状況		—	—	—	—	—	
取り組みの状況							
市民	第6次総合計画に関する住民説明会に参加し、市政について意見を述べた。パブリックコメントで意見を提出した。(平成29年度は19件)						
市役所	平成29年7月から8月に、すいとぴあ江南、布袋ふれあい会館、古知野西公民館、宮田地区学習等供用施設、市民文化会館の5ヶ所で合計6回、第6次江南市総合計画に関する住民説明会を開催した。						

《H30担当課》秘書政策課

指標名 政策会議に付議した案件数								
	単位	H24 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	件	—	↑	↑	↑	↑	・政策決定支援事業	
実績値		31	35	46	33	41		
達成率		%	—	112.9	148.4	106.5		132.3
達成状況		—	—	☀	☀	☀		☀
取り組みの状況								
市民								
市役所	市政運営の基本方針、重要施策の審議、決定及び各部局間の総合調整を行う政策会議を19回開催し、41件の案件について意思決定を行った。							

《H30担当課》秘書政策課

指標名 グループ制が適切に機能していると感じる組織の数								
	単位	H20 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	課	—	20	23	—	—	・政策決定支援事業	
実績値		8	14	14	—	—		
達成率		%	—	70.0	60.9	—		—
達成状況		—	—	☁	↑	—		—
取り組みの状況								
市民								
市役所	平成28年度にグループの兼務を廃止し、担当事務の明確化を図ることにより、専門性の確保と将来的な人材育成を視野に入れた体制づくりのため、グループの在り方を見直した。							

目標達成のための今後の展開方針

市を取り巻く社会経済情勢の変化や複雑・多様化する行政ニーズに対応していくため、第6次江南市総合計画の策定を市民協働により進める。
また、効果的・効率的な公共施設の再配置計画についても、行政サービスの低下を最小限に抑え、今後の人口減少や少子高齢化に伴う人口構造や市民ニーズの変化など、時代に即した計画となるよう、市民等の意見を取り入れながら進める。

個別目標に対するまちづくり評価

江南市戦略計画に基づき、限られた経営資源の中で、市民の行政ニーズに迅速に対応できるよう、市民満足度の向上を目指した政策の推進に取り組んでいる。今後も、市民の意見を取り入れながら、市の将来を見据えた政策を推進し、政策課題に迅速かつ適切に対応していく必要がある。

個別目標② 職員自ら資質の向上を図り、政策形成とマネジメント能力をもった職員が育っている

《H30担当課》秘書政策課

指標名	政策形成とマネジメント能力をもった職員を育てる研修などの職員1人当たり平均受講回数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	回	—	1.6	1.6	1.6	1.6	・人材育成事業
実績値		0.9	1.57	1.42	1.59	1.47	
達成率		%	—	98.1	88.8	99.4	
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	市民調査、窓口利用者アンケート調査や市長への手紙等により、職員の資質・対応について回答した。
市役所	職員の政策形成とマネジメント能力を育成するため、社会情勢の変化や組織編成の変更に対応し、職員がより自らの資質の向上に努められるよう新たな研修等を実施したり現行の研修を充実させた。

《H30担当課》秘書政策課

指標名	自己啓発をしている職員の割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	50.0	50.0	55.0	60.0	・人材育成事業 ・人事管理事業
実績値		33.6	51.8	50.6	50.2	64.5	
達成率		%	—	103.6	101.2	91.3	
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	市民調査、窓口利用者アンケート調査や市長への手紙等により、職員の資質・対応について回答した。
市役所	内部研修、派遣研修、通信教育講座や資格取得支援などの内容を充実させ、職員が自己啓発に取り組みやすい環境を整えた。

指標名	成果目標を意識して、仕事に取り組んだり、業務の改善を心がけている職員の割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	90.0	90.0	95.0	100.0	・人事管理事業
実績値		69.0	79.0	79.7	80.3	93.6	
達成率		—	87.8	88.6	84.5	93.6	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市民調査、窓口利用者アンケート調査や市長への手紙等により、職員の資質・対応について回答した。						
市役所	人事評価制度の評価シートや評価方法等に成果目標を盛り込むことにより、職員が成果目標を意識して、仕事に取り組んだり、業務の改善をしやすい環境を整えた。						

目標達成のための今後の展開方針

職員の能力に応じた研修を、効果的に実施する。また、職員同士のコミュニケーションが活発で、職場の一体感が高まり、ともに成長していく職場風土づくりに努める。
人材育成を進め、職員がより自らの資質の向上に努められるよう新たな研修等の実施や現行の研修の充実を図り、これまで以上に職員が意欲と誇りをもって職務遂行ができるよう調査研究を行う。

個別目標に対するまちづくり評価

各指標の達成状況から職員自ら資質の向上を図り、政策形成とマネジメント能力をもった職員の育成に力を注いでいる。職員数の削減や業務量の拡大など、一人ひとりの職員に対する業務負担が大きくなっている中、市民目線に立ち、自ら考え、行動する職員の育成など、さらなる職員の資質向上に努めて欲しい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

地方分権の進展に伴い基礎自治体の役割が増大する中、トップマネジメント政策立案機能の強化、分権型経営システムの確立といった行政経営の視点を取り入れ、各組織が展望や目標を共有し、使命を明確にして、戦略に基づいて、効率的で効果的な業務執行を行うことができた。
また、それを担う経営能力やリーダーシップを兼ね備えた職員を育成するため、多様な研修の実施や自己啓発を促し、職員一人ひとりの資質と意欲を高めることができた。

◆柱全体の今後の課題

地方自治体を取り巻く社会経済情勢がめまぐるしく変化する中、限られた経営資源のもと、複雑化・多様化・専門化する市民の行政へのニーズに迅速に対応するなど、市民満足度の向上を目指した政策を推進する必要がある。
市の将来を見据えた政策を推進するため、実効性のある総合的な政策を立案し、市の政策課題に対応することが求められるとともに、職員一人ひとりが能力を最大限に発揮でき、生き生きと活躍できる風通しの良い職場環境のもと、市民から信頼される職員を育成することが求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

中長期的な視点に立った政策を立案し、限られた経営資源を選択・集中することで、市の政策課題に迅速かつ的確に対応し、市民満足度を向上させていく。
経営能力とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成するとともに、職員一人ひとりが職務に専念できる風通しの良い職場環境づくりを行うことで、市民サービスの質の向上をさせる。

まちづくり評価シート

総務部【担う分野：V 経営、企画分野】

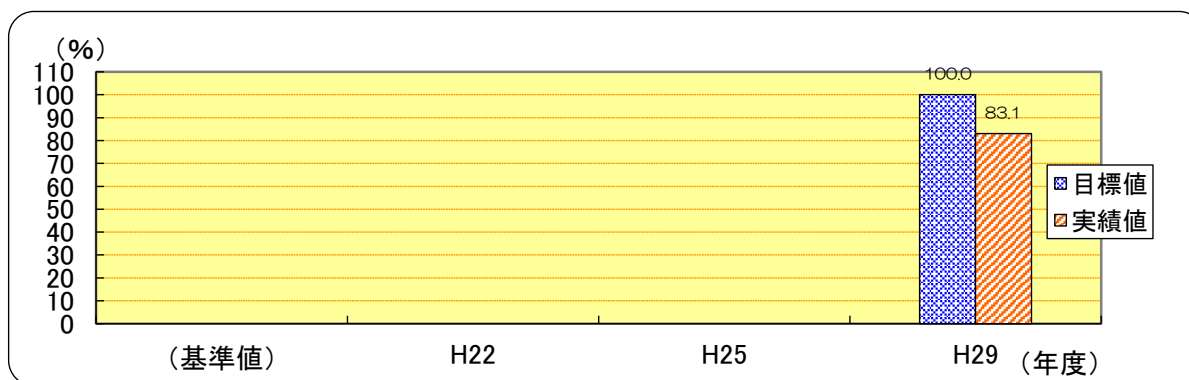
行政経営課【担う柱：2 戦略的な行政経営の推進】

H30担当部・課	総務部(行政経営課)
	企画部(秘書政策課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 限られた資源の選択と集中により、市民満足度の高い行財政運営が行われている

指標名	江南市第二次経営改革プラン(江南市第七次行政改革大綱)の進捗状況			
	単位	(基準値)	H29	実績値の分析
目標値	%	—	100.0	江南市第二次経営改革プランでは、全体の83.1%の取組において目標以上の実績を上げることができた。経営改革への取組を着実に進めることができている。
実績値		—	83.1	
達成率		—	83.1	
達成状況		—	☁	



全体目標に対するまちづくり評価

江南市第二次経営改革プランでは、全体の83.1%の取組が目標どおり、若しくは目標を上回る実績を上げることができている。経営改革の取組が着実に進められ、成果も上げられていることは評価する。計画期間は満了したが、目標を下回った取組は原因を分析し、改善に向けた取組を継続していただきたい。今後は、新たな行政改革大綱(江南市リノベーションビジョン)に基づき、引き続き行政改革に取り組んでいただきたい。

個別目標① 市役所の簡素化・効率化が図られている

《H30担当課》行政経営課、秘書政策課

指標名	事務事業が改善された割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・行政経営推進事業 ・行政改革推進事業 ・行政事業レビュー事業
実績値		65.2	94.4	90.0	91.6	90.9	
達成率		—	94.4	90.0	91.6	90.9	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	まちづくり会議において、まちづくり評価や施策評価を行い、戦略計画に掲げる目標の達成状況について意見交換した。 行政改革推進委員会において、第二次経営改革プランの行動計画に掲げる取組業務の進捗状況や新たな行政改革大綱の策定について意見交換した。 行政事業レビューにおいて、市が実施している事業の必要性や事業自体の適正さについて評価・判定し、その結果を取りまとめた意見書を市長に提出した。
市役所	施策評価、事務事業評価を行い、目標達成に向けた課題を洗い出した。その課題に対する改善内容や今後の施策展開の方針などを実行計画へ反映した。 平成30年度からの新たな行政改革大綱として「江南市リノベーションビジョン」を策定した。 全庁的な業務改善運動smart運動を実施した。 行政事業レビューの判定結果や意見書の内容を踏まえ、事業の見直方針を定めた。また、一部の事業については、見直し内容を予算に反映した。

目標達成のための今後の展開方針

より質の高い行政サービスの提供と持続可能な行財政基盤を確立するため、継続して市民参加型の行政事業レビューを実施し事業の見直しを図るとともに、江南市リノベーションビジョンの取組事項の着実な推進を図る。行政評価のしくみやまちづくり会議を通してPDCAのマネジメントサイクルの確立を図る。

個別目標に対するまちづくり評価

市民と共に事業の評価、判定を行う行政事業レビューを新たな取組として実施するなど事務事業の改善が進められている。今後も、これまで築いてきた行政経営のしくみをさらに発展させ、住民サービスの向上、事務の効率化に取り組んでいただきたい。

個別目標② 計画的で健全な財政運営が行われている

《H30担当課》行政経営課

指標名	経常収支比率(単年度)						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	82.0	80.0	77.0	75.0	・予算編成事業 ・決算関係調査事業
実績値		86.0	86.0	83.8	88.2	85.8	
達成率		—	95.3	95.5	87.3	87.4	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市の財政運営について、「市長への手紙」、「各課へのメール照会」を通して10件(H26:3件、H27:1件、H28:1件、H29:5件)の意見を提出した。						
市役所	限られた財源の中で、景気の動向や国、県の補助事業に対応しつつ、「財政の健全化」と「市民サービスの確保」のバランスをとりながら、歳出の抑制に取り組み、効率的で効果的な行財政運営をめざして、予算を編成した。						

《H30担当課》行政経営課

指標名	実質公債費比率(前3年度平均)						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	7.0	7.0	7.0	7.0	・予算編成事業 ・決算関係調査事業 ・起債事業
実績値		10.1	4.4	4.2	4.3	4.2	
達成率		—	159.1	166.7	162.8	166.7	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市の財政運営について、「市長への手紙」、「各課へのメール照会」を通して10件(H26:3件、H27:1件、H28:1件、H29:5件)の意見を提出した。						
市役所	地方交付税の代替財源である、臨時財政対策債は増加しているものの、建設地方債については、後年度の財政負担を考慮し、必要最小限の発行額となるよう、公債費の抑制を図った。						

《H30担当課》行政経営課

指標名	財政力指数(単年度)						主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	—	—	0.84	0.86	0.88	0.90	・予算編成事業 ・決算関係調査事業
実績値		0.91	0.81	0.81	0.82	0.82	
達成率		—	96.4	94.2	93.2	91.1	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	市の財政運営について、「市長への手紙」、「各課へのメール照会」を通して10件(H26:3件、H27:1件、H28:1件、H29:5件)の意見を提出した。
市役所	財政力指数は、国の施策や財政措置にも左右されるが、受益者負担の適正化や、なお一層の歳出削減と歳入確保に努め、自立可能な行財政基盤の確立をめざした。

目標達成のための今後の展開方針
<p>経常収支比率(単年度)は、少子高齢化への対応等、義務的経費の増加が見込まれる中で、経常経費の削減を図り、限られた経営資源を効率的かつ効果的に活用し、収支のバランスのとれた財政運営に努める。</p> <p>実質公債費比率(前3年度平均)は、多額の費用を要する布袋駅付近鉄道高架化整備事業、新体育館建設事業などにより、比率の上昇が見込まれるため、新たな市債の発行にあたっては将来の財政負担を十分考慮し、必要最小限の発行額となるよう努め、財政の健全化を維持する。</p> <p>財政力指数(単年度)は、当市の努力の及ばない国の施策や財政措置にも左右されるが、自主財源の一層の確保等に努める。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
<p>扶助費等の義務的経費の増や経常一般財源の減などにより、経常収支比率の目標を達成できなかったものの、受益者負担の適正化や実質公債費比率の縮減などに努めたことは評価できる。今後は少子高齢化により、さらに経常経費の増大が予想されるため、事業の選択と集中を徹底し、財政の健全化と市民サービスの確保のバランスを取りながら、健全な財政運営に努めていただきたい。</p>

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

行政改革推進委員会を開催し、第二次経営改革プランの進捗状況について市民参画による意見交換を行い、83.1%の事務事業の改善を達成することができた。

また、受益者負担の適正化に取り組み、「財政の健全化」と「市民サービスの確保」のバランスのとれた効率的で効果的な行財政運営を行った。新たな市債の発行については、後年度の財政負担を考慮して必要最小限の発行額とした。

◆柱全体の今後の課題

今後も少子高齢化への対応など義務的経費の増加が見込まれており、健全な財政運営を維持していく必要がある。

また、引き続き行政改革に取り組み、限られた経営資源の中で最大の成果をあげる経営の実現に向け、着実に推進していく必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

限られた経営資源を効率的・効果的に活用するため、事業の選択と集中を徹底し、自主財源の確保や経常経費の削減を図り、収支バランスのとれた財政運営に努めていく。

また、新たに策定した江南市リノベーションビジョンに掲げる取組事項を推進することで既存の業務の改善を図り、効率的かつ効果的な行政運営の実現を目指していく。

まちづくり評価シート

総務部【担う分野: V 経営、企画分野】

税務課、収納課【担う柱: 3 公平かつ適正な課税・収納】

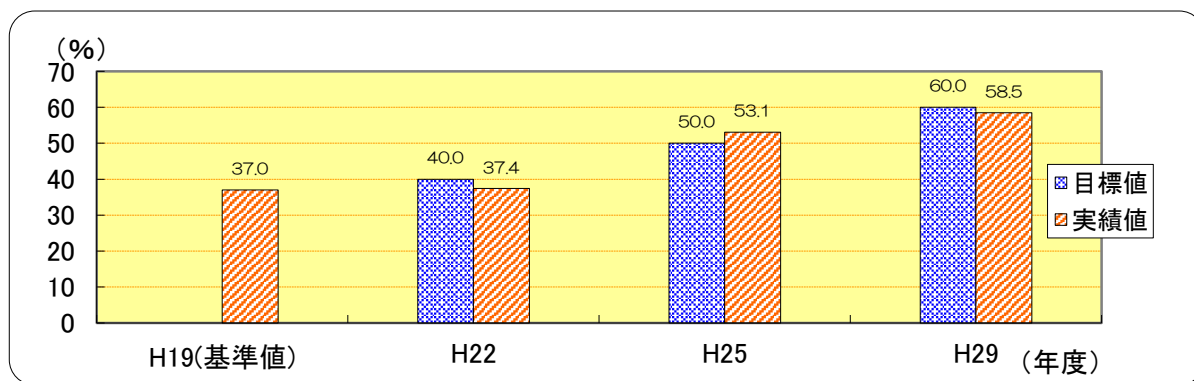
H30担当部・課

総務部(税務課・収納課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 市民は納税意識が高く、税負担が公平かつ適正であると感じている

指標名	税が公平・適正に課税・収納されていると感じている市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H29	
目標値	%	—	60.0	市税の情報については、頻繁に行われた税制改正に対して広報 こうなんや市ホームページで周知を実施。また、コンビニ収納の周 知や口座振替の加入促進を図り、さらに、日曜市役所開設により 市民サービスの向上を図った。また、賦課誤り等を最少限にとどめ るとともに、滞納者への滞納整理を推進したことにより、市民の税 に対する理解が深まり、税が公平・適正に課税・収納されていると 感じている市民の割合の増加につながったと推測される。
実績値		37.0	58.5	
達成率	—	97.5		
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

世界的に経済成長が鈍化する中、わが国では、更に少子高齢化が進行したことから、消費税の引き上げなど、税負担が増大していき、可処分所得の減少が続いている。そのような中、市民の税に対する関心が高まり、有効利用を求める声があることから、税の目的やしぐみをわかりやすく説明し、また、一層の納税意識を高めるためにも、職員一人ひとりの資質や、税務能力の向上を図り、説明責任が果たせる体制の整備を進めてきた。また、税負担の公平性を保つため、滞納者に対する財産調査や文書催告等を強化し、納税資力のある滞納者に対しては、滞納処分の強化を図ってきた。今後も、法に基づく納税者の申告等の他に、実態(現場等)調査により課税客体の正確な把握に努める等、公平・適正な事務処理を実施し、また、納税者の理解を得つつ、公平・確実な徴収に努め、市税収入の確保を図っていただきたい。

個別目標① 市民は、公平かつ適正な課税がされていると感じている

《H30担当課》税務課

指標名	返戻納付書の件数						主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	件	—	2	2	1	0	・軽自動車税賦課事業 ・個人賦課事業 ・法人賦課事業 ・家屋賦課事業 ・土地賦課事業 ・償却資産賦課事業
実績値		10	8	8	6	4	
達成率	%	—	25.0	25.0	16.7	0.0	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	↑	





取り組みの状況	
市民	税関係の申告を(期限内に)行った。 自らの課税内容を確認した。
市役所	申告書や各種の課税資料を正しく精査し、的確に処理するとともに、現地調査等を実施し、課税客体の把握に努めた。 税務署や県が主催する研修に参加するとともに、課内でも、精通職員による勉強会を実施した。 電算システム変更に伴い、申告書や納付書に同封する説明文(手引等)をわかりやすく整理し作成した。 正確・迅速に各種証明書を発行した。 各種証明書の電話予約を実施するとともに、月2回の日曜市役所を開設した。

目標達成のための今後の展開方針
各種の税制改正やマイナンバー制度の対応に向けたシステム改修も一巡し、システムの検証や運用に伴う事務の見直しなどを実施しているが、来年度の固定資産評価替えや今後も新たな税制改正に向けたシステム改修や引き続き統合型GISシステムの効率的運用も必要となっている。賦課に当たっては引き続き、課税資料、課税客体の正確な把握に努め、チェック機能の充実を図り適正な課税を実施する。そのために、職員研修の一層の充実を図り、市税全体に対する税務職員の専門性を高めることにより、市民に対する説明責任を果たすとともに、税に対する理解と信頼性を高めていく。

個別目標に対するまちづくり評価
市税の課税事務にあたっては、より一層課税客体の把握に努めるとともに、チェック体制を強化し、賦課誤り等の防止に努めていただきたい。 市税の賦課に対しては、なお一層の説明責任が果たせるよう職員の資質向上を図っていただくとともに、税制改正の内容等に関する情報については、わかりやすく広報こうなんなどで知らせていただきたい。

個別目標② 公平かつ適正な税負担を感じ、自主的に納税を行っている

《H30担当課》収納課

指標名	収納率(市税現年度課税分)						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値		—	↑	↑	↑	↑	・滞納処分事業
実績値	%	98.4	98.7	98.9	98.9	99.0	
達成率	%	—	100.3	100.5	100.5	100.6	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	コンビニ収納や日曜市役所などの納付機会を利用することにより、自主的に納期限内に納付した。
市役所	訪問や文書で催告を行うとともに、日曜市役所や夜間納税相談の機会を設けて納税を促し、それでも納付がない方には滞納処分を行った。

指標名		口座振替加入率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	38.5	39.0	39.5	40.0	・納税推進事業
実績値		35.2	37.8	37.8	37.9	37.8	
達成率		—	98.2	96.9	95.9	94.5	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	口座振替を利用して、市税を納付した。 口座振替を利用していない人は、口座振替の利便性を理解し口座振替の手続きを行った。						
市役所	便利で安全・確実な口座振替の利用について広報こうなんや市ホームページ、窓口封筒などで啓発した。市税の当初納付書に市税の口座振替依頼書を綴じ込み、加入促進に努めた。						

目標達成のための今後の展開方針	
引き続き訪問や文書催告を実施し、納税相談を充実させて自主納付を促すとともに、納税意識の低い滞納者には税負担の公平性を保つため、財産調査を行い滞納処分を行っていく。 納期限内納付や納税機会拡大のため、コンビニ収納の利用や口座振替加入を啓発し、納税意識の向上に努めていく。	

個別目標に対するまちづくり評価	
税負担の公平性の観点から、納税意識の希薄な納税者に対し、自己の責任において納税義務を果たすよう努めてほしい。 納期限内納付の徹底を図るため、納税機会の拡大と利便性向上のため、コンビニ収納の利用促進や口座振替への加入推進を図るよう広報こうなんや市ホームページなどで啓発し、納税意識のさらなる向上に努めてほしい。	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
個人市民税は、平成24年度から特別徴収の推進を図ってきたことから、収納率(現年度)が、平成26年度決算98.62%、平成27年度決算98.75%、平成28年度決算98.81%と順調に向上してきた。また、財産調査等で、滞納者の実態把握に努め、納税資力のある滞納者には、差押え等の、滞納処分を強化したことから、固定資産税・都市計画税等についても収納率の向上が図られた。平成27年度と平成28年度には、軽自動車税の税率等改正によるシステム改修と個人市民税の年金特徴の平準化等に伴う、システム改修を実施するとともに、マイナンバー制度の導入、申告書や給与支払報告書等の課税資料の電子化を推進したことにより、事務の精度を高め、効率的な運用を図った。

◆柱全体の今後の課題
市民にとっては厳しい家計のなか、税負担を行うものであり、説明責任の徹底、公平かつ適正な課税及び滞納者への厳格な対応が重要である。 また、自主財源の基幹となる市税の確保を図ることは、安定した行政運営を進めるために必要であることから、適正な課税事務の推進と収納率向上対策の推進を図るとともに、市民の納税意識の高揚に努めていかなければならない。 また、平成28年から導入したマイナンバー制度の活用や、統合型GISの活用についても引き続き検討していく必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
税に関する研修への積極的参加、滞納整理機構への参加を通じ、職員の資質、税務能力の向上と説明責任が果たせるよう、より信頼度の高い税務事務を推進する。 税制の改正を含め、税のしくみや目的を広報活動の充実により広く市民に知らせ、市民の納税意識を高める。 納期限内納付の促進や公平・公正な滞納整理に積極的に取り組み、自主財源の基幹をなす市税の一層の確保に努める。 社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の対応については、今後の連携強化に向けて、適切な運用に努めるよう情報収集に努めるとともに、十分な検討を行っていく。

まちづくり評価シート

総務部【担う分野：V 経営、企画分野】

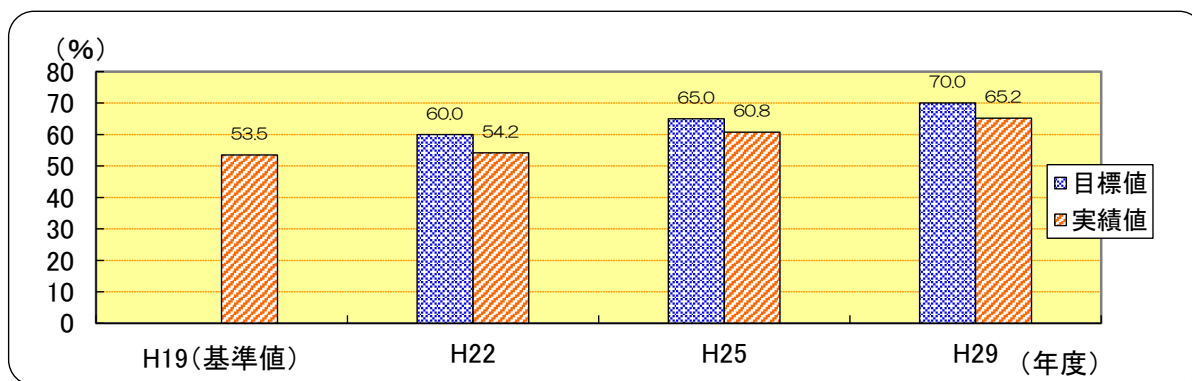
総務課、会計課、監査委員事務局【担う柱：4 効率的かつ円滑な事務管理の推進】

H30担当部・課	総務部 (総務課、会計課、監査委員事務局)
----------	--------------------------

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 適正な事務管理及び資産の管理・運用により、市民は市役所を信頼している

指標名	市役所の事務が、効率的かつ適切に行われていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H29	実績値の分析 市役所の事務が、効率的かつ適切に行われていると感じる市民の割合は65%を超えており、概ね達成している。これは職員が公平かつ適正な事務を心がけた結果と考えられる。今後も適正な事務管理をさらに進める。
目標値	%	—	70.0	
実績値	%	53.5	65.2	
達成率	%	—	93.1	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価
市有財産は適正に管理されている中で、普通財産をより有効活用されたい。情報公開制度などは、適切に処理され、電算システムは安定稼働しており、引き続き適正な維持管理に努められたい。公金については、適正な管理・運用に努められたい。

個別目標① 効率的かつ円滑に業務が実施され、わかりやすい情報の提供により開かれた市政が行われている

《H30担当課》総務課

指標名	情報公開制度に基づく不服申立て件数						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・情報公開事業
目標値	件	—	0	0	0	0	
実績値	件	0	0	0	0	0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	☀	

取り組みの状況	
市民	112件(H26:24件、H27:28件、H28:29件、H29:31件)の情報公開請求をした。
市役所	不開示とした4件(H26:1件、H27:2件、H28:1件、H29:0件)を除き、108件(H26:23件、H27:26件、H28:28件、H29:31件)の情報公開を行った。

指標名	個人情報漏洩件数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	件	—	0	0	0	0	・個人情報保護事業	
実績値		0	0	0	0	0		
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0		100.0
達成状況		—	—					
取り組みの状況								
市民	33件(H26:6件、H27:14件、H28:10件、H29:3件)の個人情報の開示請求をした。							
市役所	不開示とした6件(H26:0件、H27:3件、H28:3件、H29:0件)を除き、27件(H26:6件、H27:11件、H28:7件、H29:3件)の情報開示を行った。							

指標名	電算化した業務数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	件	—	↑	↑	↑	↑	・情報システム管理運営事業	
実績値		54	63	63	63	63		
達成率		%	—	116.7	116.7	116.7		116.7
達成状況		—	—					
取り組みの状況								
市民								
市役所	安定した電算システムの運用・保守に努めた。							

目標達成のための今後の展開方針

情報公開制度及び個人情報保護制度については、これまでと同様に適正に運用し、特に特定個人情報については厳格に運用する。
引き続き社会保障・税番号制度による情報連携開始に向け、制度の円滑な運営を図る。また、施設予約システムなどのオンラインシステム利用促進とクラウド化の推進を図る。

個別目標に対するまちづくり評価

情報公開制度及び個人情報保護制度については、より適正に運用するよう努められたい。
また、電算システムについても、より安定した稼働に努められたい。

個別目標② 資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている





指標名	普通財産に占める未利用地の割合							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業	
目標値	%	—	6.8	6.8	6.8	6.8	・市有財産管理事業	
実績値		9.2	6.4	6.4	6.1	37.8		
達成率		%	—	106.3	106.3	111.5		18.0
達成状況		—	—					

取り組みの状況	
市民	地域で有効利用できる土地(普通財産)について、行政を窓口として地元管理で有効利用した。
市役所	未利用地の有効活用に努めた結果、貸付住宅跡地を駐車場として賃貸契約により有償貸付した。

目標達成のための今後の展開方針
市有財産を適正に管理するとともに、未利用地の有効活用を図る。 小規模契約希望者登録制度の利用促進を図る。

個別目標に対するまちづくり評価
普通財産に占める未利用地の割合が減少するよう市有財産の有効活用をされたい。

《H30担当課》会計課

指標名	歳計現金の有利子運用の割合						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	↑	↑	↑	↑	・公金管理運用事業
実績値		32.0	43.0	41.6	6.1	8.4	
達成率		—	134.4	130.0	19.1	26.3	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	
市役所	歳計現金(市の歳入・歳出に属する現金)の有利子運用について適正に資金需要を把握し、余裕金については安全性を重視し適切に運用を実施した。

目標達成のための今後の展開方針
歳計現金については、債券購入が困難な状況が続いているため、定期預金での運用をしていく。基金については、必要な時期に必要な額を取崩しできるよう、安全かつ有利な運用を実施する。

個別目標に対するまちづくり評価
低金利が続くなか、適切な運用に努められたい。

個別目標③ 各種行政委員会の事務が適正に行われ、市民の信頼が得られている

《H30担当課》総務課

指標名 市長・市議会議員選挙投票率【市長】							
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	—	65.0	—	—	選挙管理執行事業
実績値		60.2	—	53.6	—	—	
達成率		—	—	82.5	—	—	
達成状況	—	—	—		—	—	
取り組みの状況							
市民	政治・社会に関心をもち、市長選挙に参加した。						
市役所	市長選挙において、各種の啓発活動を実施した。						

《H30担当課》総務課

指標名 市長・市議会議員選挙投票率【市議】							
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	—	65.0	—	—	選挙管理執行事業
実績値		60.2	—	53.6	—	—	
達成率		—	—	82.5	—	—	
達成状況	—	—	—		—	—	
取り組みの状況							
市民	政治・社会に関心をもち、市議会議員選挙に参加した。						
市役所	市議会議員選挙において、各種の啓発活動を実施した。						

目標達成のための今後の展開方針

平成28年の参議院議員通常選挙より選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた。若者世代をはじめとする全ての世代の投票率が向上するよう、愛知県選挙管理委員会とともに選挙啓発を図る。

個別目標に対するまちづくり評価

市長選挙・市議会議員選挙については、投票率が低下しないよう、啓発を引き続き推進されたい。

指標名		決算審査における意見等指摘件数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	↓	↓	↓	↓	・監査・審査・検査事業
実績値		6	7	7	8	8	
達成率		%	—	85.7	85.7	75.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民							
市役所	行政運営の適法性・効率性・妥当性を担保するため、指摘にとどまらず指導に重点をおき、監査・審査・検査を実施した。技術的専門知識を必要とする工事監査では、専門的知識を有する者に委託し、その助言を得ながら実施するなど監査の充実を図った。						

目標達成のための今後の展開方針

監査を継続的に実施することにより、行政運営の適法性・効率性・妥当性を担保する。

個別目標に対するまちづくり評価

引き続き、行政運営の適法性・効率性・妥当性が担保できるよう、監査を継続的に実施し、適切な指摘・指導に努める必要がある。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

市有財産を適正に管理できた。また、情報公開制度及び個人情報保護制度については、適正に運用され、電算システムは安定稼動することができた。
歳計現金について、年間の収支状況を把握し、安全かつ有利な運用を図った。

◆柱全体の今後の課題

効率的かつ円滑な事務管理を推進するとともに、社会保障・税番号制度に対応した情報システムなど電子自治体の実現を図る。また、データセンターを活用し、プライベートクラウド運用による災害対策とセキュリティの向上を図る。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

政策法務などの専門知識をもった職員を育成し、情報公開を進めて、行政の透明性を高め、公平かつ適正な事務執行を徹底するとともに個人情報保護などの安全対策を図る。

まちづくり評価シート

議会事務局【担う分野：V 経営、企画分野】

議事課【担う柱：5 より開かれた適切な議会運営への支援】

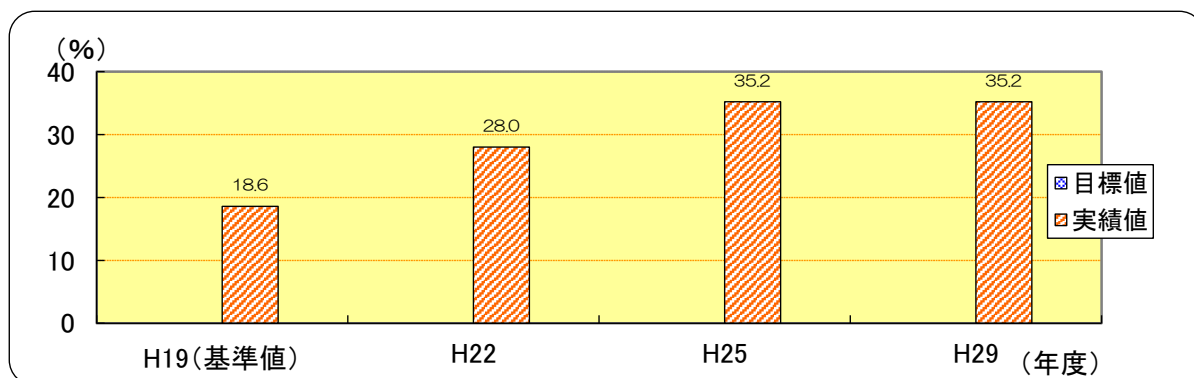
H30担当部・課

議会事務局(議事課)

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている

指標名	議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H29	実績値の分析
目標値	%	—	↑	「市民と議会との意見交換会」を開催したことや、広報に「議会のようす」を掲載したことで、実績値が伸びたものと考えられる。また、本会議全体の生中継、一般質問の録画中継等の情報発信を行ったことなども寄与したものとする。
実績値		18.6	35.2	
達成率	%	—	189.2	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

現在実施している広報こうなんや市議会ホームページを利用した議会活動の紹介、議員や会派で行う「市政報告」、「市民と議会との意見交換会」、市政相談などの議員活動は、わかりやすく親しまれる議会運営を行うために必要不可欠といえる。議会の内容を市民にわかりやすく伝えることは、開かれた議会の実現のために必要である。議会は、説明責任を果たすことや透明性の確保がより一層求められていることから、市民に対して引き続き積極的な広報活動に努められたい。

個別目標① より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている

《H30担当課》議事課

指標名	議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合						
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	↑	・議会広報事業
実績値		18.6	—	—	—	35.2	
達成率	%	—	—	—	—	189.2	
達成状況	—	—	—	—	—	☀	

取り組みの状況

市民	広報こうなんや市議会ホームページ、フェイスブックなどで、議会の内容や議会活動の情報を得た。本会議や一般質問について、生中継及び録画中継をインターネットで視聴した。「市民と議会との意見交換会」に参加した。
市役所	広報こうなんに議会の内容を、市議会ホームページに議会活動を掲載した。本会議の様態を開会日から閉会日までの全日程を、本庁舎ロビーのモニターで放映した。インターネットにより本会議を生中継及び一般質問の録画中継を配信した。一般質問の通告要旨を市役所1階のロビーへの掲示し、市議会ホームページへ掲載した。「市民と議会との意見交換会」を開催した。フェイスブックにより議会の情報を発信した。

目標達成のための今後の展開方針

議会と議員の活動を明確化する議会基本条例の制定に伴い、開かれた議会の実現をめざす具体的な施策として、「市民と議会との意見交換会」を平成26年度から実施している。この意見交換会を、多くの市民が参加し活発な意見交換とすることで、より開かれた身近な議会に結びつける。

個別目標に対するまちづくり評価

議員がそれぞれの地域における活動や、「市民と議会との意見交換会」などの議会広報活動は評価でき、それが市民満足度の結果に反映されたと考える。
議会基本条例に基づき、説明責任を果たし透明性を確保することで、開かれた議会の実現を旨めずとともに、市民にとってわかりやすい、身近な議会となるように努められたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

「市民と議会との意見交換会」を開催したことや、広報こうなんに「議会のようす」を掲載したこと、本会議全体の生中継、一般質問の録画中継をインターネットにより配信したこと、新たにフェイスブックを活用して情報発信を行ったことなどの議会広報活動により、市民が議会の内容を知り、高い関心を得ることが出来た。

◆柱全体の今後の課題

開かれた議会運営のために、議会の透明性を確保し、市民から、議会活動についての理解を得られることが求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

開かれた議会運営のためには、今までに実施してきたインターネットによる本会議全体の生中継や議決結果など市議会ホームページ、広報こうなん、フェイスブック等で情報を提供することは効果的な手段であるため、今後もより一層の充実に努めるとともに、「市民と議会との意見交換会」などを実施し活用することで、議会と市民との距離を縮め、わかりやすい、親しみのある議会に結びつけていく。

卷末資料

- 1 成果目標一覧
- 2 江南市まちづくり会議の開催状況
- 3 江南市まちづくり会議設置要綱
- 4 江南市まちづくり会議の構成
(委員名簿)
- 5 まちづくり評価シートの見方
- 6 達成率の算出方法・達成状況の判定基準

1 成果目標一覧

※ 実績値が確定していない場合は、直近の値を参考値として表示

※ 目標値は後期計画策定時の値を表示し、後期計画期間内に目標値を見直した場合は()で付記

※ 戦略計画掲載指標には指標名に*を付記

I 生活環境、産業分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
1 防災・地域防犯・交通安全	全体	犯罪や災害への不安が少ないと感じる市民の割合*	%	45.1 (H19)	50.0	65.0	70.0	18
					62.4	63.9	64.0	
	個別①	非常持ち出し品や食糧などを準備している市民の割合*	%	14.4 (H18)	30.0	45.0	50.0	19
					41.4	43.6	38.7	
		防災用資機材助成の申請率*	%	83.8 (H18)	90.0	95.0	100.0	
					77.9	79.4	87.0	
	個別②	危機管理体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合*	%	25.4 (H19)	30.0	40.0	50.0	20
					36.7	35.5	30.3	
	個別③	犯罪発生件数*	件	1,850 (H18)	1,600	1,410	1,160	21
					1,621	1,245	888	
2 消防・救急	全体	火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしていると感じる市民の割合*	%	42.1 (H18)	45.0	69.5	73.5	22
					66.5	65.7	70.0	
	個別①	消防団員(水防団員)の充足率*	%	100.0 (H18)	100.0	100.0	100.0	23
					100.0	100.0	100.0	
		救急救命士有資格者数*	人	13 (H18)	16	21	22	
					18	23	23	
	個別②	救急救命士運用者数*	人	16 (H22)	16	19	19	24
					16	20	15	
	個別③	防火管理者の選任率*	%	66.4 (H18)	73.1	85.1	86.9	25
					84.7	86.9	89.6	
個別④	優良危険物施設率*	%	91.3 (H22)	—	95.0	100.0	26	
				91.3	90.2	100.0		
個別⑤	住宅用火災警報器の設置率*	%	20.9 (H19)	50.0	60.0	70.0	27	
				59.6	67.7	71.5		
個別⑥	応急手当講習の受講者数*	人	4,817 (H18)	5,300	5,600	6,100	28	
				5,577	5,338	6,703		
個別⑦	薬剤投与と救急救命士運用者数*	人	7 (H21)	11	16	19	29	
				12	19	16		
個別⑧	心拍再開率*	%	13.0 (H18)	17.0	27.0	30.0	30	
				24.6	21.4	51.1		
個別⑨	火災現場到着所要時間*	分	7.9 (H18)	7.7	7.5	7.3	31	
				7.6	7.6	9.6		
個別⑩	救急現場到着所要時間*	分	6.6 (H21)	6.5	6.4	6.3	32	
				6.5	6.4	6.7		

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ		
					H22	H25	H29			
3 市民生活	全体	迅速かつ適切に行政サービスを受けていると感じる市民の割合 *	%	26.3 (H18)	40.0	60.0	80.0	28		
					46.5	52.7	53.5			
	個別①	消費生活講座の受講者数 *	人	166 (H18)	200	230	240		29	
					198	214	686			
	個別①	消費生活相談の件数 *	件	67 (H19)	65	80	80			29
					65	93	484			
	個別①	弁護士などの専門家による相談の件数 *	件	576 (H19)	587	620	675	30		
					587	654	541			
	個別②	戸籍訂正の件数 *	件	87 (H18)	80	60	50		30	
					63	87	62			
	個別②	正確で早くて便利な窓口サービスを受けていると感じる市民の割合 *	%	94.5 (H19)	95.0	96.0	97.0	31		
					91.1	94.4	93.2			
個別③	誰もが公共交通により市内の必要な場所に行くことができ、便利に暮らしていると感じる市民の割合 *	%	19.5 (H18)	25.0	30.0	35.0	31			
				24.6	26.9	25.1				
個別③	予約便の利用便数	便	53,404 (H24)	—	—	57,000		31		
				—	—	54,661				
4 産業振興・雇用 就労	全体	生活産業が活性化し、住みよいまちであると感じる市民の割合 *	%	47.4 (H19)	48.0	49.0	51.0		33	
					45.8	50.7	49.9			
	全体	市内に雇用の場があり、活力あふれるまちであると感じる市民の割合 *	%	16.6 (H19)	20.0	24.0	25.0	34		
					15.4	20.3	23.7			
	個別①	魅力ある商店街が形成されており、便利に買い物できると感じる市民の割合 *	%	21.8 (H18)	23.0	25.0	28.0			34
					23.8	26.1	24.4			
	個別①	商品販売額 *	億円	1,802 (H16)	1,802	1,802	1,802	35		
					1,452 (H19)	—	1,017 (H26)			
	個別①	製造品出荷額 *	億円	1,602 (H17)	1,602	1,602	1,200		35	
					1,149	1,243	1,431 (H28)			
	個別①	売上DI値 *	%	△19.4 (H18)	△16.0	△12.0	△40.0	35		
					△49.1	△48.2	△33.4			
	個別②	創業支援セミナーへの参加者数 *	人	22 (H24)	—	30	30		36	
					—	30	15			
	個別③	職業紹介による就職者数 *	人	258 (H18)	350	890	900	36		
					870	748	513			
	個別③	地域に雇用の場が確保され、十分な状態であると感じる市民の割合 *	%	7.2 (H18)	10.0	15.0	15.0		37	
					8.3	10.2	11.4			
個別③	すいとぴあ江南利用者数 *	人	146,263 (H18)	160,000	174,000	188,000	37			
				144,117	142,381	151,189				

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ	
					H22	H25	H29		
	個別④	畑地かんがい用水などの修理件数 *	件	255 (H18)	240 138	240 174	240 213	37	
		認定農業者数 *	人	45 (H18)	50 42	53 31	31 20		
		耕作放棄地の面積 *	ha	208 (H17)	190 217	170 193	190 193	38	
		市民菜園の面積 *	m ²	39,427 (H22)	39,427 39,427	39,827 41,132	41,132 40,484		
		JA出荷額 *	千円	312,000 (H18)	312,000 263,000	312,000 233,000	270,000 262,000		
	個別⑤	多くの観光客で賑わい、観光の振興が十分な状態であると感じる市民の割合 *	%	27.3 (H18)	28.0 32.3	33.0 38.8	40.0 35.3	39	
		観光客数 *	人	931,000 (H18)	937,000 1,331,861	1,340,000 1,450,000	1,347,000 1,713,886		
		イベントボランティア参加者数 *	人	440 (H18)	480 330	500 267	550 176 (H28)	40	
	5 環境保全	全体	日ごろから省エネや省資源など環境に配慮して生活している市民の割合 *	%	49.3 (H18)	51.7 77.8	80.0 76.7	82.0 73.6	42
			水質汚濁・騒音・悪臭など公害のない快適な環境で生活していると感じる市民の割合 *	%	51.5 (H18)	52.6 60.6	63.0 66.5	68.0 69.8	
		個別①	環境保全活動を行っている市民の割合 *	%	64.1 (H19)	66.0 54.4	68.0 51.4	70.0 46.4	43
			市民1人当たりの二酸化炭素排出量(炭素換算) *	t.c/ 人・年	1.60 (H17)	1.32 1.51	1.32 1.54	1.32 1.51	
合併処理浄化槽設置数 *			基	4,200 (H18)	5,600 5,590	6,700 6,849	8,100 7,869		
個別②		公害苦情件数 *	件	310 (H18)	263 489	244 369	218 396	44	
		河川水質の環境基準達成項目数(PH(水素イオン濃度)、BOD(生物化学的酸素要求量)、SS(浮遊物質)、DO(溶存酸素量)) *	項目	木曾川 4 日光川 3 (H18)	木曾川 4 日光川 4 木曾川 4 日光川 4	木曾川 4 日光川 4 木曾川 4 日光川 4	木曾川 4 日光川 4 木曾川 4 日光川 4		
		大気中の窒素酸化物の量【二酸化窒素】 *	ppm	0.027 (H18)	→ 0.027	→ 0.025	→ 0.021 (H28)	45	
6 ごみ減量・処理		全体	ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合 *	%	64.0 (H18)	66.0 75.8	78.0 71.8	80.0 72.9	46
			市民1人1日当たりの家庭系可燃ごみ排出量 *	g	419 (H18)	396 402	394 397	394 395	
		個別①	1事業所1年当たりの事業系可燃ごみ排出量 *	t	9.4 (H18)	7.5 8.4	7.4 7.8	7.4 6.8	47
			リサイクル率 *	%	33.6 (H18)	35.0 32.4	36.0 28.9	36.0 26.0 (H28)	
	ボランティア分別指導員の数 *		人	136 (H18)	246 215	336 309	456 395		
	個別②	特定家庭用機器などの不法投棄台数 *	台	60 (H18)	56 18	33 16	25 6	48	
		ごみ・し尿を速やかに収集、処理することで、衛生的に暮らしていると感じる市民の割合 *	%	82.2 (H19)	83.3 83.4	84.5 85.9	86.0 87.0		

Ⅱ 健康、福祉分野

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ
					H22	H25	H29	
1 高齢者福祉	全体	高齢者が、生きがいをもち、自立して暮らしていると 感じる市民の割合 *	%	21.2 (H18)	30.0	40.0	50.0	52
					38.1	41.4	39.6	
	個別①	高齢者人口に占める要介護者の割合 *	%	13.0 (H18)	15.0	16.3	14.2	
					12.6	12.9	13.6	
	個別②	介護保険サービスを利用している割合 *	%	77.2 (H18)	80.0	82.0	85.0	53
					80.3	80.7	86.5	
個別③	高齢者の在宅生活のための福祉サービスが充実し ていると感じる市民の割合 *	%	28.5 (H19)	30.0	40.0	50.0	54	
				34.5	38.9	36.2		
	シルバー人材センターの登録者数 *	人	491 (H18)	631	721	467		
				372	359	326		
老人クラブの会員数 *	人	6,866 (H19)	8,302	8,651	5,400			
			5,938	5,322	4,173			
2 子育て	全体	延長保育などの保育サービスを受け、安心して子 育てしていると感じる市民の割合 *	%	18.8 (H18)	25.0	40.0	50.0	56
					38.0	41.6	42.2	
	学童保育や子育て相談・育児教室などの子育て支 援を受け、楽しく子育てしていると感じる市民の割 合 *	%	17.0 (H18)	25.0	40.0	50.0		
				36.4	39.9	41.6		
	個別①	保育園入園待機児童数 *	人	0 (H18)	0	0	0	57
					0	0	0	
					0	0	0	
	個別②	保育園の障害児受入待機児童数 *	人	0 (H18)	0	0	0	
					0	0	0	
	個別③	ファミリー・サポート・センター援助員数 *	人	85 (H18)	100	150	200	
					108	123	113	
	個別④	子育て支援センター(子育てサロン)の延べ利用者 数 *	人	7,632 (H18)	8,700	10,500	12,500	58
					11,927	12,389	18,035	
	個別⑤	児童虐待発生件数 *	件	6 (H18)	27	41	80	
					27	41	80	
	個別⑥	児童館活動への延べ参加利用者数 *	人	132,393 (H18)	140,000	140,000	140,000	59
112,944					123,917	100,385		
子どもフェスティバル来場者数 *		人	20,000 (H18)	30,000	30,000	30,000		
				12,000	27,000	26,000		
学童保育受入待機児童数 *	人	0 (H18)	0	0	0			
			0	0	0			
個別⑦	ひとり親家庭の自立人数 *	人	83 (H18)	90	90	98	60	
				89	92	95		
	ひとり親家庭が自立するための就労への教育支援 件数 *	件	6 (H18)	20	30	40		
				1	4	6		

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ
					H22	H25	H29	
3 障害者福祉	全体	福祉サービスが整っており、障害のある人が、作業所への通所やホームヘルパー、デイサービスなどの利用により、地域でいきいきと生活していると感じる市民の割合 *	%	20.8 (H18)	31.3	39.3	50.0	62
					33.9	41.7	37.0	
	個別①	障害者の雇率 *	%	1.46 (H18)	1.80	1.80	2.00	63
					1.56	1.53	1.76	
		公共施設のバリアフリー化率 *	%	60.1 (H18)	↗	↗	↗	
					69.8	69.8	73.1	
		就労継続支援及び就労移行支援サービスの利用人数 *	人	不明 (H18)	73	97	121	
					21	101	205	
	施設入所支援サービスの利用人数 *	人	94 (H18)	87	87	87		
				92	94	89		
	訪問系サービス(ホームヘルプ等)の利用人数 *	人	77 (H18)	89	94	100		
				67	83	53		
個別②	基幹相談支援センターへの相談件数 *	人	*** (H25)	—	—	1,200	64	
				—	—	1,347		
個別③	社会福祉法人への指導監査における不適正な運営指摘件数 *	件	*** (H25)	—	—	0	65	
				—	—	0		
個別③	市の母子通園施設への受入待機児童数 *	人	0 (H18)	0	0	0		
				0	0	0		
4 健康づくり	全体	健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じる市民の割合 *	%	72.4 (H19)	75.0	77.5	80.0	66
					73.1	73.1	69.3	
	個別①	健康診査受診率 *	%	67.7 (H19)	70.0	72.5	75.0	67
					65.5	67.4	69.8	
		運動習慣のある市民の割合 *	%	男 16.4 女 14.0 (H14)	男 27.0 女 24.0	男 32.0 女 29.0	男 37.0 女 34.0	
					—	男 26.0 女 19.7 (H23)	男 49.2 女 42.3	
	健康フェスティバル参加者数 *	人	1,600 (H18)	2,000	3,500	3,700(4,000)		
				3,332	3,660	3,626		
	個別②	予防接種(四種混合)接種率 *	%	89.4 (H18)	100.0	100.0	100.0	68
					100.0	99.7	91.9	
		予防接種(BCG)接種率 *	%	98.1 (H18)	100.0	100.0	100.0	
	99.6				98.8	99.4		
	個別③	狂犬病予防注射接種率 *	%	83.6 (H18)	100.0	100.0	100.0	69
					84.4	81.0	82.7	
	個別③	妊婦健康診査の受診率 *	%	95.3 (H18)	100.0	100.0	100.0	70
					95.4	93.4	98.3	
	個別④	乳幼児健康診査(4か月児健康診査)の受診率 *	%	98.5 (H18)	100.0	100.0	100.0	
					97.8	99.6	95.5	
	個別④	かかりつけ医をもっている市民の割合 *	%	56.2 (H19)	60.0	65.0	70.0	70
					56.8	62.5	65.5	
個別④	病院等の医療体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合 *	%	49.3 (H18)	53.0	73.0	78.0		
				71.7	77.3	76.1		
個別④	休日急病診療所の受診者数 *	人	2,138 (H20)	2,200	2,200	2,200		
				2,197	2,172	2,644		
個別④	救急搬送件数 *	件	4,000 (H20)	4,000	4,000	4,000		
				4,399	4,687	4,953		

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ
					H22	H25	H29	
5 保険年金	全体	保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合 *	%	56.1 (H18)	60.0	65.0	75.0	72
					60.0	70.8	70.8	
	個別①	国民健康保険給付実施率 *	%	100.0 (H18)	100.0	100.0	100.0	73
					100.0	100.0	100.0	
		特定健康診査実施率 *	%	-	50.0	50.0	60.0	
					46.2	46.1	45.6	
		福祉医療費助成実施率 *	%	100.0 (H18)	100.0	100.0	100.0	
					100.0	100.0	100.0	
	後期高齢者医療給付実施率 *	%	-	100.0	100.0	100.0		
				100.0	100.0	100.0		
	個別②	国民年金保険料納付率 *	%	69.4 (H18)	↗	↗	↗	75
					62.9	65.9	73.7	
6 生活支援・福祉活動	全体	必要なときに地域で支え合う体制が整っていると感じる市民の割合 *	%	33.4 (H19)	38.4	43.4	50.0	76
					40.4	43.6	42.2	
	個別①	生活保護世帯の自立した割合 *	%	13.5 (H18)	→	→	→	77
					19.2	10.6	14.3	
	個別②	社会福祉関係の団体数、参加人数 *	団体人	19 760 (H18)	21 790	25 800	25 1,000	77
					23 826	23 899	24 850	
	個別③	民生委員の相談支援件数 *	件	2,103 (H18)	↗	↗	↗	78
					2,193	3,217	2,123	
	個別④	市の学習等供用施設の利用者数 *	人	121,286 (H18)	125,000	135,000	135,000	78
					128,762	117,924	104,264	

Ⅲ 都市生活基盤分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ	
					H22	H25	H29		
1 市街地整備	全体	秩序ある、美しいまちなみが形成されていると感じる市民の割合 *	%	21.3 (H18)	26.0 36.7	37.0 37.5	40.0 40.2	82	
	個別①	都市計画道路の整備率 *	%	64.5 (H18)	65.1 65.8	65.7 66.8	71.7 67.5		
	個別②	駅前や市街地が整備され、人々が集い賑わっていると感じる市民の割合 *	%	8.8 (H18)	13.0	16.0	20.0	83	
					15.0	18.1	20.0		
		江南駅・布袋駅の1日乗降客数 *	人	33,800 (H17)	33,800 32,566	34,200 34,273	34,600 36,044		
	個別③	江南駅前広場を通過する車両の台数 *	台	8,800 (H17)	6,000 6,544 (H21)	5,000 —	4,000 5,976	84	
個別③	土地区画整理事業の進捗率 *	%	85.4 (H21)	86.6 88.4	93.0 92.8	93.4 96.5			
2 道路	全体	道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合 *	%	35.5 (H18)	40.0 40.4	45.0 41.4	50.0 43.5	86	
	個別①	市道のアダプト制度の登録者数 *	人	175 (H18)	583 329	1,166 544	940 572		
	個別②	主要市道の歩道整備率 *	%	65.1 (H18)	69.0	72.0	75.0	87	
					66.7	67.5	68.9		
		舗装整備率 *	%	89.1 (H18)	91.0 91.7	93.0 92.5	95.0 93.1		
	個別③	道路案内標識設置数 *	基	55 (H18)	75 57	90 85	110 85		
3 公園緑地	全体	ゆとりとうるおいのある生活を送っていると感じる市民の割合 *	%	27.9 (H18)	42.1 46.1	49.2 49.9	56.2 49.5	89	
	個別①	市民1人当たりの都市公園面積 *	m ²	2.52 (H18)	3.20 3.65	5.00 3.77	7.00 3.90		
	個別②	花いっぱい運動実施箇所数 *	箇所	25 (H18)	27 32	33 34	34 32	90	
	個別③	地域で管理されている公園緑地などの数 *	箇所	28 (H18)	30 33	34 35	35 43		
	4 下水道	全体	下水道普及率 *	%	18.5 (H18)	20.3 21.6	23.1 25.0	34.2 35.2	92
		個別①	下水道使用料の収納率(現年度) *	%	98.9 (H18)	↑	↑	↑	
99.0						99.3	99.7		
個別②		市街化区域内の整備率 *	%	39.8 (H19)	45.8	52.9	72.6	93	
					45.8	50.5	72.5		
個別③		供用開始区域内の接続率 *	%	67.3 (H18)	83.0	89.0	93.0	94	
	80.4				84.6	91.0			

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
5 治水	全体	河川が整備され、安心して暮らしていると感じる市民の割合 *	%	46.2 (H18)	53.0	64.0	66.7	95
					61.9	53.7	56.2	
	個別①	準用河川般若川改修率 *	%	86.0 (H18)	92.0	100.0	100.0	96
					92.0	92.0	92.0	
		雨水貯留浸透施設設置費補助金申請件数 *	件	52 (H22)	70	200	200	
					52	221	46	
雨水浸透柵設置数	基	115 (H21)	115	170	115			
			103	10	7			
6 住環境	全体	住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合 *	%	47.9 (H18)	50.0	63.0	65.0	98
					61.3	59.3	64.9	
	個別①	開発許可や建築許可に対する指導件数 *	件	265 (H18)	260	260	260	99
					259	284	239	
		民間での建築確認割合 *	%	84.4 (H18)	90.0	93.0	97.0	
					94.9	97.0	99.0	
	耐震診断の診断実施済棟数 *	棟	798 (H18)	2,500	3,000	4,000		
				2,018	2,448	2,607		
	個別②	適切に整備・維持管理がなされている市営住宅の住宅戸数 *	戸	153 (H18)	153	153	153	100
					153	153	153	
7 上水道	全体	安全な水が安定して供給されていると感じる市民の割合 *	%	78.8 (H18)	80.0	87.0	90.0	101
					86.4	87.8	86.9	
	個別①	水道料金の収入率(現年度) *	%	98.4 (H18)	↗	↗	↗	102
					99.1	99.5	99.7	
		総収支比率 *	%	109.7 (H18)	106.2	106.2	106.2	
					116.0	105.9	108.1	
	水道普及率 *	%	88.8 (H18)	89.2	89.2	93.5		
				89.5	90.4	94.1		
	個別②	配水管改良整備率 *	%	72.1 (H18)	77.8	81.9	83.9	103
					77.7	82.2	84.4	
		地下水の許可揚水量利用率 *	%	93.8 (H18)	98.0	98.0	98.0	
					91.5	92.1	90.0	
	有収率 *	%	91.4 (H18)	92.5	93.0	94.2		
				94.1	94.4	93.8		
基幹管路更新整備率	%	0.0 (H28)	—	—	3.6	104		
			—	—	1.4			

IV 教育分野

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ
					H22	H25	H29	
1 学校教育	全体	学校・家庭・地域の協力により、子ども一人ひとりに学力、体力、社会性、人間性が身につけていると感じる市民の割合 *	%	18.3 (H18)	20.1	39.4	41.3	106
					37.6	39.1	42.5	
	個別①	学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合 *	%	85.0 (H18)	90.0	95.0	100.0	106
					81.5	85.0	85.2	
	個別①	特別支援学級等支援職員配置人数 *	人	8 (H19)	10	15	20	107
					14	17	19	
	個別②	地域の人のあいさつする児童・生徒の割合 *	%	80.2 (H18)	87.0	94.0	100.0	107
					79.2	86.5	86.2	
					273 (H18)	300	330	
	個別②	職場体験学習生徒受け入れ延べ事業所数 *	事業所	273 (H18)	309	343	312	108
					69.5 (H18)	79.0	89.0	
	個別②	地域の行事に積極的に参加している児童・生徒の割合 *	%	69.5 (H18)	79.0	89.0	100.0	108
					82.4	81.1	80.1	
	個別③	学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合 *	%	小学校 98.3 中学校 95.7 (H18)	98.0	99.0	99.5	108 ・ 109
					小学校 89.1 中学校 77.6	小学校 91.6 中学校 86.1	小学校 89.4 中学校 78.2	
					小学校 100.0 中学校 97.0	小学校 100.0 中学校 98.0	小学校 100.0 中学校 99.0	
小学校 92.7 中学校 86.2 (H18)					小学校 91.0 中学校 84.8	小学校 97.3 中学校 94.3	小学校 87.1 中学校 83.8	
個別③	登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合 *	%	20.0 (H18)	35.0	35.0	45.0	109	
				28.5	37.5	33.9		
個別④	学校施設や設備が整備され、快適で安全な教育環境の中で、児童・生徒が学習していると思う市民の割合 *	%	28.3 (H18)	31.1	49.7	52.5	110	
				46.8	45.4	49.7		
個別④	学校施設の耐震化率 *	%	61.8 (H18)	72.7	100.0	100.0	110	
				96.4	100.0	100.0		
2 教育環境	全体	青少年が健全に育成されていると感じる市民の割合 *	%	30.1 (H19)	31.6	40.2	51.3	112
					38.7	49.3	52.3	
	個別①	子どもから大人までの教育環境が整っていると感じる市民の割合 *	%	35.0 (H19)	36.5	38.0	45.0	112
					35.9	43.0	46.5	
	個別②	不登校の児童・生徒数の割合 *	%	小学校 0.5 中学校 4.5 (H18)	小学校 0.3 中学校 2.7	小学校 0.2 中学校 2.0	小学校 0.1 中学校 1.5	113
					小学校 0.5 中学校 3.8	小学校 0.7 中学校 3.5	小学校 0.8 中学校 5.2	
51.5 (H19)					53.0	54.5	57.0	
50.6					56.5	60.2		
個別②	家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると感じる市民の割合 *	%	51.5 (H19)	53.0	54.5	57.0	113	
				50.6	56.5	60.2		

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ
					H22	H25	H29	
3 生涯学習	全体	生涯学習活動に参加している市民の割合 *	%	19.9 (H19)	21.4	22.9	24.9	115
					16.6	17.1	14.5	
	個別①	生涯学習講師人材バンク登録者数 *	人	126 (H18)	150	165	185	116
					139	139	118	
		愛知江南短期大学と連携した講座の受講者数 *	人	2,011 (H18)	2,100	2,190	2,310	
					1,561	1,546	1,336	
	個別②	1人当たりの図書等の貸出点数 *	冊	3.3 (H18)	4.2	5.1	6.4	117
					3.9	4.0	4.0	
		屋内のスポーツ施設の稼働率 *	%	84.1 (H18)	85.0	85.0	90.0	
					90.6	88.4	98.3	
	屋外のスポーツ施設の稼働率 *	%	29.7 (H18)	33.0	36.3	39.6		
				36.6	37.7	57.6		
	個別③	コミュニティ・スポーツ祭の参加者数 *	人	5,289 (H18)	5,800	7,000	7,000	118
					6,363	5,995	6,788	
		審議会などにおける女性委員の登用率 *	%	18.4 (H18)	25.0	30.0	30.0	
26.1					27.7	25.6		
男女共同参画講演会やセミナーなどへの参加割合 *		%	60.5 (H17)	70.0	70.0	90.0		
				88.3	63.7	57.8		
男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野(家庭、地域、職場)で活躍できていると感じる市民の割合 *	%	30.8 (H22)	30.8	45.0	48.0			
			30.8	43.5	40.7			
4 文化・交流	全体	文化活動や交流活動により、心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合 *	%	21.5 (H19)	24.5	27.5	31.5	120
					20.8	27.5	24.1	
	個別①	文化芸術活動を行っている市民の割合 *	%	1.3 (H18)	1.4	1.5	1.7	121
					1.1	1.1	0.8	
		市民文化会館の稼働率 *	%	47.8 (H18)	50.8	53.8	57.8	
					46.8	49.5	53.4	
	個別②	美術展出品者数 *	人	224 (H21)	235	260	300	122 ・ 123
					235	208	224	
		指定登録文化財の数 *	件	国 5 県 9 市 92 登録 2 (H18)	国 5 県 9 市 92 登録 2	国 5 県 9 市 92 登録 3	国 5 県 9 市 94 登録 3	
					国 5 県 9 市 92 登録 3	国 5 県 9 市 94 登録 3	国 5 県 9 市 95 登録 4	
	個別③	文化財普及事業への参加者数 *	人	5,647 (H18)	5,800	12,000	12,000	123
					10,694	11,137	14,461	
		江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する外国人の数 *	人	220 (H18)	280	360	500	
					370	475	717	
	個別③	江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する日本人の数 *	人	1,800 (H18)	2,000	5,600	6,500	124
6,870					5,974	5,666		
世界平和を願うパネル展の来場者数 *		人	1,198 (H18)	1,300	1,400	1,500		
					903	1,480	1,227	

V 経営、企画分野

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ
					H22	H25	H29	
1 地域経営	全体	ボランティア活動や地域活動への参加意思のある人の割合 *	%	46.6 (H18)	55.0	63.0	70.0	128
					38.2	39.4	29.0	
		ボランティア団体及びNPOの数 *	団体	105 (H18)	150	175	200	129
					139	146	155	
		アダプト制度の登録割合 *	%	0.67 (H18)	2.00	4.00	1.50	130
					0.44	0.81	0.86	
	個別①	認可された地縁団体の組織数 *	団体	33 (H18)	41	48	55	131
					37	39	42	
		広域行政事業数 *	事業	8 (H18)	10	12	13	132
					10	8	10	
		公募型協働支援補助事業採択団体数	団体	-	10	10	8	133
					4	4	9	
個別②	市ホームページのアクセス件数 *	件	309,105 (H18)	340,000	580,000	900,000	134	
				585,824	565,334	478,953		
	広報を読んでいる市民の割合 *	%	86.3 (H19)	88.0	89.0	90.0	135	
				83.4	82.3	77.7		
	「市長への手紙」の投書件数 *	件	268 (H18)	400	450	500	136	
				317	239	216		
2 行政経営	全体	基本計画に掲げられた全体目標の平均達成率 *	%	-	100.0	100.0	100.0	137
					115.3	100.1	91.1	
		基本計画に掲げられた個別目標の平均達成率 *	%	-	100.0	100.0	100.0	138
					100.5	93.7	95.0	
	個別①	江南市戦略計画に関する住民説明会の参加人数 *	人	1,456 (H17)	1,600	1,800	2,000	139
					1,241	715	461	
		政策会議に付議した案件数 *	件	31 (H24)	-	▲	▲	140
					-	21	41	
		グループ制が適切に機能していると感じる組織の数	課	8 (H20)	23	19	-	141
					12	11	-	
	個別②	政策形成とマネジメント能力をもった職員を育てる研修などの職員1人当たり平均受講回数 *	回	0.9 (H18)	1.0	1.0	1.6	142
					0.8	4.33	1.47	
		自己啓発をしている職員の割合 *	%	33.6 (H18)	40.0	50.0	60.0	143
					46.4	49.8	64.5	
		成果目標を意識して、仕事に取り組んだり、業務の改善を心がけている職員の割合 *	%	69.0 (H18)	80.0	90.0	100.0	144
					72.7	75.9	93.6	
	全体	江南市第二次経営改革プラン(江南市第七次行政改革大綱)の進捗状況 *	%	-	-	-	100.0	145
					-	-	83.1	
	個別①	事務事業が改善された割合 *	%	65.2 (H18)	100.0	100.0	100.0	146
					85.2	94.8	90.9	
個別②	経常収支比率(単年度) *	%	86.0 (H18)	83.0	80.0	75.0	147	
				82.2	84.9	85.8		
	実質公債費比率(前3年度平均) *	%	10.1 (H18)	10.0	7.0	7.0	148	
				5.9	4.7	4.2		
	財政力指数(単年度) *	-	0.91 (H19)	0.92	0.95	0.90	149	
				0.82	0.81	0.82		

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ
					H22	H25	H29	
3 課税・収納	全体	税が公平・適正に課税・収納されていると感じている市民の割合 *	%	37.0 (H19)	40.0	50.0	60.0	140
					37.4	53.1	58.5	
	個別①	返戻納付書の件数 *	件	10 (H19)	4	2	0	141
					11	12	4	
	個別②	収納率(市税現年度課税分) *	%	98.4 (H18)	↗	↗	↗	142
					98.0	98.4	99.0	
個別②	口座振替加入率 *	%	35.2 (H18)	36.0	38.0	40.0	142	
				35.7	37.9	37.8		
4 行政事務管理	全体	市役所の事務が、効率的かつ適切に行われていると感じる市民の割合 *	%	53.5 (H19)	60.0	65.0	70.0	143
					54.2	60.8	65.2	
	個別①	情報公開制度に基づく不服申立て件数 *	件	0 (H18)	0	0	0	144
					0	0	0	
	個別①	個人情報の漏洩件数 *	件	0 (H18)	0	0	0	144
					0	0	0	
	個別②	電算化した業務数 *	件	54 (H18)	↗	↗	↗	145
					60	58	63	
	個別②	普通財産に占める未利用地の割合 *	%	9.2 (H18)	8.3	7.9	6.8	145
					11.0	6.8	37.8	
個別③	歳計現金の有利子運用の割合 *	%	32.0 (H18)	↗	↗	↗	146	
				70	46	8.4		
個別③	市長・市議会議員選挙投票率 *	%	市長 60.2 市議 60.2 (H19)	—	市長 65.0 市議 65.0 (H23)	市長 65.0 市議 65.0 (H27)	147	
				—	市長 52.4 市議 52.4 (H23)	市長 53.6 市議 53.6 (H27)		
個別③	決算審査における意見等指摘件数 *	件	6 (H18)	↘	↘	↘	147	
				10	5	8		
5 議会運営への支援	全体	議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合 *	%	18.6 (H19)	↗	↗	↗	148
					28.0	35.2	35.2	

2 江南市まちづくり会議の開催状況

年度	月 日	項 目
平成28年度	9月29日 ～ 10月27日	(分野別会議) 平成26年度及び平成27年度施策評価の結果について説明し、意見交換を行いました。 ○ 生活環境、産業分野(9/29、10/5) ○ 健康、福祉分野(9/29、10/21) ○ 都市生活基盤分野(9/29、10/18) ○ 教育分野(9/29、10/27) ○ 経営、企画分野(9/29)
	12月19日	【全体会議】 「平成26年度及び平成27年度施策評価の結果」について、分野別会議で意見交換した内容を説明し、意見交換を行いました。
平成29年度	9月28日 ～ 10月25日	(分野別会議) まちづくり評価について説明し、意見交換を行いました。 ○ 生活環境、産業分野(9/28、10/18) ○ 健康、福祉分野(9/28、10/4) ○ 都市生活基盤分野(9/28) ○ 教育分野(9/28) ○ 経営、企画分野(9/28、10/25)
	12月22日	【全体会議】 後期計画期間の成果と課題及び、分野別会議で検討されたまちづくり評価の内容について説明し、意見交換を行いました。
平成30年度	9月28日	(分野別会議) まちづくり評価の結果について説明し、意見交換を行いました。 ○ 生活環境、産業分野 ○ 健康、福祉分野 ○ 都市生活基盤分野 ○ 教育分野 ○ 経営、企画分野
	12月26日	【全体会議】 分野別会議で検討されたまちづくり評価の内容について説明し、意見交換を行い、報告書をまとめました。

3 江南市まちづくり会議設置要綱

(目的)

第1条 市民と市役所が協働で江南市戦略計画（以下「計画」という。）に基づくまちづくりの進捗状況を検証し、計画に掲げられた市民の役割を推進するための啓発を行うため、江南市まちづくり会議（以下「会議」という。）を置く。

(組織)

第2条 会議は、全体会議及び分野別会議により構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1) 平成28年4月1日現在において満18歳以上の者で、市内に在住、在勤又は在学している者であって公募に応じた者

(2) 各種団体の代表者

(3) 学識経験者

(4) 課長及びこれに相当する職の市職員

3 委員の任期は、委嘱の日から3年以内とし、再任を妨げない。

(全体会議)

第3条 全体会議の所掌事務は、次のとおりとする。

(1) 計画に基づくまちづくりの評価のとりまとめ

(2) 計画の達成状況報告書の作成

(3) 計画の市民の取り組みの意見交換

2 全体会議は次に掲げる者をもって組織し、定員を17人以内とする。

(1) 次条に定める各分科会の会長、副会長及び市職員の代表者

(2) 学識経験者

3 全体会議に議長及び副議長各1人を置き、委員の互選により選出する。

4 議長は、全体会議を代表し、会務を総理する。

5 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるとき又は議長が欠けたときは、その職務を代理する。

(分野別会議)

第4条 分野別会議は次に掲げる分科会をもって構成し、各分科会の定員を17人以内とする。

(1) 第1分科会（生活環境、産業分野）

(2) 第2分科会（健康、福祉分野）

(3) 第3分科会(都市生活基盤分野)

(4) 第4分科会(教育分野)

(5) 第5分科会(経営、企画分野)

2 分野別会議は、第2条第2項の会議の委員で組織する。

3 分野別会議の所掌事務は、次のとおりとする。

(1) 各分野における計画の目標達成度の評価

(2) 各分野における計画の市民の取り組みの意見交換

4 各分科会に会長及び副会長を各1人置き、委員の互選により選出する。

5 会長は、分科会を総理し、会議の議長となる。

6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(庶務)

第5条 会議の庶務は、企画部秘書政策課において処理する。

(雑則)

第6条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

4 江南市まちづくり会議の構成（委員名簿）

（平成30年9月28日現在）

I 生活環境、産業分野

区分	氏名
公	小倉 勲夫
公	田中 光晴
公	堀場 敏之
公	望月 晴夫
団	阿部 枝美子
団 ◎	岩井 喜美子
団	高垣 澄子
団 ○	林本 剛幸
職	大岩 直文
職	貝瀬 隆志
職	山田 順一
職	菱川 秀之
職	阿部 一郎
職	斉木 寿男
職	高島 勝則
職	谷 宣夫

II 健康、福祉分野

区分	氏名
公	安藤 ひとみ
公	掛布 巳幸
公	黒岩 義光
公	三ツ口 和美
団 ○	今井 敦六
団	尾崎 秀子
団 ◎	松尾 昌之
団	渡部 敬俊
職	倉知 江理子
職	鵜飼 篤市
職	大島 里美
職	平松 幸夫
職	平野 勝庸
職	今枝 直之

III 都市生活基盤分野

区分	氏名
公	加納 勇
公 ◎	柴田 広美
公	宮地 義量
団 ○	加藤 幸治
団	永井 義康
団	細川 幸弥
団	前田 哲郎
職	石坂 育己
職	堀尾 道正
職	沢田 富美夫
職	梅本 孝哉
職	伊藤 達也
職	古田 義幸

IV 教育分野

区分	氏名
公 ○	長尾 恵利世
公	橋本 禎枝
公	三輪 専治
公 ◎	森崎 芳子
団	伊藤 鶴吉
団	佐藤 美恵子
団	仙田 幸代
団	坪内 利男
職	稲田 剛
職	中村 雄一
職	伊藤 勝治
職	可児 孝之
職	伊藤 健司

V 経営、企画分野

区分	氏名
公	伊藤 倫子
公 ◎	小沢 捨雄
公 ○	福田 直樹
公	松岡 博年
団	佐藤 晃
団	五十嵐 一雄
団	古田 嘉且
団	脇坂 康彦
職	坪内 俊宣
職	茶原 健二
職	安達 則行
職	本多 弘樹
職	村田 いづみ
職	高田 昌和
職	中村 信子
職	小林 悟司
職	石黒 稔通

学識経験者

区分	氏名
-	中田 實
-	武長 脩行

敬称略

◎は会長

○は副会長

公・・・公募市民

団・・・各種団体の代表者

職・・・市職員

5 まちづくり評価シートの見方

まちづくり評価シートは、江南市戦略計画基本計画に掲げられた指標の実績値を明らかにし、その達成状況について、市民の委員の皆さんと協働で検証を行い、その結果を踏まえ、「得られた成果」と「今後の課題」を洗い出し、「今後の取り組みの方向性」を明らかにするためのものです。

まちづくり評価シート

危機管理室【担う分野：I 生活環境、産業分野】

H30担当部・課 都市整備部(防災安全課)

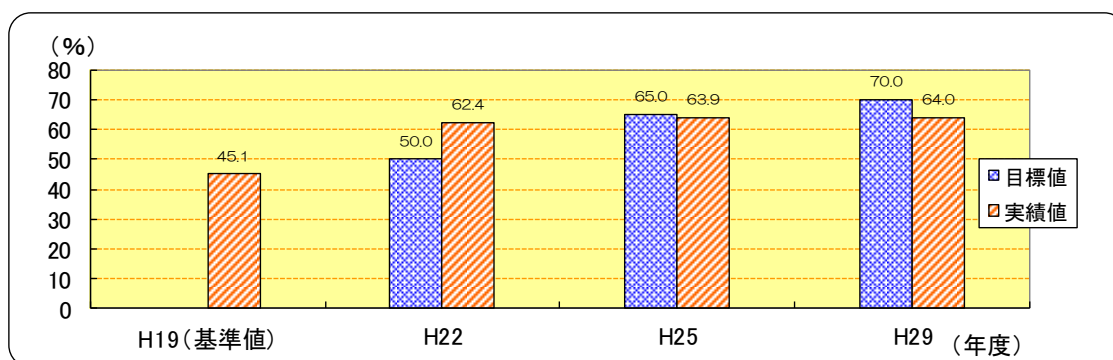
防災安全課【担う柱：1 安心・安全な地域づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 犯罪や災害への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている。

指標名	犯罪や災害への不安が少ないと感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H29	
目標値		—	70.0	防災訓練や資機材助成、地域安全活動促進、交通安全啓発活動の継続とともに、新たに道路照明灯のLED化や防災システムの導入により安心・安全なまちづくりを推進したものの、熊本地震の発生から南海トラフ巨大地震への懸念により実績値は微増にとどまっている。
実績値	%	45.1	64.0	
達成率	%	—	91.4	
達成状況	—	—	☀️	

■基本計画の「全体目標」に設定されている指標の実績値の分析結果になります。市民満足度調査により得られた実績値について目標値との比較分析をしたり、増減理由について、社会情勢や市民ニーズ等の変化や施策及び事務事業の貢献度を参考に分析しました。




全体目標に対するまちづくり評価

目標については概ね達成できている。今後は、大規模地震発生時においても、地震対策に関する業務を実施するほか、最低限の市民生活の維持、治安の維持、経済活動の調整・支援等に必要業務を円滑に継続することができるよう、「江南市業務継続計画」を踏まえ、非常時対応及び事前対策に万全を期す必要がある。また、防犯や交通安全においては、所轄警察署、関係団体及び地元区とさらなる連携協力により啓発活動を継続するとともに、犯罪や交通事故の情報収集、分析により犯罪抑止や交通安全対策に取り組む必要がある。

■基本計画の「全体目標」に設定されている指標の「実績値の分析」を基に、江南市まちづくり会議において市民の委員の皆さんと協働で評価の内容を精査してまとめました。

個別目標① 災害への備えが行われている

《H30担当課》防災安全課

指標名	非常持ち出し品や食料などを準備している市民の割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・自主防災組織運営事業 ・災害時対応事業 ・総合防災訓練事業
目標値	%	—	46.0	47.0	48.0	50.0	
実績値		14.4	—	—	—	38.7	
達成率	%	—	—	—	—	77.4	
達成状況	—	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	自主防災訓練などに継続的に取り組み、訓練の中で避難所の備蓄品目、備蓄量を知り、自分たちの食料、水は自分たちで用意する大切さを学んだ。 五市町災害対応連絡協議会(5市町合同防災カレッジ)や各種研修会、講習会に参加し、災害は発生してからではなく、発生する前の予防、準備や心構えが大切であることを学んだ。
市役所	自主防災会会長会議を開催し、自主防災会の意見等を聴取したうえで、自主防災会主催による防災訓練を支援した。 自主防災訓練の中で、防災に対する啓発活動を行った。 五市町災害対応連絡協議会(5市町合同防災カレッジ)をはじめとした各種講演会などを開催した折に、災害に対する備えの重要性を啓発した。

■基本計画の「個別目標」に設定されている指標の目標達成のために具体的に、どのようなことに取り組んだのかを「市民」と「市役所」に分け記載しました。「市民」の取り組み状況については、江南市まちづくり会議において市民の委員の皆さんと取り組みの内容について意見交換をしてみました。

目標達成のための今後の展開方針

「自らの命は自らで守る。」という災害対応の基本を、市民一人ひとりの防災に関する考え方として広げていこう、さまざまな機会を通して啓発を継続する。
区長・町総代会や自主防災会会長会議の折に、防災資機材等の整備を含む自主防災組織の役割や地域コミュニティの重要性を説明するとともに、自主防災会が実施する防災訓練を支援することにより、地域防災力の向上に繋げていく。
防災センターが災害時の防災拠点として機能するよう、太陽光発電及び蓄電池システムを適切に管理することで、停電時における電力供給体制を維持する。
同報系防災行政無線を含む災害情報の収集、伝達システムの適正な管理に努める。
災害時において、通常業務の中断を最小限にできるよう、随時、業務継続計画(BCP)の見直しを行う。

■「個別目標」の目標達成のために、今後どのように取り組んでいくべきかを今後の展開方針としてまとめました。

個別目標に対するまちづくり評価

熊本地震の報道等を踏まえ、災害予測及びこれに基づく初動体制の確立、並びに災害時の復旧体制の重要性を再認識することができた。
この地域でも近い将来、大きな地震が発生する可能性が極めて高いことから、行政と地域が連携した災害復旧体制を構築する必要がある。

■「個別目標」の達成状況を、江南市まちづくり会議において、市民の委員の皆さんと意見交換を行い、「個別目標に対するまちづくり評価」としてまとめました。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

総合防災訓練や校下別自主防災会合同訓練、防災資機材の助成の継続実施により、市民の防災意識の高揚、地域防災力の向上に繋がった。
また、全国瞬時警報システム(J-ALERT)と連動したあんしん安全ねっとの更新により情報伝達時間の短縮など、有事の際の情報伝達力の強化を図り、安心・安全なまちづくりに貢献した。
さらに、地域安全パトロール隊への活動促進、交通安全啓発活動の継続実施により、市民を脅かす犯罪や交通事故の抑止に寄与することができた。

■柱に掲げられた「個別目標」を実現するため、平成26年度から平成29年度までの取り組みによって得られた成果をまとめました。

◆柱全体の今後の課題

コミュニティの高齢化・弱体化により地域の防災、防犯及び交通安全活動が沈滞化することが危惧されるため、今後も事業を継続していくうえで、いかに地域の自主的活動を支援していくかが課題である。

■柱に掲げられた「個別目標」を実現するため、平成26年度から平成29年度までの取り組み内容を踏まえ、柱の全体目標及び個別目標を実現するにあたっての課題を社会情勢や市民ニーズの変化、施策や事務事業の貢献度等を参考にまとめました。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

区長、自主防災会会長、地域安全パトロール隊など地域の安心・安全を担うリーダーの高齢化が進むなか、コミュニティの中心的役割を果たす次世代リーダーの育成、及び地域の安心・安全に係る活動の継続を自治会に要請する。
情報伝達手段の保守点検及び効果的な活用により、有事の際の迅速かつ的確な情報伝達に努める。
交通安全施設の保守点検及び交通事故危険箇所への効果的な新設により、交通安全の確保に努める。

■柱全体の今後の課題を解決するために今後どのような取り組みをすべきかを、柱を構成する全個別目標の「目標達成のための今後の展開方針」を踏まえまとめました。

6 達成率の算出方法・達成状況の判定基準

まちづくり評価シートの各指標の「達成率の算出方法」及び「達成状況の判定基準」は次のとおりです。

(1) 指標の達成率

次の区分により達成率を算出しました。

区 分		算出方法
①	目標値が上昇していく指標	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
②	目標値が減少していく指標	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$
③	目標値が上昇していく指標 【目標値の表示が↑】	$\frac{\text{実績値}}{\text{基準値}} \times 100 (\%)$
④	目標値が減少していく指標 【目標値の表示が↓】	$\frac{\text{基準値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$

(小数点第2位四捨五入)

(2) 指標の達成状況

算出された達成率を次の基準で判定しました。

区 分	説 明	判定の基準
	90%以上達成した	達成率が90%以上
	70%以上達成した	達成率が70%以上 90%未満
	達成していない	達成率が70%未満

おわりに

江南市では、平成20年度に、向こう10年間で江南市がめざすまちづくりの目標と、その実現方策を示す江南市戦略計画を策定し、市民と市役所が一丸となってまちづくりを進めてきました。

江南市戦略計画では、主な特徴である「市民協働の計画」、「成果志向の計画」という考え方にに基づき、市民、市役所のそれぞれの取り組みを明らかにし、各分野の目標に数値目標を設定し成果測定を行ってきました。平成29年度に後期計画期間を終え、結果としては、全体を通して、概ね目標を達成できたといえる状況でした。それ以上に、この10年間の取り組みにおける最大の成果は、「市民協働」や「成果志向」という理念が、市民と市役所に徐々に浸透してきたことだと実感しています。

また、後期計画期間中の社会経済情勢の変化も大きく、少子高齢化を始めとする人口減少社会、地方創生、ICT技術の進展などへの対応が求められるようになってきました。

江南市戦略計画の終了を受け、初めて人口減少社会を前提とした総合計画として、平成30年3月に第6次江南市総合計画を策定しました。また、この計画は「市民協働」、「成果志向」の理念を引き継いだ計画となっています。

今後は、この計画に基づき、まちづくりの担い手である市民や事業者等、市が一層強い協働の関係を築き、地域の総力を結集するしくみをさらに発展させるとともに、効果的・効率的な行政運営を図りながら、市の将来像である「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市」の実現に向け取り組んでまいります。



<全体会議>

江南市戦略計画達成状況報告書

後期計画期間（平成26年度～平成29年度）

平成31年3月発行

江南市まちづくり会議

事務局 江南市役所 企画部秘書政策課
483-8701 愛知県江南市赤童子町大堀90番地
電話 (0587) 54-1111(代)